北条東小学校多目的棟新築工事

株式会社　ごとう建築設計事務所
2015年3月

No,	図面名称	No,	図面名称	No,	図面名称
A－01	特記仕様書１	S－01	構造特記仕様書	M－01	特記仕様書
－02	特記仕様書２	－02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図１	－02	衛生機器 空調換気扇機器表
－03	特記仕様書３	－03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図２	－03	給排水消火設備配置図
－04	現況配置図・撤去図	－04	鉄骨工作標準図１	－04	給排水設備平面図
－05	計画配置図	－05	鉄骨工作標準図２	－05	空調換気設備平面図
－06	全体配置図	－06	基礎伏図	－06	校舎棟 空調換気設備
－07	仕上表	－07	基礎図		
－08	平面図	－08	柱状図		
－09	建物求積図	－09	小屋伏図		
－10	立面図１	－10	軸組図１		
－11	立面図２	－11	軸組図２		
－12	断面図	－12	部材リスト		
－13	矩計図	－13	鉄骨詳細図		
－14	展開図１（玄関ホール）				
－15	展開図２（準備室）				
－16	展開図３（多目的室１）				
－17	展開図４（多目的室１）	E－01	特記仕様書		
－18	展開図５（多目的室２）	－02	配置図		
－19	展開図６（多目的室２）	－03	分電盤・照明器具・弱電機器		
－20	展開図７（指導員室・医務室）	－04	電灯設備図		
－21	展開図８（男子便所・女子便所）	－05	コンセント設備図		
－22	展開図９（洋式便所）	－06	弱電・防災設備図		
－23	ＫＥＹＰＬＡＮ				
－24	建具表１				
－25	建具表２				
－26	校舎ＫＥＹＰＬＡＮ				
－27	校舎建具表				
G－01	外構図				

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	図面リスト	検印	
縮尺		１級建築士 第292013号 後藤 直樹	
No,	A-00		

特　記　仕　様

Ⅰ．工　事　概　要

工事場所：加西市北条町西高室字浦山595番2

構造・規模：小学校　軽量鉄骨プレハブ造平屋建　建築面積　203.37 m2　延床面積　198.11 m2

附記事項　工事電力は別引込とする。
工事用水は子メーター設置のこと。

Ⅱ．建設副産物の処理及び交通安全

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」（平成12年5月）により、分別解体及び特定の建設資材の再資源化が義務づけられた。建設工事の副産物である建設発生土と建設廃棄物の処理にあたっては、建設副産物の発生抑制及び再資源化を促進するため、原則として再資源化施設へ搬出すること。
   建設副産物の処理にあたって、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年法律第104号）、「再生資源の利用促進に関する法律」（平成３年法律第48号）、「建設副産物適正処理推進要綱」（建設省平成５年）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年法律第137号）、「建設廃棄物等適正処理指導要綱」（兵庫県平成２年）、及び「マニフェストシステム実施要領」（兵庫県平成６年）にもとづき適正に処理すること。
   建設副産物の処理に当たって、工事着手時及び完成時に次の書類を作成し、提出すること。
   ・工事着手時：「再生資源利用（促進）計画書」
   ・完　成　時：「再生資源利用（促進）実施書」
2. 請負者は運搬作業従事者の交通安全意識の高揚を図るとともに、工事用資材の運搬にあたっては過積載のないようにすること。
   また、「土砂を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の主旨に沿って、同法第12条に規定する団体等の加入者の使用を促進すること。
   ※コンクリート及び瓦は、区長証明書により、加西砕石にて処分可。（運搬費は別途）

Ⅲ．環　境　へ　の　配　慮

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）により、環境負荷を低減できる材料の選定に努めること。

Ⅳ．建　築　工　事　仕　様

1. 本特記仕様書、図面及び設計書（内訳書）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「標仕」という）を参考とする。及び木造建築工事標準仕様書（最新版）
2. 本工事に該当する「標仕」項目は該当項目内の該当事項に　■　、◎印を付した項目とする。

Ⅴ．その他

1. 現場施工上設計変更のある場合は事前に係員と協議の上、所定の書式にて施工10日前までに変更願いを提出する。
2. 現場施工上生じた設計変更及び施主の要望等による設計変更においては、当初設計単価又は当初設計規準において算出した単価を使用し、これに落札率を乗じた金額をもって請負金額の増減とする。
3. 本工事において関係者及び第三者に損害をおよぼした場合は、請負者において速やかに解決する。
4. 内訳に示す数量は、参考数値であり入札に関しては、正確な積算を行うこと。
   また、設計上当然と思われる物については本工事に含む物とする。
   後日明細漏れ数量不足の申し出があってもみとめない。
5. 工事現場の管理は、労働安全衛生規則、その他関係法規に従い安全管理に努めること。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 施工計画書 品質計画 標仕1.2.2	◎ 総合施工計画書、工事別施工計画書、建設副産物施工計画書等 ■ 建築基準法に基づき定められる風圧区分等の適用工事 ■ ８章 ■ ９章 ■ １０章 ■ １３章 ■ １４章 ■ １６章 ■ １７章 ■ 風圧　（Vo＝ 32 m／sec ） ■ 地表面粗度区分(□ Ⅰ □ Ⅱ ■ Ⅲ □ Ⅳ) ■ 積雪区分 H12建告第1455号別表(■　　30 cm)
	2 元請け業者、下請負業者	■ 積雪荷重(　　20 N／m2)
	3 設備工事との取り合い 標仕1.2.3	◎ 元請け及び下請け業者は、事前に施工体制台帳の各様式に記載し、監督職員に提出する。 ■ 設備機器の位置、取り合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	4 工事写真 標仕1.2.4	■ 国土交通大臣官房営繕部監修「工事写真のとり方（建築編）」による。(参考)
	※ デジカメの場合、150万画素子以上ネガフィルムでも可	◎ 完成写真は、DVD又はCDとする。(フォルダーにて納品) ◎ 完成写真は上記のほか、キャビネ版バラ1部を提出する。
	5 施工管理技術者 標仕1.3.2	◎ 各写真は、記録広告等のため紙面掲載する場合があるので応諾のこと。 ◎ 着工前及び施工中の写真は、工事写真帳A4版貼付、撮影時期、場所等を記入し、提出する。 □ 完成時の写真は建築写真専門家の撮影とする。 □ 一級建築士 □ 一級建築施工監理技士 □ 建設大臣特別認定者 □ 二級建築士 □ 二級建築施工監理技士 ■ 実務経験者
	6 電気保安技術者 標仕1.3.3	□ 要　　■ 不要
	7 技能士 標仕1.5.2	□ 適用する(　　) □ 適用しない
	8 施工報告書 標仕1.5.4	◎ 要
	9 化学物質の濃度測定 標仕1.5.9	■ 実施する　パッシブ法による。　□ 実施しない
	10 改良土の六価クロム溶出試験	□ 要（セメント及びセメント系固化剤を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領による。） □ 不要
	11 特別な材料の工法	■ 「標仕」に記載されていない特別な材料・工法は当該製品の指定工法とし監督職員の承諾を受ける。
	12 火災保険	■ 工事目的物及び工事材料は出来高に応じて火災保険に付する。 ただし、工事引き渡しまでの期間とし、証書の写しを提出する。
	13 検査 標仕1.6.1	□ 不要
	14 保全に関する資料 標仕1.7.3	■ 検査に要する器具は業者において準備すること。
	15 完成図 標仕1.7.2	◎ 保全に関する説明書　□ 要　□ 不要
	16 各種試験	◎ 完成図（CADデータ提出）□ 手書き　□ その他 ◎ 各種試験費は、請負業者の負担とする。

分類	規格	撮影箇所	部数
◎ 着工前	サービス版	適宜	1 部
◎ 施工中	サービス版	各工程適宜	1 部
◎ 完成時	キャビネ版	指示　　箇所	1 部
◎ 主要完成写真	キャビネ版	指示　　箇所	1 部

章	項目	特記事項
2 仮設工事	1 仮設計画書 2 監督員事務所 標仕2.3.1 3 表示板 標仕2.3.1(d) 4 仮囲い 5 手掘り先行足場 6 備品 標仕2.3.1(b) 7 工事用水 8 工事用電力	■ 要　　□ 不要 □ 10m2程度　□ 20m2程度　□ 35m2程度　□ 65m2程度　□ 100m2程度　■ 不要 ◎ 工事表示板 □ 花と緑あふれる美しい県土づくりシンボルマーク □ 万能鋼板　□ 波型カラー鉄板　□ 有刺鉄線　■ その他（パネルフェンス H1.800） ■ 適用する　□ 適用しない ◎ 監督職員の指示による。 □ 構内既存施設（ □ 利用できない ■ 有償利用できる） □ 構内既存施設（ □ 利用できない ■ 有償利用できる）
3 土工事	1 埋め戻し及び盛り土 標仕表3.2.3 2 建設発生土の処理 標仕3.2.5 3 山留め 標仕3.3.3	□ A種　■ B種　□ C種　□ D種 □ 構外搬出（指定地）　■ 構外搬出（適正処分先） □ 構内敷き均し　□ 構内指示場所に堆積 □ 要　工法（　　）　撤去（ □ 有 □ 無 ）　■ 不要
4 地業工事	1 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法 標仕表4.3.1 杭頭の処理 標仕4.3.7 2 鋼杭 標仕表4.4.2 3 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭 標仕4.5.1 標仕4.5.2 標仕4.5.3(b) 標仕表4.5.1 4 その他 標仕4.5.4 標仕4.5.5 5 共通 砂利地業材料 標仕4.6.3 7 捨ｺﾝｸﾘｰﾄ地業 標仕4.6.4 8 床下防湿層 標仕4.6.5	□ PHC杭（ □ A種　□ B種　□ C種　□ D種　□ E種　□ F種 ） □ その他（　　） □ 打ち込み工法 □ セメントミルク工法 □ 特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法として杭材料は指定又は認定条件に適合するもの） □ 杭頭の処理（ □ 切断しない　□ する ） □ 鋼管杭　（ □　　）　□ H形鋼杭　（ □　　） □ 工法　（ □　　） □ 施工管理技術者資格証明書 □ 要 □ コンクリート設計基準強度(□　　N/mm2) □ コンクリート種別　（□ A種　□ B種 ） □ 安定液、杭周固定液　杭間　0.5 N/mm2以上　根固め液 根固め 20 N/mm2以上 □ 孔壁測定　（ □ 行う　□ 行わない） □ 杭の長期支持力（ □　KN/本 ）以上　□ 杭径（　cm ） □ 試験杭　（ □ 杭長さ　m □ 試験杭数　本 □　　） □ 支持力測定（ □ 全杭打撃　□ 載荷試験　箇所　KN/箇所 ） □ 溶接工事資格者証明書　□ 要 ■ 再生クラッシャラン　■ 切り込み砂利及び切り込み砕石　□ 割栗石 ◎ 厚 50 mm ■ 要　　□ 不要
5 鉄筋工事	1 鉄筋材料 標仕表5.2.1 2 配筋方法 3 鉄筋のかぶり厚さ 標仕5.3.5 4 既成ｺﾝｸﾘｰﾄ杭頭補強 標仕別図1.1 5 最上階柱頭補強 標仕別図2.1 6 帯筋の組立 標仕別図2.2 7 壁開口部補強 標仕別図4.3 8 階段 標仕別図6.1 標仕別図6.2 9 貫通箇所の補強 標仕別図7.1 10 ガス圧接圧接完了後の試験 標仕5.4.9 11 特殊な鉄筋継手	規格番号：JISG3112　種類の記号：SD295A SD345 呼び名　◎ D16 以下　◎ D19 以上 ■ 構造図、標準配筋図によるほか、標仕別図各部配筋による。 ■ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。 □ A形　□ B形　□ 図示（構造図による） □ 柱頭柱主筋定着補強（構造図による） ■ H形（ロは除く）□ W－Ⅰ形　□ SP形 □ 丸形 ■ 既製帯筋：建設技術評価規定「評価書」を提出し、監督職員の承諾を得て使用することができる。 一般壁 □ A形　■ B形 耐震壁 図示 □ 片持スラブ筋階段　□ KA（1．2．3．4）　□ 図示 □ 二辺固定スラブ筋階段 □ KB（1．2．3．4．5．6．7）　□ 図示 □ 補強形式（ □ H形 □ M形 □ MH形） ■ 標準配筋図によるほか、形状寸法は現場打ち合わせにより施工することを原則とする。 ■ 既製補強筋：建設技術評価規定「評価書」を提出し、監督職員の承諾を得て使用することができる。 ガス圧接技量資格者証　要 □ 圧接引張試験　■ 圧接超音波探傷試験 ■ 圧接鉄筋径　D22 以上　□ SD295Aは圧接不可とする。 □ 機械式継手　種類（　　） □ 溶接継手　鉄筋径（　　）
6 コンクリート工事	1 セメントの種類 標仕表6.3.1 2 レディーミクストコンクリート 標仕表6.2.1 3 コンクリートの設計基準強度 標仕6.2.2 4 各種試験 塩化物量及びアルカリ総量 標仕6.5.4 兵庫県ｺﾝｸﾘｰﾄ工法に関する指導要綱 標仕6.9.2 ～ 標仕6.9.6 5 混和剤 標仕6.3.1 6 軽量コンクリート 標仕6.10.1 7 寒中コンクリート 標仕6.11.1 8 無筋コンクリートの設計基準強度 9 型枠の種類、厚さ 標仕6.11.5 10 合板せき板を用いる化粧打ち放し仕上げの種類 標仕6.2.5 11 せき板面の気泡緩衝材張り 標仕6.9.4 12 型枠の取り外し 標仕6.8.5 13 スリーブ 標仕6.8.3 14 型枠締付材 標仕6.8.6 15 特殊な床版型枠	□ 普通ポルトランドセメント　□ 早強ポルトランドセメント　□ 高炉セメント(B種) □ シリカセメント　□ フライアッシュセメント ■ Ⅰ類ＪＩＳＡ5308表示許可工場（ＪＩＳ該当以外は「標仕」による） □ Ⅱ類 ■ 18N/mm2 ■ 21N/mm2 □ 24N/mm2 □ 27N/mm2　軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ（　　N/mm2：27N/mm2未満） （調合強度は温度補正Ｔ、割増ΔＦ（３Ｎ/mm2）、標準偏差を加算する） 塩化物量 ■ 6.5.4により確認する。　アルカリ総量 ■ 6.5.1式により確認する。 ■ 適用する　□ 適用されない ◎ 骨材試験（絶乾密度、吸水率、粒土、アルカリシリカ反応性）、コンクリート塩分総量試験、コンクリート圧縮強度試験については、兵庫県コンクリート工法に関する指導要綱第３に規定する軽易な場合を除き同要綱を適用し、監督職員の指示により実施する。 ◎ 各試験実施機関は、兵庫県コンクリート工法に関する指導要綱第８に規定する試験実施機関とする。 □ 高性能ＡＥ減水剤　□ ＡＥ減水剤　□ ＡＥ剤 □ １種（気乾比重1.7～2.1）□ ２種（気乾比重1.4～1.7） □ 適用する（適用期間　～　まで）　□ 適用しない 18N/mm2　□ 適用箇所（　　） ■ ＪＡＳのｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板による表面加工品　塗装（ ■ 有 □ 無）　■ 厚さ（12 mm ） ■　同上　Ｂ－Ｃ　□ その他 ■ A種　□ B種　□ C種 □ ＭＣＲ工法（　　）　外装タイル後張り面の躯体表面処理 コンクリートの増し打ち厚さ(■ 20 mm　□　mm) ◎ 標仕表6.9.2、標仕表6.9.3による。なおかつ、梁下・版下のせき板は支柱を取り外した後に外す。 □ 鋼管 □ 硬質塩ﾋﾞ管 □ 溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 □ つば付き鋼管 ■ 紙ﾁｭｰﾌﾞ（200φ以下） ■ コーン ■ ハットセパ（ 使用箇所：　　） □
7 鉄骨工事	1 鋼構造物製作工場 標仕7.1.3 2 施工管理技術者 標仕7.1.4 3 鋼材のＪＩＳ規格 標仕7.2.1	□ 工事現場における鉄骨製作工場の表示 (株)日本鉄骨評価ｾﾝﾀｰ（ □ Jｸﾞﾚｰﾄﾞ ■ Rｸﾞﾚｰﾄﾞ □ Mｸﾞﾚｰﾄﾞ □ Hｸﾞﾚｰﾄﾞ □ Sｸﾞﾚｰﾄﾞ） (社)全国鉄構工業協会（ □ Jｸﾞﾚｰﾄﾞ ■ Rｸﾞﾚｰﾄﾞ □ Mｸﾞﾚｰﾄﾞ □ Hｸﾞﾚｰﾄﾞ □ Sｸﾞﾚｰﾄﾞ） □ 適用する技術（　　） □ 規格品　□ 指定品　□ 認定品 □ SN（□ A　□ B　□ C　）□ SM（　　） □ SS（400）□ STK（　　）□ STKR(400)　□ SSC(400) □ BCR(295)
7 鉄骨工事	4 高力ボルトの規格 標仕7.2.2 5 ターンバックルの規格 標仕7.2.6 6 溶接施工管理技術者の資格証明書 標仕7.6.2 7 溶接技術者の技量証明書 標仕7.6.3 8 見隠れエンドタブ切断スカーラップ形状 標仕7.6.7 9 溶接部の試験 標仕7.6.11 10 アンカーボルトの保持 標仕表7.10.1 11 耐火被覆 標仕7.9.2 12 柱底均しモルタルの工法 標仕7.2.9 13 亜鉛メッキ工法 標仕7.8.3 標仕表18.3.2	□ トルシア形高力ボルト２種（Ｓ10Ｔ）指定品又は認定品 □ ＪＩＳ形高力ボルト２種（Ｆ10Ｔ） □ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト１種（Ｆ８Ｔ相当）指定品又は認定品 □ ＪＩＳＡ5540（建築用ターンバックル）　胴は割枠式、ボルトは羽子板ボルト □ 要（ □　　級、工事経歴書共）　□ 不要 ◎ 要 □ 要　□ 不要 （　　） ◎ 超音波探傷試験　□ その他（　　） □ 平均出検品質限界（ＡＯＱＬ）(　　%)　□ 検査水準（第　　水準） □ 構造用アンカーボルト（ □ A種　□ B種　□ C種 ） □ 建て方用アンカーボルト(□ A種　□ B種　□ C種) □ 耐火材吹き付け（ □ 乾式　□ 半乾式　□ 湿式 ） □ 耐火板張り（ □ 直張り　□ 箱張り　） □ ラス張りモルタル塗り　□ その他 □ A種　□ B種 □ 融解亜鉛メッキ（ □ A種　□ B種　□ C種 ） □ 電気亜鉛メッキ（ □ D種　□ E種　□ F種 ）
8 CB・ALC・押出成形セメント板	1 ＡＬＣ・押出成形セメント板 標仕表8.4.2 標仕表8.4.3 標仕表8.4.4 標仕表8.4.5 標仕表8.5.2 2 補強コンクリートブロック材料 標仕8.2.2	外壁パネル取付け工法 / 間仕切り壁パネル取付け工法 ＡＬＣパネル　種別 □ A □ B ■ C　□ 厚さ 100 mm　／　種別 □ B □ C □ D □ E　□ 厚さ 100 mm 押出成形セメント板 □ 無石綿 □ その他　種別 □ A □ B　□ 厚さ　mm　／　種別 □ B □ C　□ 厚さ　mm 耐火性能 □ 有（　　） □ 空洞ブロック16(Ｃ種)　□ 空洞ブロック16－W(Ｃ種防水)　□ □ ＪＩＳ規格品
9 防水工事	1 保証書 2 防水工法 1)アスファルト防水 標仕表9.2.3 標仕表9.2.4 標仕表9.2.5 標仕表9.2.6 標仕表9.2.7 標仕表9.2.9 伸縮目地 標仕表9.2.1 防水層立上り押さえ 標仕9.2.5(e) 2)改質アスファルトシート防水 標仕表9.3.2 3)合成高分子系ルーフィングシート防水 標仕表9.4.2 標仕表9.4.4 4)塗膜防水 標仕表9.5.3 5)その他の防水工法 6)試験 7)シーリング 標仕表9.7.2 8)シーリング材の試験 標仕9.7.5	■ 責任施工とし、請負者・防水施工業者及び材料メーカー、三者連名の保証書を提出する。 ■ 防水保証年限（１０年） □ 屋根保護防水密着工法　（ □ Ａ－１　□ Ａ－２ ） □ 屋根保護防水密着断熱工法(□ Ａ１－１ □ Ａ１－２）断熱材（　　厚み　mm ） □ 屋根保護防水絶縁工法　（ □ Ｂ－１　□ Ｂ－２ ） □ 屋根保護防水絶縁断熱工法(□ Ｂ１－１ □ Ｂ１－２）断熱材（　　厚み　mm ） □ 屋根露出防水絶縁工法　（ □ Ｄ－１　□ Ｄ－２ ）脱気装置(□ 有　□ 無) □ 屋内防水密着工法　（ □ Ｅ－１　□ Ｅ－２ ）保護層（ □ 有　□ 無) □ 成形伸縮目地材の品質（　　） □ レンガ　□ コンクリート　□ 乾式保護材 □ 防水保証年限(　　年) □ 改質アスファルトシート防水(□ ＡＳ－１　□ ＡＳ－２) □ 防水保証年限(　　年) □ 接着工法　（ □ Ｓ－Ｆ１　□ Ｓ－Ｆ２　） □ 機械的固定工法（ □ Ｓ－Ｍ１　□ Ｓ－Ｍ２　□ Ｓ－Ｍ３） □ 仕上げ塗装　（ □ シルバー　□ カラー　） □ 防水保証年限　（　　年 ） □ ウレタン系塗膜防水　（ □ Ｘ－１　□ Ｘ－２） □ ゴムアスファルト系塗膜防水(□ Ｙ－１　□ Ｙ－２) □ 脱気装置　（ □ 有　□ 無　） □ 仕上げ塗装（ □ シルバー □ カラー ） □ 図示 □ ＦＲＰ防水 保護モルタル仕様 □ □ □ 満水試験場所（　　）　□ １２時間満水試験　□ ２４時間満水試験 □ ＳＲ－１（シリコーン系）（　　） □ ＳＲ－２（シリコーン系）（　　） □ ＭＳ－２（変成シリコーン系）（ 腰壁伸縮目地　） □ ＰＳ－２（ポリサルファイド系）（　　） □ ＰＵ－２（ポリウレタン系）（ 建具廻り　） □ ＡＣ－１（アクリル系）（　　） □ 試験成績表で承諾　□ 簡易接着性試験　□ 引張接着性試験
10 石工事	1 清掃 標仕10.1.5 2 天然石の品質 標仕10.2.1 3 テラゾブロック及びテラゾタイル 標仕10.2.1 標仕表10.2.2	□ ワックス掛け □ 床用石材　（ □　１等品　□　２等品 ） □ 壁用石材　（ □　１等品　□　２等品 ） 石の種類、表面仕上げ（表10.2.1）（表10.2.2） □ 種石の種類（ □　大理石　□　花崗岩 □　　）　表面仕上げ(□ 本磨き　□　　) □ 表面仕上げ（ □　本磨き　□　　） □ 磨き仕上げの種類（ □　粗磨き　□　水磨き　□　本磨き ）

施工箇所	種類	産地・名称	板厚 mm	仕上げの種類

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	特記仕様書１	検印		No,
縮尺		１級建築士 第292013号 後藤 直樹		A-01

10 石工事

4 壁の石張り工法	標仕10.3.3	□ 外壁部分 （□ 外壁湿式工法 □ 乾式工法 □ ）
	標仕10.4.3	□ 内壁部分 （□ 内壁空積工法 □ 乾式工法 □ ）
	標仕10.5.3	□ その他の部分 （ □ ）
5 床、階段の石張り	標仕10.6.2	□ 石裏面処理 （ □ ）
	標仕10.6.3	□ 目地シーリング材 （ □ ）
		□ 伸縮調整目地の位置 （ □ ）
6 特殊部位の石張り	標仕10.7.2	□ 適用部位 （ □ ）
		□ 石裏面処理 （ □ ）

11 タイル工事

1 材料	標仕11.2.1(b)	□ 役物の適用 （□ 有 □ 無 ）
	標仕11.2.1(c)	□ 試験張り （□ 有 □ 無 ）
		□ 見本焼き （□ 有 □ 無 ）
2 施工		
床タイル張り	標仕11.3.3(b)	□ 大型床タイル（200角以上）張り ■ 一般床タイル張り □ ユニットタイル張り（ 角）
内装タイル張り	標仕11.3.2	□ 改良積み上げ張り □ 壁タイル接着剤張り（ 角）
外装タイル張り	標仕11.3.2	□ 密着張り □ 改良積上げ張り □ 改良圧着張り
		□ 型枠先付け
ユニットタイル張り（内装タイル以外）		□ マスク張り □ モザイクタイル張り
タイル型枠先付け	標仕11.4.2	□ タイルシート工法 □ 目地樹法 □ 桟木法
3 目地モルタル		□ 化粧目地
4 伸縮調整目地及び	標仕11.1.3	□ 入れる ■ 入れない
ひび割れ誘発目地	標仕表9.6.1	□ シーリング材 （□ PS－2 □ ）
		□ 目地寸法 （□ 幅 mm □ 深さ mm ）
5 接着力試験	標仕11.1.4	□ 有 ■ 無
6 タイル後張り工法	標仕11.3.3	□ MCR工法 □ 目荒し工法
下地処理		

12 木工事

1 木材の断面寸法	標仕12.1.3	■ 造作材は仕上がり寸法とし、構造下地材はひきたて寸法とする。
2 表面仕上げ	標仕12.1.4	□ A種 ■ B種 □ C種
3 木材の含水率	標仕12.2.1	■ 造作材 （□ A種 □ B種）
		■ 構造材、下地材 （□ A種 □ B種）
4 造作材の等級	標仕表12.2.2	■ A種 □ B種
5 代用樹種	標仕表12.2.3	□ 禁止する ■ 標仕表12.2.3 による □ その他
6 集成材等	標仕12.2.1	構造用集成材（JAS規格品 ）
		造作用集成材（JAS規格品 □ ）
7 床張り用合板等	標仕12.2.1	■ 樹種（ ）
8 特殊造作材		□ 樹種 使用箇所（ ）
9 木造建築		◎ この章によるほか日本建築学会の「建築工事標準仕様書」JASS11木工事による。
10 防腐・防蟻処理	標仕12.3.1	◎ 木材の防腐・防蟻処理はクロルピリホス等を含有しない非有機リン系の薬剤とし、
	標仕12.3.2	加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺	標仕表13.2.1	□ 長尺金属板の種類 （□ ） □ 板厚（ mm ）
	標仕13.2.2～13.2.3	□ 屋根葺形式 （ ）
2 折板葺	標仕13.3.2	□ 金属板の種類 （□ ） □ 板厚（ mm ）
3 瓦葺	標仕13.4.2	□ 瓦材料（JIS） □ 規格品
	標仕13.4.3	□ 種類 （□ 和瓦（ 防災逆水止瓦 ） □ 洋瓦 □ ）
		仕上げ （□ いぶし □ 釉薬 □ ）
		□ 凍結試験証明書 （□ 要 □ 不要 ）
4 といの材料	標仕表13.5.1	□ ステンレス鋼板 （□ ）
	標仕13.5.2～13.5.3	□ 表面処理鋼板 （□ ）
		■ 硬質塩ビ雨樋
5 たてどいの材料	標仕表13.5.1	□ ステンレス鋼板 （□ ）
	標仕13.5.2～13.5.3	□ 表面処理鋼板 （□ ）
		□ 配管用鋼管（JISG3452）
		■ 硬質塩ビ雨樋
6 防露	標仕表13.5.4	□ 要 ■ 不要
7 掃除口	標仕13.5.3	□ 要 ■ 不要
8 屋根保証書		■ 要 請負者・施工業者 連名の保証書を提出する。(10年)

14 金属工事

1 表面処理	標仕14.2.1	□ ステンレス表面仕上 （□ 鏡面 □ ヘアーライン □ No.2B）
	標仕表14.2.1	□ アルミニウム表面処理（□ A－1 □ A－2 □ B－1 □ B－2
		□ C－1 □ C－2 □ D ）
	標仕表14.2.2	□ 亜鉛めっき種別 （□ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種）
2 軽量鉄骨天井下地	標仕表14.4.1	□ 野縁の種類 （□ 19形 □ 25形 ）
3 軽量鉄骨壁下地	標仕表14.5.1	□ スタッドの種類 （□ 50形 □ 65形 □ 90形 □ 100形 ）
4 金属成形板張り	標仕表14.2.1	□ 金属板の種類 （ ） □ 厚さ（ mm ）
5 アルミニウム製笠木	標仕表14.7.1	□ 部材の種類 （□ 250形 □ 300形 □ 350形 ）
	標仕14.7.2～14.7.3	□ 役物 （□ 要 □ 不要 ）
6 手すり及びタラップ	標仕14.8.2	□ 手すり 材質 （□ スチール □ アルミ □ ステンレス ）
		□ タラップ 材質 （□ ステンレス □ 鉄亜鉛メッキ 種 ）
7 エキスパンションジョイント金物		□ 材質 （□ アルミニウム □ ステンレス ）
		□ 表面仕上げ （□ HL ）
		□ クリアランス寸法（□ 50 ）
		□

15 左官工事

1 防火材料	標仕15.5.2	□ 防火材料の指定がある場合は、建築基準法に基づき指定または認定を受けたもの。
2 床コンクリート直均し仕上げ		■ 金ごて押さえ （□ 薄張物下地 □ 厚張物下地 ■ 直均し仕上げ □ 防水下地 ）
	標仕15.3.1	
3 セルフレベリング材塗り		□ せっこう系 □ セメント系
	標仕表15.4.1	
4 仕上塗材仕上げ	標仕表15.5.1	□ 薄付け仕上塗材 （□ ）
		□ 厚付け仕上塗材 （□ ）
		□ 複層仕上塗材 （□ ） 上塗材（ □ ）
		□ 軽量骨材仕上塗材（□ ）
		□ その他 （ ）
5 ロックウール吹付け	標仕15.8.2	□ 仕上げ吹付け厚さ（□ mm ）

16 建具工事

1 一般事項		■ 建具見本の製作 （□ 要 ■ 不要 ）
		■ 製品検査 （■ 要 □ 不要 ）
		□ 特殊な建具の仮組 （□ 要 □ 不要 ）
		□ 特定防火設備の戸 （□ 適用する □ ）
2 アルミ製建具	標仕表16.2.1	■ アルミ製建具の種類（□ A種 ■ B種 □ C種）

性能項目	枠見込み	耐風圧性	気密性	水密性
A種 70-200-8-35	70mm	S－4	A－3	W－4
B種 70-240-8-35		S－5		
C種 100-280-8-50	100mm	S－6	A－4	W－5

		■ 表面処理（標仕表14.2.1）
		無着色陽極酸化皮膜 （□ A－1種 ■ B－1種 □ C－1種）
		着色陽極酸化皮膜 （□ A－2種 □ B－2種 □ C－2種）
		化成皮膜の上に塗装 （□ D種 ）
		□ くつずり （□ ステンレス □ ）
		■ 防虫網（網戸） （□ ステンレス製（SUS316） □ ガラス繊維入り合成樹脂製
		■ 合成樹脂製 ）
3 鋼製建具	標仕16.4.2	□ 溶融亜鉛メッキ付着量 （□ Z12 □ F12 □ ）
4 鋼製軽量建具	標仕16.5.2	□ 簡易気密扉 （□ A－3 □ ）
5 ステンレス製建具	標仕16.6.2	□ 表面仕上げ （□ ヘアーライン □ 鏡面 □ ）
	～16.6.4	□ 曲げ加工 （□ 普通曲げ □ 角出し ）
6 木製建具	標仕表16.7.2	□ 建具材の含水率 （□ A種 □ B種 □ C種 ）
7 建具用金物	標仕表16.8.2	□ マスターキー
8 自動扉	標仕表16.9.3	□ スライディングドアー （□ SSLD-1 □ SSLD-2 □ DSLD-1 □ DSLD-2 ）
	標仕16.9.2	□ スイングドアー （□ SWD-1 □ SWD-2 ）
	～16.9.4	□ センサーの種類 （□ マットスイッチ □ 電子（電磁）マットスイッチ
		□ 光線（反射）スイッチ ）
		（□ 音波スイッチ □ 熱線スイッチ □ 光電スイッチ ）
		（□ タッチスイッチ □ ペダルスイッチ □ 押しボタンスイッチ ）
		□ 凍結防止装置 （□ 要 □ 不要 ）
9 自閉式上吊り引き戸装置	標仕16.10.3	□ 自閉式上吊り引き戸装置
10 重量シャッター	標仕16.10.2	□ 一般重量シャッター □ 外壁用防火シャッター □ 屋内用防火シャッター □ 防煙シャッター
	～16.10.4	□ 一般重量ｼｬｯﾀｰ耐風圧強度（ N/mm2 ） □ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ耐風圧強度（ N/mm2 ）
		□ 危険防止機構（□ 障害物感知装置 □ シャッター2段階降下方式 ）
11 軽量シャッター	標仕16.11.2～4	□
12 オーバーヘッドドアー	標仕16.13.2～4	□
13 ガラス飛散防止フィルム		□ 種類（ 種） □ 張り面（□ 内 □ 外） 飛散防止率（ D）
14 ガラスとめ材		□ シーリング（標仕表9.6.1） ■ ガスケット
	標仕16.14.2	（ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。）
		◎ 網入り板ガラス小口防錆処置（標仕16.13.4(a)(3)）

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール	標仕17.2.2	□
	標仕17.2.3	□
2 PCカーテンウォール		□
	標仕17.1.3	□
	標仕17.3.2	□
	標仕17.3.3	□

18 塗装工事

1 素地ごしらえ及び工法		
	標仕18.2.2	
木部面	～18.2.7	
鉄鋼面		
亜鉛メッキ面		
モルタル及びプラスター面		
コンクリート及びALC面		
コンクリート及び押出形成セメント面		
石膏ボード及びその他ボード面		
2 錆止め塗り	標仕表18.3.1	□ 鉄鋼面錆止め塗料種別 （□ A種 □ B種 □ C種）
	～18.3.4	□ 鉄鋼面錆止め塗料塗り （□ A種 □ B種 ）
		□ 亜鉛メッキ面錆止め塗料種別 （□ A種 □ B種 □ C種）
		□ 亜鉛メッキ面錆止め塗料塗り （□ A種 □ B種 □ C種）

	塗料	基材	素地こしらえ	塗工程
1	SOP塗り		□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種
2			□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種
3			□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種
4			□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種
5			□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種
6			□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種
7			□ A種 □ B種 □ C種	□ A種 □ B種 □ C種

19 内装工事

1 色調		■ 色調は見本品によって決定
2 ビニル床シート	標仕19.2.2	□ 種類（ ） □ 厚さ（ mm ）
3 ビニル床タイル	標仕19.2.2	□ 種類（ ） □ 厚さ（ mm ）
4 帯電防止床シート又は床タイル張り		□ 種類（ ） □ 厚さ（ mm ）
5 ビニル幅木	標仕19.2.2	■ 高さ（ 60 ） □ 厚さ（ mm ）
6 カーペット敷き	標仕19.3.3～4	□ 織じゅうたん 標仕表19.3.1（□ A種 □ B種 □ C種）
		□ タフテッドカーペット □ パイルの形状（ ） □ パイルの長さ（ mm ）
		□ ニードルパンチカーペット （□ 厚さ mm ）
		□ タイルカーペット 種類（□ ） 総厚さ（□ mm） パイルの形状（□ ）
		寸法 （□ mm ）
		□ カーペット下敷き材 （ ）
7 合成樹脂塗り床	標仕19.4.2	
弾性ウレタン塗り床	標仕表19.4.3	□ 平滑仕上げ □ 防滑仕上げ □ つや消し仕上げ
エポキシ樹脂塗り床	標仕表19.4.4	□ 薄膜流し展べ仕上げ □ 厚膜流し展べ仕上げ
	～標仕表19.4.7	□ 樹脂モルタル仕上げ □ 防滑仕上げ
その他塗床材		□ 種類（ ） □ 防滑仕上げ（□ 要 □ 不要 ）
8 フローリング張り	標仕19.5.2	■ 種類（ ）□ 樹種（ ）□ 板厚（ mm）□ 塗装（ ）
工法	～19.5.7	■ 釘止め工法（□ A種 □ B種 □ C種） □ 湿式工法（ ）
		□ 接着工法
		□ 特殊張り工法 （体育館床工事標準施工要領書：日本フローリング工業会）
9 畳敷き	標仕表19.6.1	種別（□ A種 □ B種 □ C種 □ D種 （□ KT-I □ KT-II □ KT-III
		□ KT-K □ KT-N） □ 柔道用 ）
		□ 防虫処理（わら畳）
10 せっこうボード合板張り	標仕19.7.2	
せっこうボード		■ 厚さ（ 壁 □ 9.5 mm ■ 12.5 mm ） （ 天井 ■ 9.5 mm □ mm）
化粧せっこうボード		□ 種類（ ） □ 厚さ（ mm ）
		□ 柾目 □ 板目 □ トラバーチン
シージングせっこうボード		■ 厚さ（ ■ 12.5 mm ■ 9.5 mm ）
ケイ酸カルシウム版（タイプ2）		□ 厚さ（ 壁 □ mm ） （ 天井 □ mm ）
ロックウール化粧吸音板		□ 種別（ □ トラバーチン模様 ）（□ 凸凹模様 ）
		□ 厚さ（ mm ）
木質系セメント版		□ 種別（ □ 硬質木片セメント版 ） （ □ 普通木毛セメント版 ）
		□ 厚さ（ mm ）

19 内装工事

11 合板類の張付	標仕表19.7.3	□ A種 □ B種
12 せっこうボードの目地		□ 継目処理工法 □ 突付け工法 □ 目透し工法
	標仕表19.7.5	
13 壁紙張り	標仕19.8.2	□ 品質（ ） □ 防火性能（ 級 ）
	標仕19.8.3	素地ごしらえ（□ A種 □ B種）
14 断熱・防露	標仕19.9.2	■ 断熱材打ち込み工法 断熱材（ 種類 グラスウール 、厚さ 100 mm ）
	標仕19.9.3	■ 断熱材現場発泡工法 （ ）
		■ 厚さ （ 25 mm ） □ 難燃性能（ 級 ）

20 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロアー		□ 材質 （ ） □ 寸法（ ） □ 耐荷重性能（ ）
	標仕20.2.2	□ 耐震性能 （ ）
2 トイレブース	標仕20.2.5	□ 材質 （ ） □ 工法（□ 幅木型 □ 足金物型 ）
3 階段滑り止め	標仕20.2.6	□ 材種 （ ）□ 形状寸法（ ） □ 工法（ □ 埋込み工法 □ 接着工法 ）
4 黒板及びホワイトボード		□ 仕上げ種類（ ） □ 色（ ）
	標仕20.2.8	
5 表示	標仕20.2.10	□ ガラス衝突防止表示（ □ 材質 □ 形状寸法 ）
	標仕20.2.11	□ 非常用進入口表示
		□ 室名札 （□ 材質 □ 形状寸法 □ 取り付け形式 ）
		□ ピクトグラフ （□ 材質 □ 形状寸法 □ 取り付け形式 ）
		□ 案内板 （□ 材質 □ 形状寸法 □ 取り付け形式 ）
6 ブラインド	標仕20.2.12	□ 材質（ ） □ 形式（ □ たて形 □ よこ形 ）
7 カーテン	標仕20.2.14	□ ひだの種類（ ）□ 形状（□ 片引き □ 引き分け ） □ きれ地の種類（ ）
8 カーテンレール		□ 材質（ ）□ 形状（ ）
9 間地石積み	標仕20.4.2	□ 材質（ □ 花崗岩 □ コンクリートブロック □ ）
	標仕20.4.3	□ 工法（ □ 布積み □ 谷積み）
10 敷地境界石標	標仕20.5.1	□ 種別（ □ A種 □ B種 □ 兵庫県マーク入り ）
11 建物銘板		□ 御影石 □ その他（ ）
12 定礎板		□ 御影石 □ その他（ ）
		□ 埋設物 （□ 銅板箱＋桐箱 ）

21 排水工事

1 排水管	標仕表21.2.1	□ 硬質塩化ビニル管（ □ VP □ VU □ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 ）
		□ 遠心力鉄筋コンクリート管
2 排水側溝		■ 既製品 □ 現場打ち
3 排水会所		■ 既製品 □ 現場打ち
4 会所ふた	標仕21.2.2	□ コンクリート製 □ 鋳鉄製 □ 鋼板製 □ グレーチング（ ）
5 側溝ふた	標仕21.2.2	□ コンクリート製 □ 鋳鉄製 □ 鋼板製 □ グレーチング（ ）

22 舗装

1 路床	標仕表3.2.1	□ 盛土 （ □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 ）
	標仕22.2.3	□ 遮断層 （ 材料： 層厚： cm ）
		□ 凍上抑制層（ 材料： 層厚： cm ） □ フィルター層（ 層厚： cm ）
		□ 路床安定処理材 （ ）
2 試験	標仕22.2.5	□ CBR試験 （ □ 要 □ 不要 ）
		□ 路床締め固め度の試験（ □ 要 □ 不要 ）
		□ 砂の粒度試験 （ □ 要 □ 不要 ）
3 路盤	標仕22.3.3	□ 路盤材料 （ □ 再生材 □ 再生材以外 ） □ 路盤の厚さ（ 15 cm ）
4 アスファルト舗装	標仕22.4.2	□ 材料 （ □ 再生アスファルト □ ストレートアスファルト）
	～22.4.6	□ 加熱アスファルト混合物の種類 （ □ 一般地域 □ 寒冷地域 ）
		□ 車道部基層 （ □ 有り □ 無し ）
		□ カラー舗装基層 （ □ 有り □ 無し ）
		□ カラー舗装の着色骨材 □ 有色骨材（焼成） □ 有色骨材（樹脂皮膜）
		□ シールコート （ □ 要 □ 不要 ）
		□ アスファルト混合物等の抽出試験 （ □ 要 □ 不要 ）
5 コンクリート舗装	標仕22.5.2	□ 種類 □（ ） 厚さ（ ） □ 設計基準強度 □（ N/mm2）□ ｽﾗﾝﾌﾟ（ cm）
	～22.5.6	□ 注入目地材（ □ 低弾性タイプ □ 高弾性タイプ ）
		□ コア採取 （ □ 要 □ 不要 ）
6 特殊舗装	6節～10節	□ 透水性アスファルト舗装 （ ） □ 抽出試験（ □ 要 □ 不要 ）
		□ 排水性アスファルト舗装 （ ） □ 抽出試験（ □ 要 □ 不要 ）
		□ コンクリート平板舗装 （ ）
		□ インターロッキングブロック舗装（ ）
		□ ゴムチップ舗装 （ t=10 ）
		□ 舗石
		□ 砂利敷き （ □ A種 □ B種 ）

23 植栽工事

1 植栽地の確認	標仕23.1.3	□ 土壌の試験 □ 有 （□ 酸度 □ 塩分度） □ 無
2 植栽基盤の整備	標仕表23.2.2	□ 植栽基盤の工法（ □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 ）
3 雨水排水	標仕表23.2.2	■ 暗渠 □ 開渠 □ 排水層 □ 縦穴排水
4 土壌改良材	標仕表23.2.3	□ 適用する □ 適用しない
5 植え込み用土	標仕表23.2.3	□ 客土 □ 現場発生良質土
6 新植樹木の枯れ補償	標仕23.3.4	□ 期間 （ ）
7 移植樹木の枯れ補償	標仕23.3.6	□ 期間 （ ）
8 芝張り	標仕23.4.2	□ 芝の種類 （ ） □ 吹付けは種用種子 （□ 種類 □ 量 ）
	標仕23.4.3	□ 目地張り □ ベタ張り □ 筋芝張り
9 芝張り等の枯れ補償	標仕23.4.7	□ 期間 （ ）

材料及責任施工業者等の指定

1 本工事に該当する品目は○印のものとする。
2 特記のない場合は以下による。
1) JIS、JAS等の規格に適合する材料。
2) 「建築資材・設備機材等品質性能評価事業」（社）公共建築協会から評価書を交付された材料。
3) 公共住宅建築工事共通仕様書に基づく部品及び機器の品質性能基準に適合する部品。
4) 「建築工事資材登録簿」 （最新版）
5) 監督職員の承諾を得た材料。

章		品目	特定材料・責任施工業者	
		樋	・パナソニック	又は同等品以上
		アルミサッシ	・三協立山アルミ	又は同等品以上

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	特記仕様書2	検印	No.
縮尺		1級建築士 第292013号 後藤 直樹	A-02

■　室内空気汚染低減基準　（環境への配慮（標仕1.4.1））

1　以下の２．から８．の項で定める内装材料等の使用については、（別表１）の適用によるほか、当該各項目の事項を踏まえたものとすること。

2　（別表１）の「①　合板」：　収納、収納家具及び建具類の芯材として用いる場合も含むものとする。

3　（別表１）の「⑦　パーティクルボード」：　収納、収納家具及び建具類の芯材として用いる場合も含むものとする。

4　（別表１）の「①から⑧まで共通」：　通気性がある畳・カーペットなどの下地板についても、同様の取り扱いとする。

5　（別表１）の「⑩　壁紙」：　ホルムアルデヒドの放散量等が（社）日本塗料工業会のISM(Interior Safety Material；生活環境の安全に配慮したインテリア材料に関するガイドライン)あるいはそれと同等の基準、性能に適合するものとする。

6　（別表１）の「⑪、⑮、⑯および⑰　（接着剤、塗料等）」：　トルエンやキシレンなどの発生の原因となる有機溶剤の含有の少ないものとする。

7　（別表１）の「⑪、⑮、および⑰（壁紙、木工用接着剤等）」：　成分中の可塑剤は、難揮発性のものとする。

8　（別表１）の「①から⑨まで共通」：　木材保存剤(木材の防腐・防蟻処理)は、非有機リン系とし、工場において加圧式防腐・防蟻処理等を行うものとし、十分に乾燥した後に搬入し、現場における塗布又は吹き付けは、現場において加工した箇所のみとする。

9　換気設備：　建築基準法施行令第20条の5第1項第三号で定義する第３種ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散建築材料(JIS又はJASの表示記号でＦ☆☆☆相当)を使用する場合は、対象室等ごとに所定の換気回数、および換気回数ごとの使用面積の制限を満足させること。なお、詳細は設備図面による。

10　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定：　「学校環境衛生の基準」（平成４年６月２３日文部省体育局長裁定、最終改訂平成16年２月）等に基づき、以下のとおりとする。（化学物質の濃度測定（標仕1.5.9））

なお、測定にあたっては、測定に関する計画書（２部）を提出し、監督職員の承諾を受けたうえで行うこと。

・　測定対象の化学物質
　ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・アセトアルデヒド・エチルベンゼン・スチレン

・　測定する居室等
　（　２ヶ所　）及び外気（　０ヶ所　）　　計　（　２　ヶ所　）

・　採取状態
　３０分換気後に対象室内を５時間以上密閉し、その後、吸引方式では概ね３０分間で２回以上、拡散方式では８時間以上採取する。
　また、採取は授業を行う時間帯に、部屋の中央付近の少なくとも壁から１ｍ以上離した高さ1.2～1.5mの位置で行う。換気は常時換気システムを有している場合は稼働させてよいものとする。

・　測定方法
次の（ア）、（イ）または、これらと相関の高い方法によって行うものとする。

（ア）　ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。
（イ）　揮発性有機化合物（トルエン、キシレン）は、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ－質量分析法によって行う。

・　測定結果等報告書の提出
　測定後は、気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、採取場所、採取月日時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数、分析機関、測定濃度、測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を２部提出する。

＜基準値＞
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ:100μg/m3(0.08ppm)　ﾄﾙｴﾝ:260μg/m3(0.07ppm)　ｷｼﾚﾝ:870μg/m3(0.20ppm)
ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ:48μg/m3(0.03ppm)　ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ:3800μg/m3(0.88ppm)　ｽﾁﾚﾝ:220μg/m3(0.05ppm)

（参考）関係法令等
・　「建築基準法」（昭和25年5月24日法律第201号）並びにこの規定に基づく命令及び条例の規定等
・　「学校環境衛生の基準」（文部科学省ｽﾎﾟｰﾂ・青少年局学校健康教育課最終改訂平成16年２月）

別表１　ホルムアルデヒド発散建築材料一覧

区　分	各種のホルムアルデヒド発散建築材料（みなし認定を含む）			
	第一種※ ※　第一種建材はすべて右各欄（第二種・第三種）に掲げるものを除く	第二種	第三種	規制対象外種
①合板	合板	・Ｆ☆☆（ＪＡＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆（ＪＡＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆☆（ＪＡＳ） ・非ホルムアルデヒド系接着剤使用（ＪＡＳ）など ・大臣認定
②木質系フローリング	木質系フローリング （縦継ぎした単層フローリングなどを除く）			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＡＳ） ・非ホルムアルデヒド系接着剤使用（ＪＡＳ）など ・大臣認定
③構造用パネル	構造用パネル			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＡＳ） ・非ホルムアルデヒド系接着剤使用（ＪＡＳ） ・大臣認定
④集成材	集成材			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＡＳ） ・非ホルムアルデヒド系接着剤使用（ＪＡＳ） ・大臣認定
⑤単板積層材	単板積層材 ＬＶＬ；Laminated　Veneer　Lumber）			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＡＳ） ・非ホルムアルデヒド系接着剤およびホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（ＪＡＳ） ・大臣認定
⑥ＭＤＦ	ＭＤＦ (ﾐﾃﾞｨｱﾑ･ﾃﾞﾝｼﾃｨ･ﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ)			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
⑦パーティクルボード	パーティクルボード			
⑧その他の木質建材	木材のひき板、単板または小片その他これらに類するものをユリア樹脂などを用いた接着剤により面的に接着し、板状に成型したもの	・大臣認定	・大臣認定	・大臣認定
⑨ユリア樹脂板	ユリア樹脂板			
⑩壁紙	壁紙			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
⑪接着剤（現場施工、工場での二次加工とも）	壁紙施工用でん粉系接着剤			・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
	ホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系接着剤			
	ユリア樹脂など（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂またはホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤			・大臣認定
⑫保温材	ロックウール保温板、ロックウールフェルト ロックウール保温帯、ロックウール保温筒 グラスウール保温板、グラスウール波形保温板 グラスウール保温帯、グラスウール保温筒	・Ｆ☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
	フェノール樹脂系保温材	・大臣認定	・大臣認定	・大臣認定
⑬緩衝材	浮き床用グラスウール緩衝材、浮き床用ロックウール緩衝材			
⑭断熱材	ロックウール断熱材、グラスウール断熱材 吹込み用グラスウール断熱材		・Ｆ☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
	ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材		・大臣認定	・大臣認定
⑮塗料（現場施工）	アルミニウムペイント、油性調合ペイント 合成樹脂調合ペイント、フタル酸樹脂ワニス フタル酸樹脂エナメル、油性系下地塗料 一般用さび止めペイント、多彩模様塗料 家庭用屋内木床塗料、家庭用木部金属部塗料 建物用床塗料 （いずれも、ユリア樹脂などを用いたものに限る）	・Ｆ☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
⑯仕上塗材（現場施工）	内装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 内装合成樹脂エマルション系厚付け仕上塗材 軽量骨材仕上塗材 合成樹脂エマルション系複層仕上塗材 防水形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材 （いずれも、ユリア樹脂などを用いたものに限る）	・大臣認定	・大臣認定	・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
⑰接着剤（現場施工）	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤、ゴム系溶剤形接着剤 ビニル共重合樹脂系溶剤形接着剤 再生ゴム系溶剤形接着剤 （いずれも、ユリア樹脂などを用いたものに限る）	・Ｆ☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定	・Ｆ☆☆☆☆（ＪＩＳ） ・大臣認定
本工事での適用箇所	**適　用　外**	**適　用　外**	**適　用　外**	**・非居室**

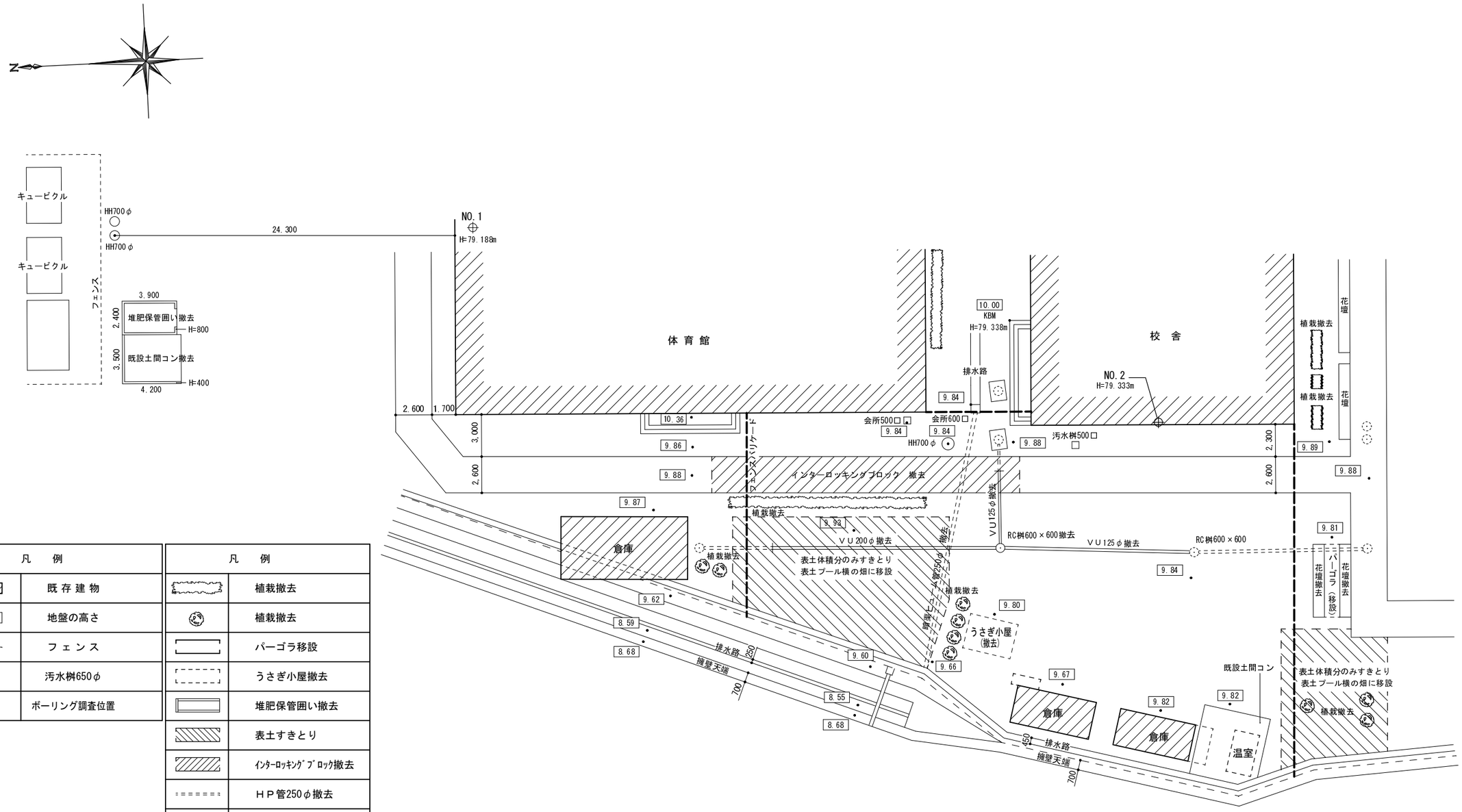
本表は以下の告示をまとめたものである。
・国土交通省告示第1113号（H14.12.26）（改正H15.4.1告示第370号）
・　同　上　第1114号（　同　上　）（改正　同　上　第371号）
・　同　上　第1115号（　同　上　）（改正　同　上　第372号）

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	特記仕様書３	検印						No,	
縮　尺		１級建築士　第292013号 後藤 直樹							A-03



凡　例	
	既存建物
0.00	地盤の高さ
— —	フェンス
	汚水桝650φ
	ボーリング調査位置

凡　例	
	植栽撤去
	植栽撤去
	パーゴラ移設
	うさぎ小屋撤去
	堆肥保管囲い撤去
	表土すきとり
	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去
	ＨＰ管250φ撤去
	ＶＵ管撤去
	フェンスバリケード H-1.8m

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

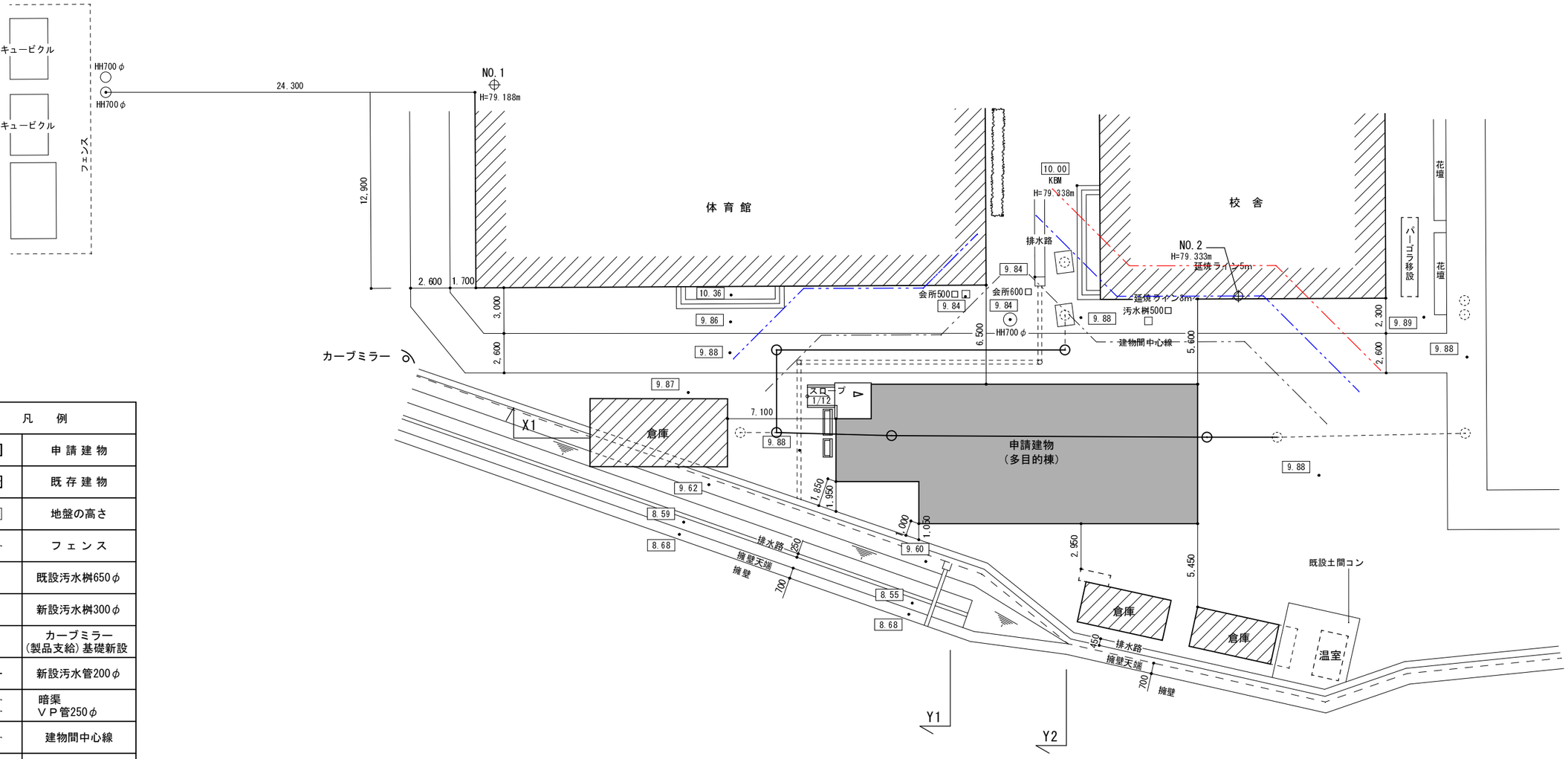
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	現況配置図・撤去図
縮　尺	S=1:300

検印

1級建築士　第292013号
後藤 直樹

No. A-04



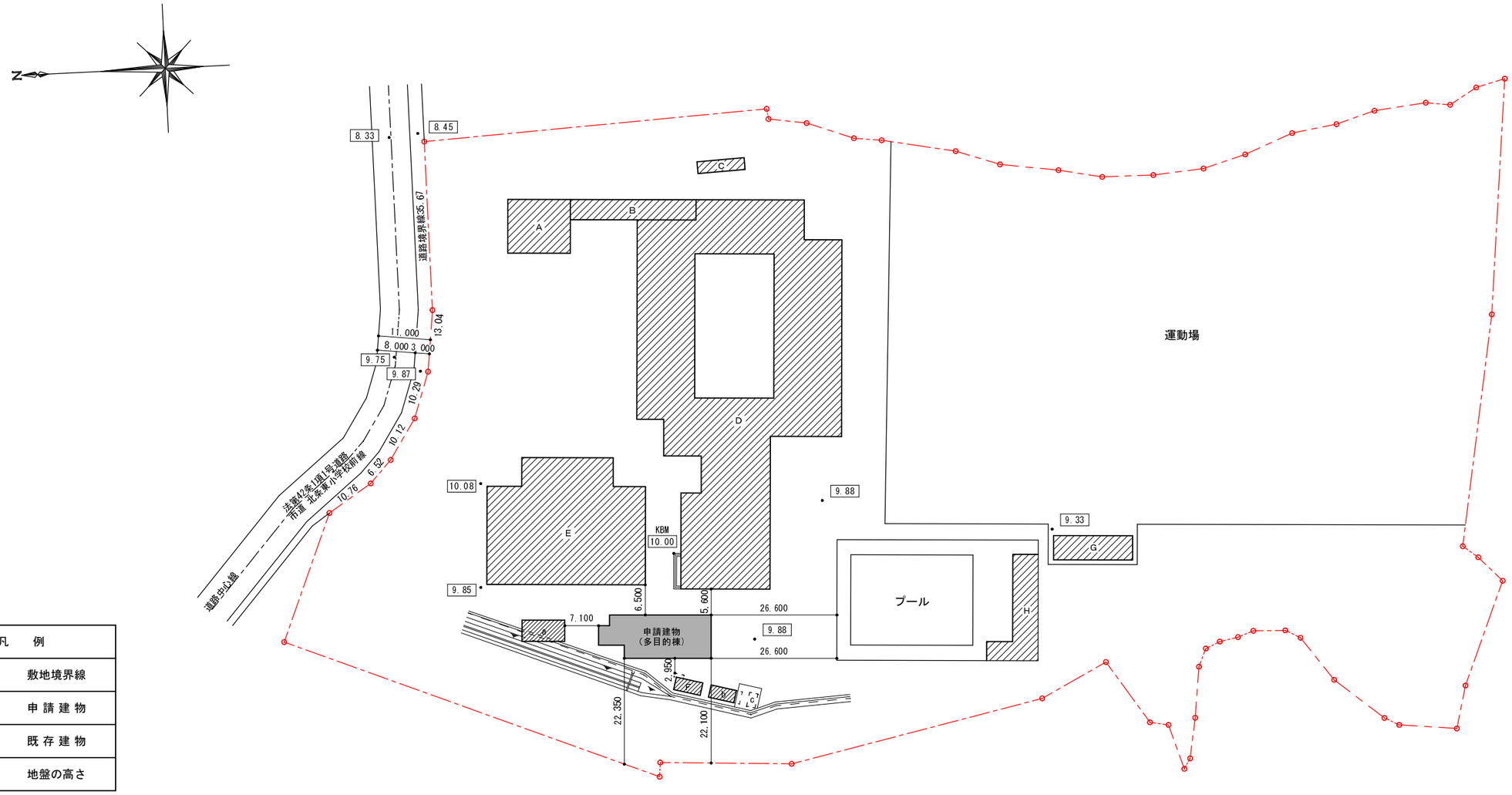
凡　例	
	申請建物
	既存建物
0.00	地盤の高さ
	フェンス
	既設汚水桝650φ
	新設汚水桝300φ
	カーブミラー (製品支給) 基礎新設
	新設汚水管200φ
	暗渠 VP管250φ
	建物間中心線
	延焼ライン3m
	延焼ライン5m

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

北条東小学校多目的棟新築 工事設計図

図面名	配置図	検印		No.	A-05
縮尺	S=1:300	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			



凡　例	
	敷地境界線
	申 請 建 物
	既 存 建 物
0.00	地盤の高さ

敷地面積	26,359.92 m2			7,987.8 坪
建築面積（13.04%）	申請建物	既存建物	合　計	
	203.13 m2	3,231.89 m2	3,435.02 m2	1,040.9 坪
延床面積（23.01%）	申請建物	既存建物	合　計	
	197.79 m2	5,865.89 m2	6,063.68 m2	1,837.4 坪

既存建物	符　号	A	B	C	D	E	F	G	H	a	b	c	
	用　途	給食棟	渡り廊下	トイレ	校舎	体育館	倉庫	体育倉庫	更衣室	倉庫	倉庫	温室	計
	建築面積（㎡）	144.45	41.80	25.00	1,939.50	799.50	24.00	80.00	106.80	40.54	24.00	6.30	3,231.89
	延床面積（㎡）	144.45	41.80	25.00	4,573.50	799.50	24.00	80.00	106.80	40.54	24.00	6.30	5,865.89
	最高の高さ(m)	5.50	3.50	2.95	19.47	11.70	2.75	3.20	3.75	3.15	2.75	2.75	
	最高の軒高(m)	3.60	3.15	2.40	16.27	7.68	2.40	2.60	3.25	2.95	2.40	2.40	
	確認済番号・年月日	加西第17号 平成元年5月19日							加西第A71号 平成2年9月29日	H16北播磨-000393号 平成16年9月15日		確認不要	

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	全体配置図
縮　尺	S=1:800

検印

1級建築士　第292013号
後藤 直樹

No. A-06

外部仕上表

基礎	鉄筋コンクリート造	軒裏	アラワシ	手洗場	ステンレス製既製品L=1200　3槽式　ニッサンハロー同等品
腰壁	モルタル金ゴテ仕上 基礎パッキン	建具	アルミ（カラー）	軒樋	塩ビ製　W=120
外壁	窯業系サイディングt=16 木製パネル下地 防湿シート	ポーチ床	土間コンクリートt=100 金コテ押え 砕石t=100 手摺：SUS32φ HL	竪樋	塩ビ製　75φ
屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.6折板葺 鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 H=300	スロープ	土間コンクリートt=100 ホウキ引仕上 砕石t=100 手摺：SUS32φ HL		
玄関庇	カラーガルバリウム鋼板t=0.6折板葺 鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 H=300	足洗場	コンクリート既製品 日本興業：シンプルパン同等以上 手摺：SUS32φ HL		

内部仕上表

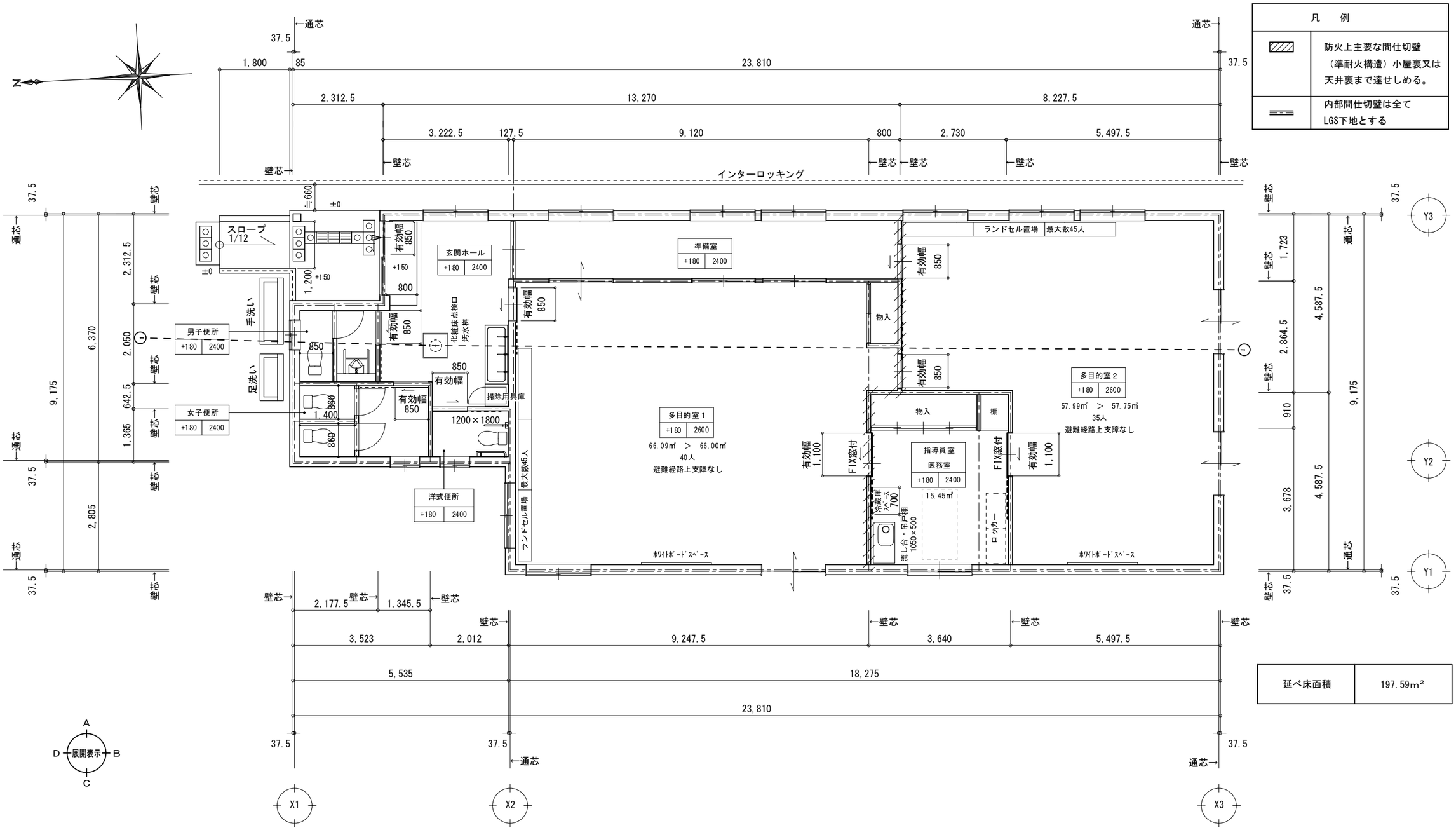
室名	床	巾木	腰壁	天井	廻り縁	天井高	備考
玄関ホール	防滑性長尺塩ビシートt=2.5 CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	PB t=12.5の上 ビニールクロス貼	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	
準備室	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	PB t=12.5の上 ビニールクロス貼	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	化粧床点検口 手洗 掃除用具庫
多目的室１	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	クロス下地用合板 t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910まで) PB t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910以上)	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,600	ランドセル置き45人分
物入	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	PB t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910以上)	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	棚
多目的室２	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	クロス下地用合板 t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910まで) PB t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910以上)	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,600	ランドセル置き45人分
指導員室・医務室	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	PB t=12.5の上 ビニールクロス貼	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	流し・吊り戸棚 W=1,200 D=550 棚 ロッカー
物入	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	PB t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910以上)	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	棚
棚	CFシートt=2.3	ソフト巾木H=100	PB t=12.5の上 ビニールクロス貼(H910以上)	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,600	棚
男子便所	抗菌性長尺塩ビシートt=2.5	ソフト巾木H=100	耐水PB t=12.5の上 ビニールクロス貼	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	洋便器 小便器(手摺付)
女子便所	抗菌性長尺塩ビシートt=2.5	ソフト巾木H=100	耐水PB t=12.5の上 ビニールクロス貼	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	洋便器×2
洋式便所	抗菌性長尺塩ビシートt=2.5	ソフト巾木H=100	耐水PB t=12.5の上 ビニールクロス貼	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	2,400	洋便器（手摺付）

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	仕　上　表	検印	
縮　尺		１級建築士　第292013号 後藤 直樹	No, A-07



特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

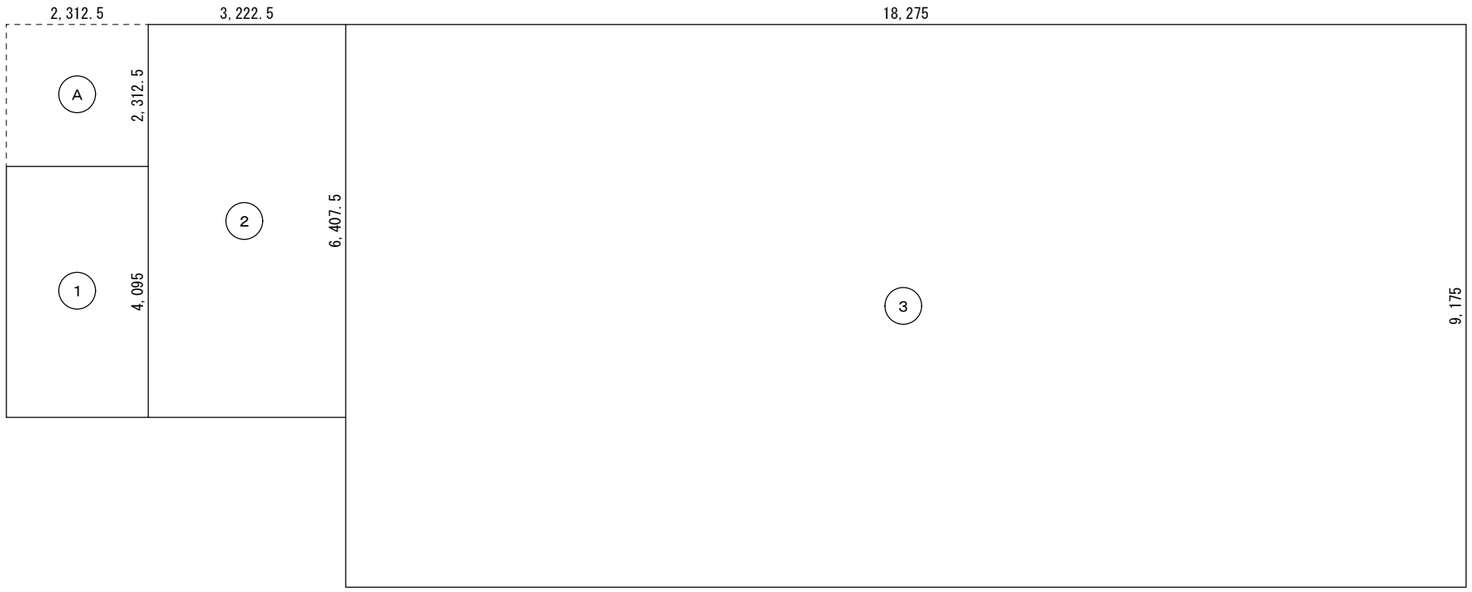
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	平面図
縮　尺	S=1:100

検印

1級建築士 第292013号
後藤 直樹

No. A-08



符号	計 算 式				
1	2.3125	×	4.0950	＝	9.469687
2	3.2225	×	6.4075	＝	20.648169
3	18.2750	×	9.1750	＝	167.673125
A	2.3125	×	2.3125	＝	5.347656

計画建物		
建築面積		
１～３＋Ａ＝	203.138637	203.13 m2
延床面積		
１～３＝	197.790981	197.79 m2

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

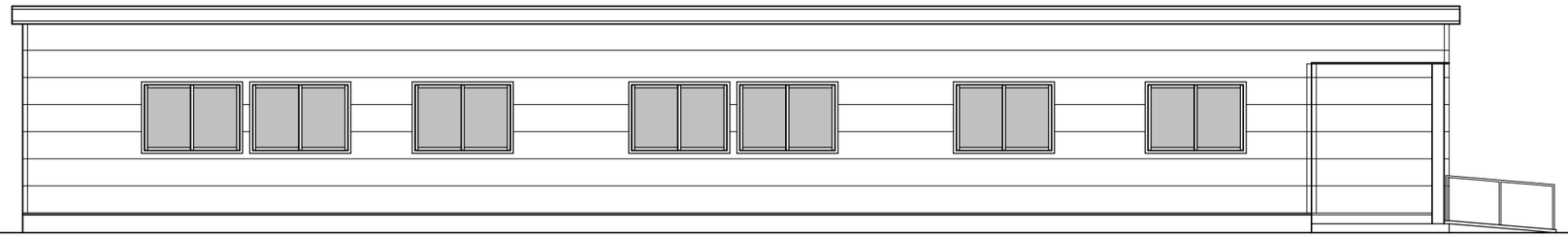
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	建物求積図
縮 尺	S=1:100

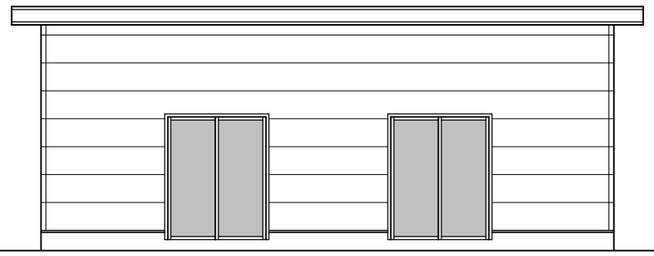
検印

１級建築士 第292013号
後藤 直樹

No. A-09



東　面



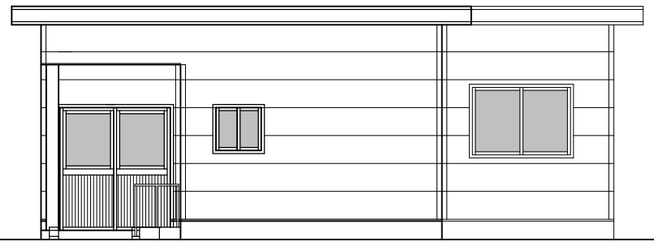
南　面

特記事項

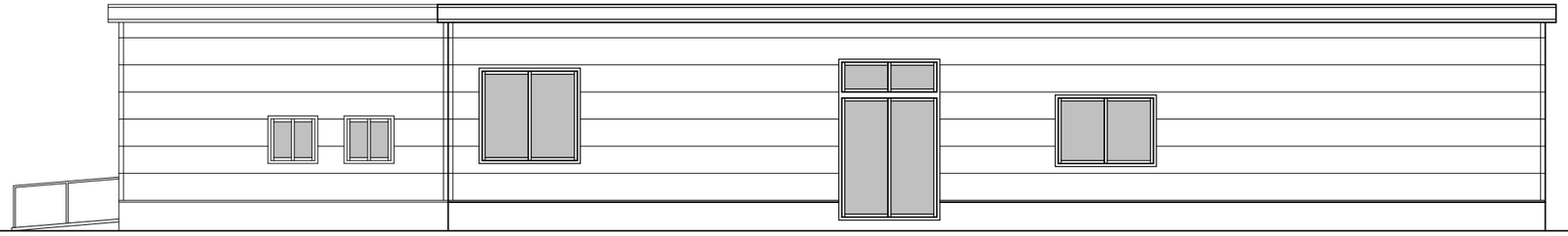
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	立面図 1	検印	
縮　尺	S=1:100	１級建築士　第292013号 後藤 直樹	
No,	A-10		



北　面



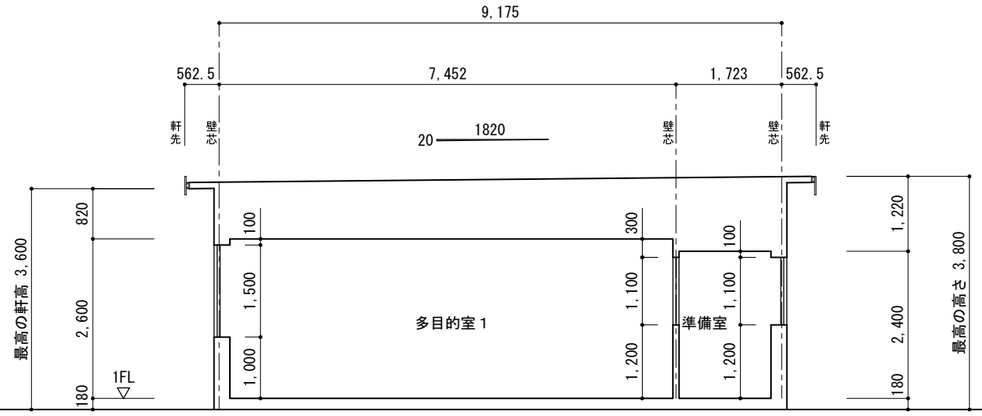
西　面

特記事項	

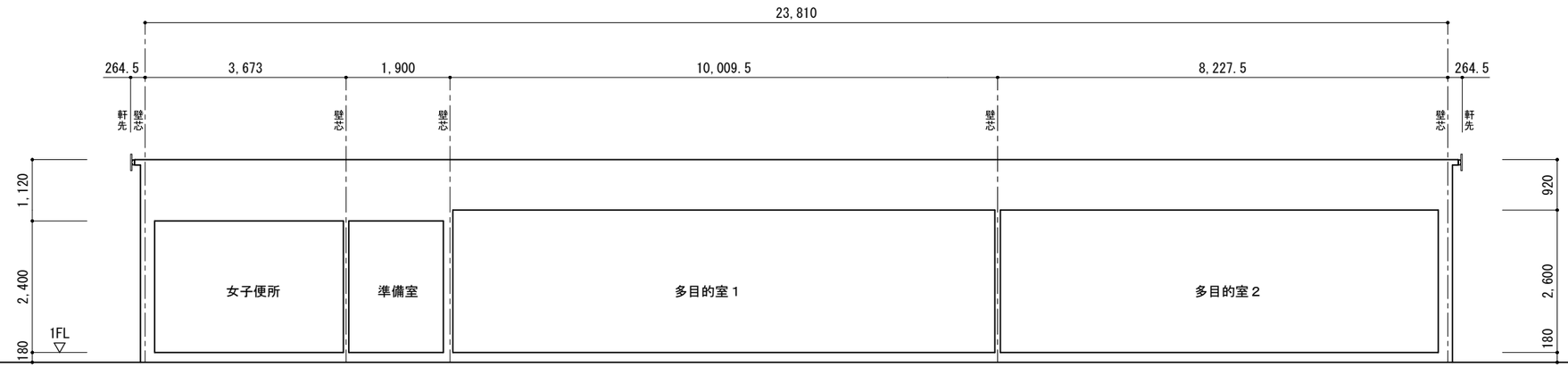
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	立面図２	検印		No,	
縮　尺	S=1:100	１級建築士　第292013号 後藤 直樹			A-11



Ｘ－Ｘ



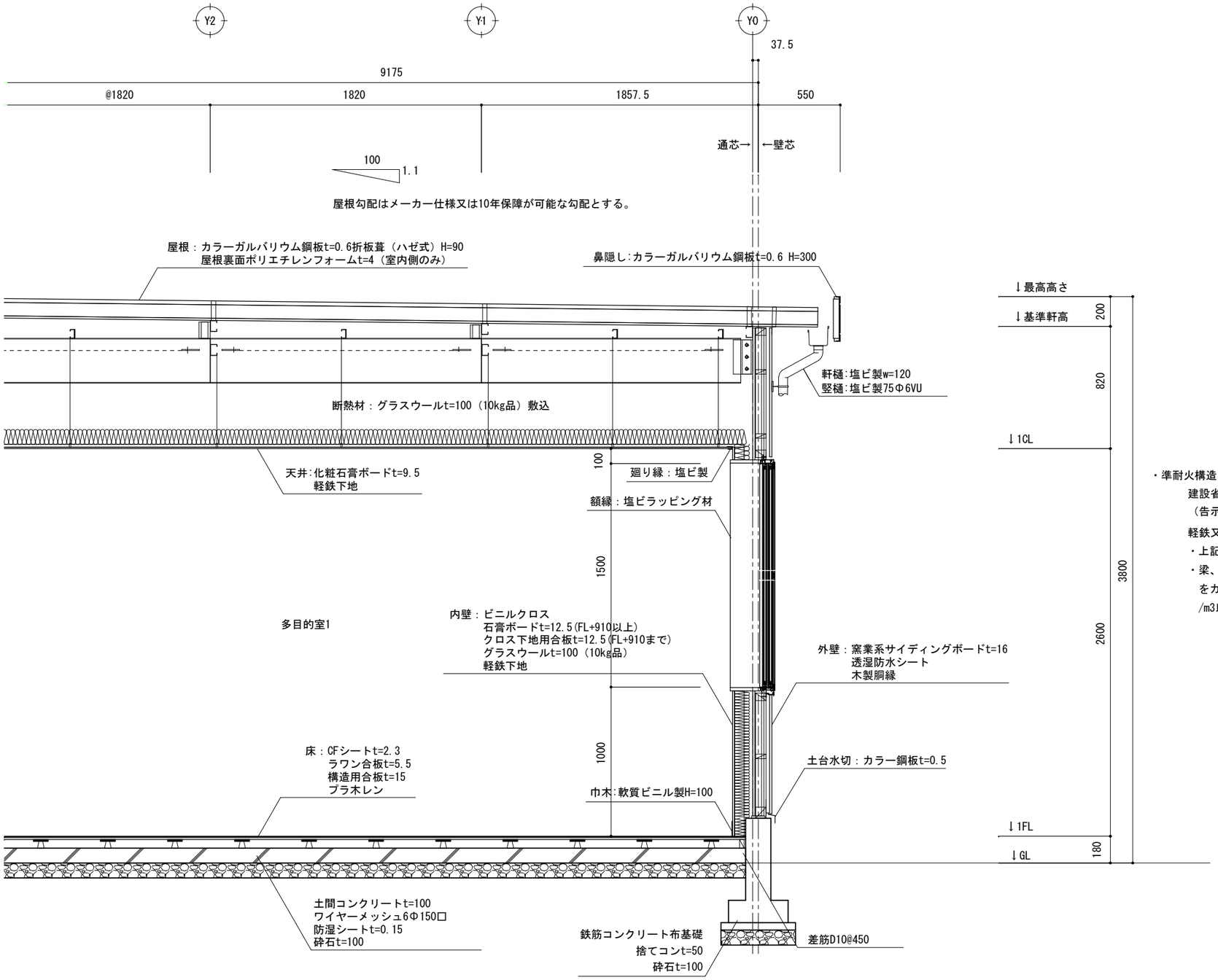
Ｙ－Ｙ

特記事項	

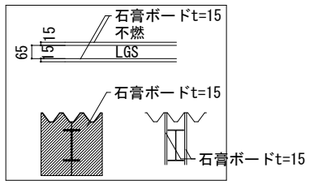
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	断面図	検印		No,	
縮尺	S=1:100	１級建築士 第292013号 後藤 直樹			A-12



・準耐火構造：間仕切（非耐力壁）
建設省 告示第1358号第一第二号ロ
（告示第1358号第一 第一号ロ（1）（ｉ））
軽鉄又は木製下地の上、両面石膏ボードt=15張
・上記構造は小屋裏又は天井裏に達せしめるものとする。
・梁、母屋、折板と干渉する部分については、石膏ボードをカットし、隙間のある部分は、ロックウール（150kg/m3以上)を充填するものとする。



防火上主要な間仕切壁

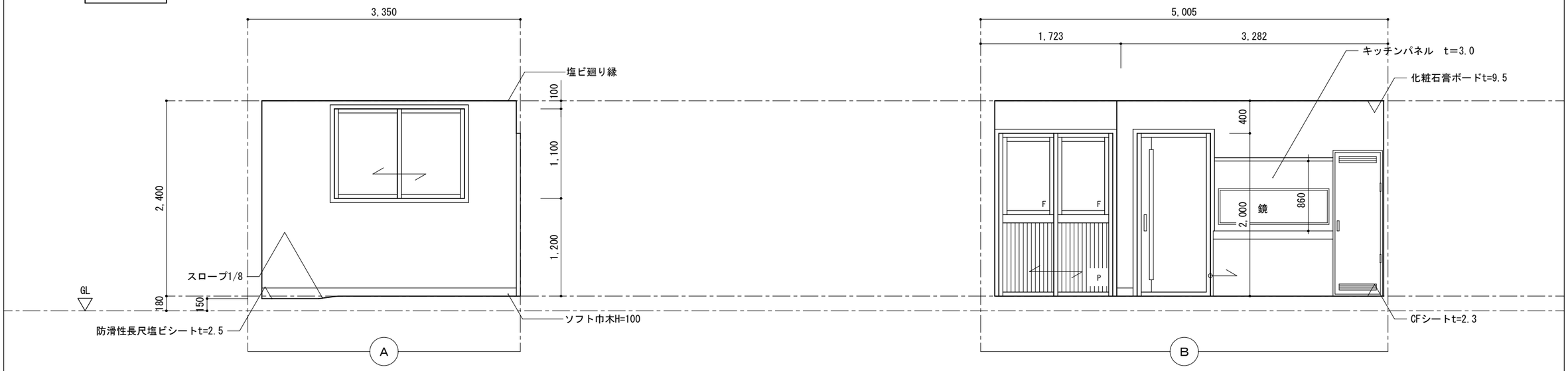
特記事項	

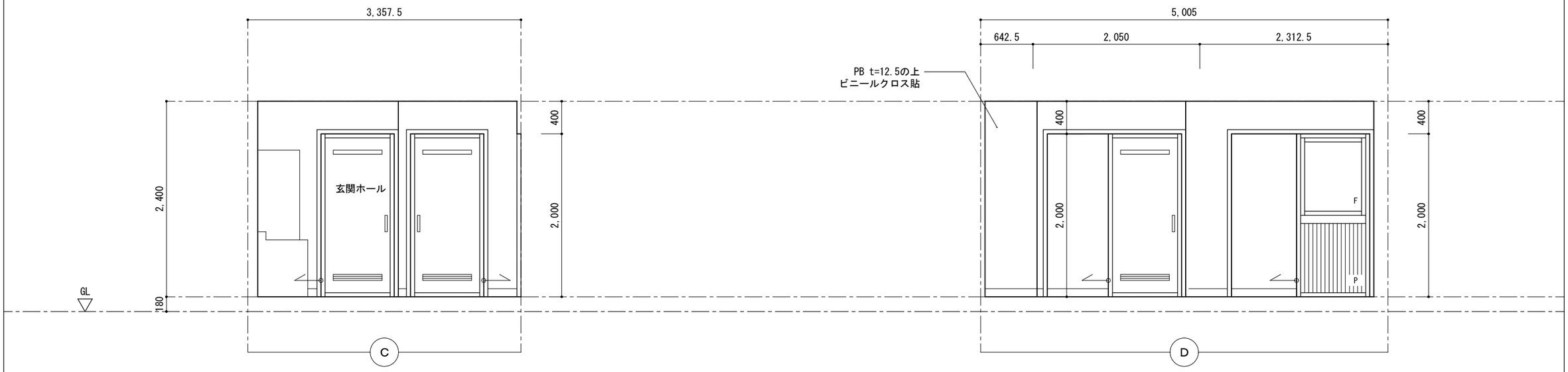
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	矩計図	検印		No,	
縮尺	S=1:50 S=1:30	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			A-13

玄関ホール





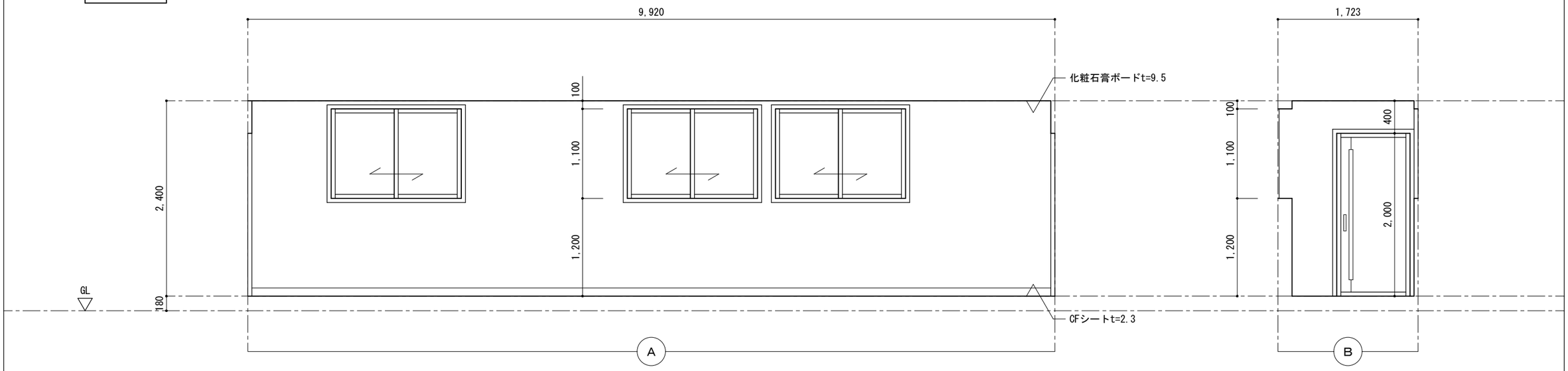
特記事項

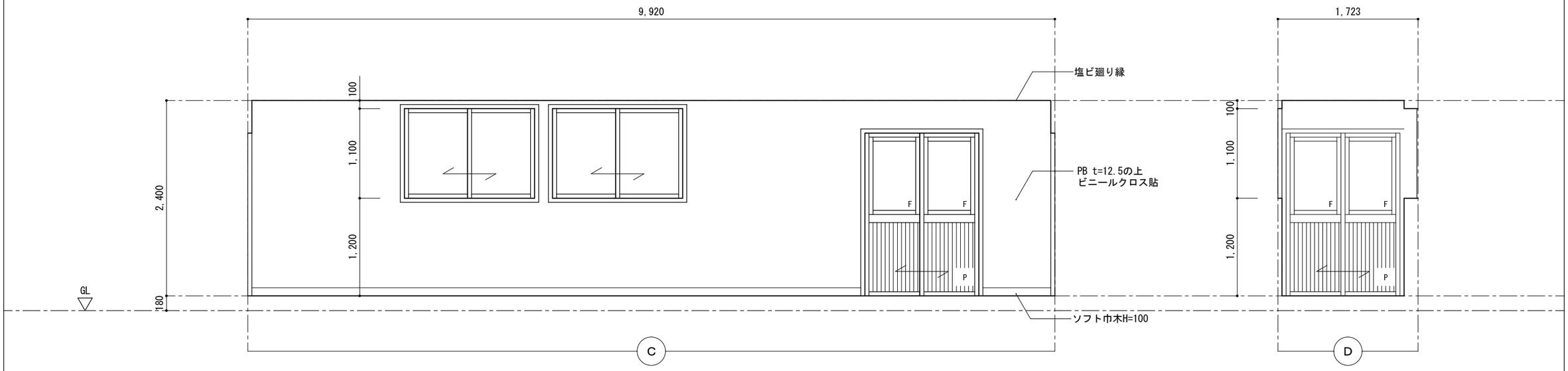
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図 1　（玄関ホール）	検印	
縮　尺	S=1:50	1級建築士　第292013号 後藤 直樹	No. A-14

準備室





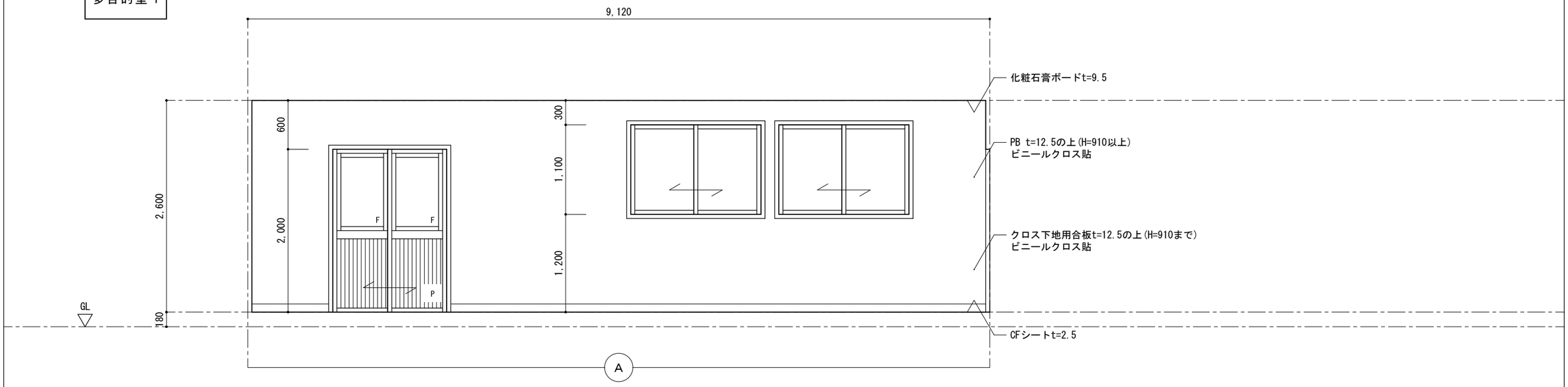
特記事項

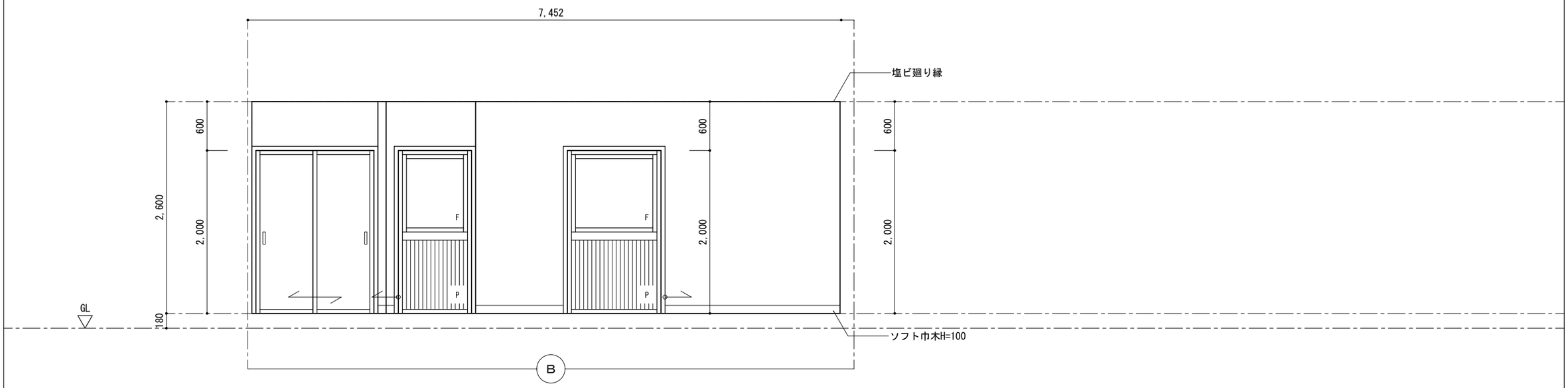
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図２ （準備室）	検印	
縮尺	S=1:50	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	No. A-15

多目的室１





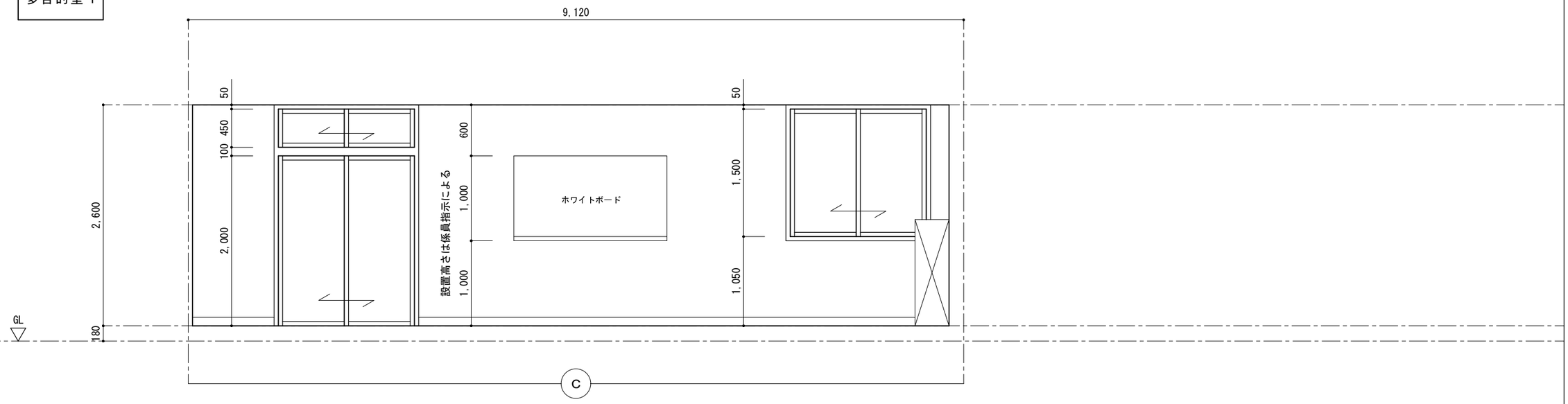
特記事項	

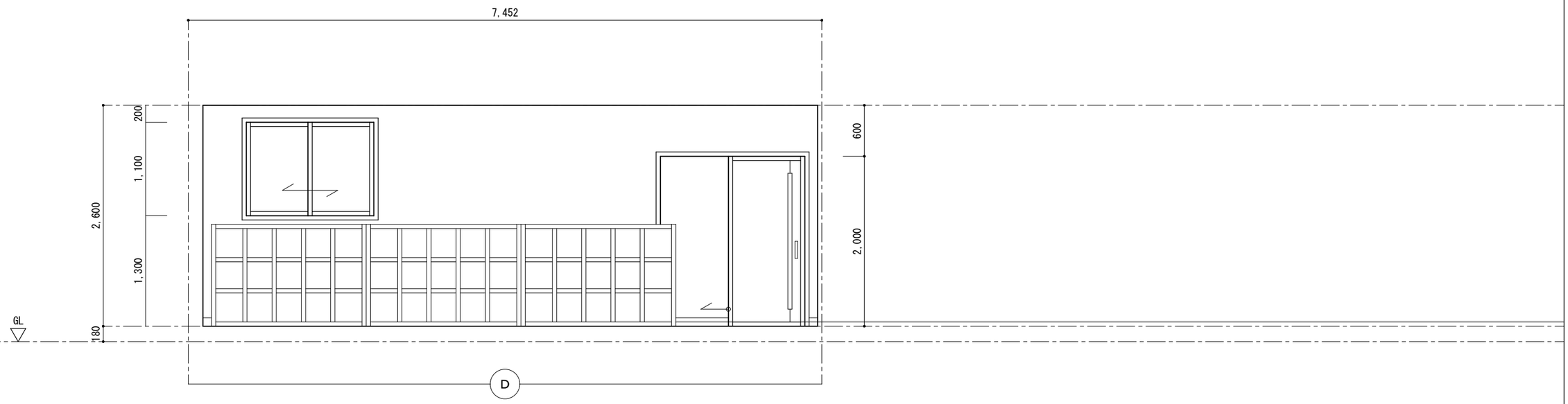
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図３　（多目的室１）	検印		No,	
縮　尺	S=1:50	１級建築士　第292013号 後藤 直樹			A-16

多目的室１





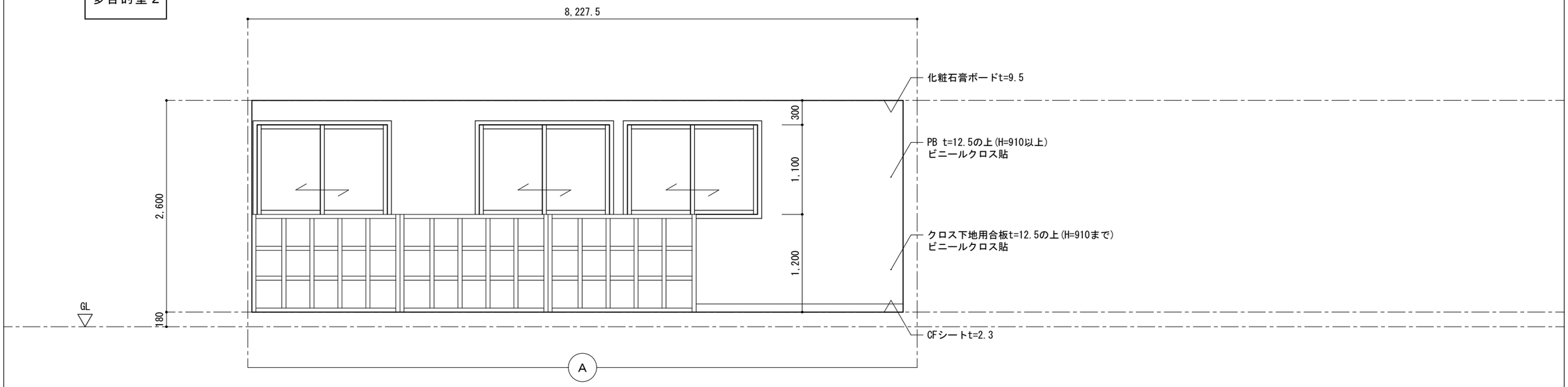
特記事項	

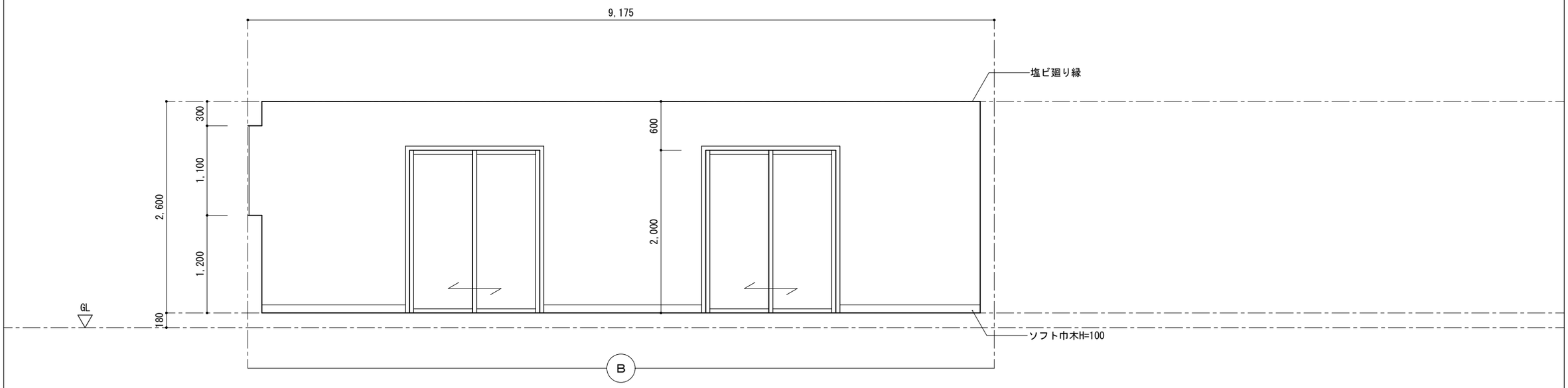
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所　兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図４　（多目的室１）	検印		No,
縮　尺	S=1:50	１級建築士　第292013号 後藤 直樹		A-17

多目的室２





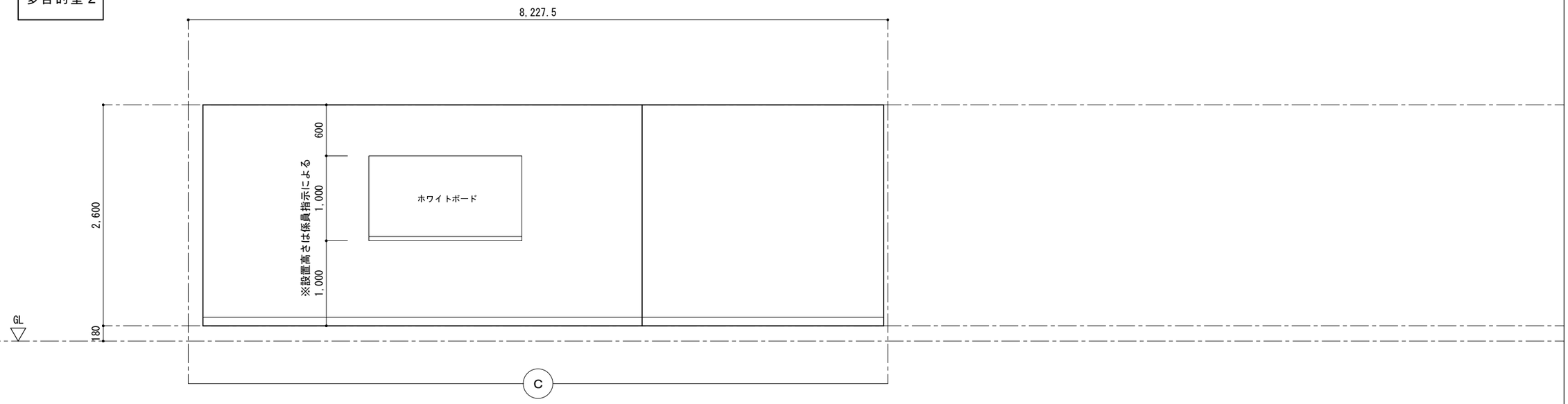
特記事項	

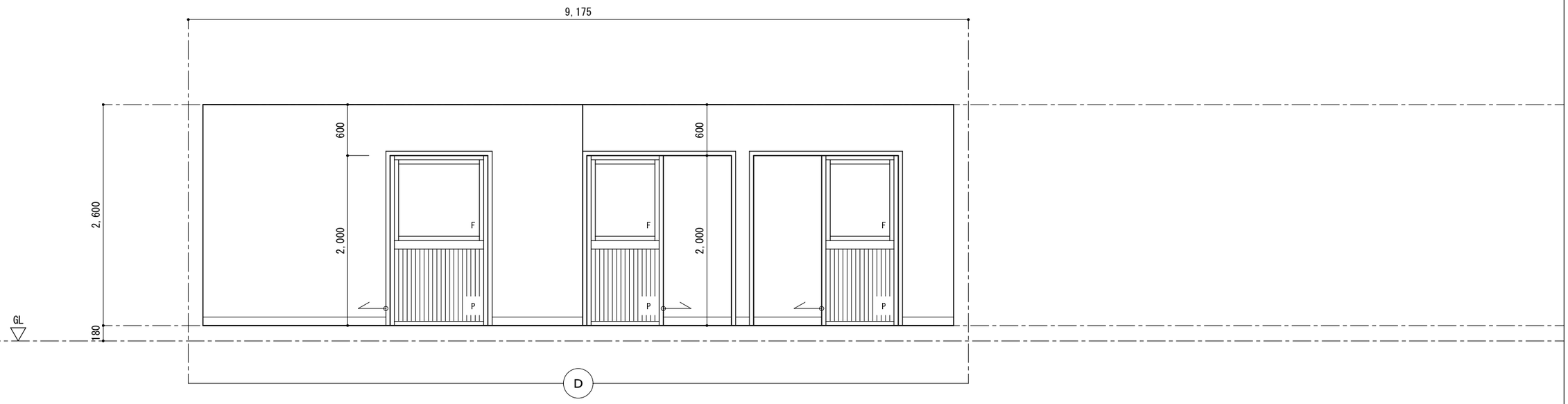
一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図５ （多目的室２）	検印		No.	
縮尺	S=1:50	１級建築士 第292013号 後藤 直樹			A-18

多目的室２





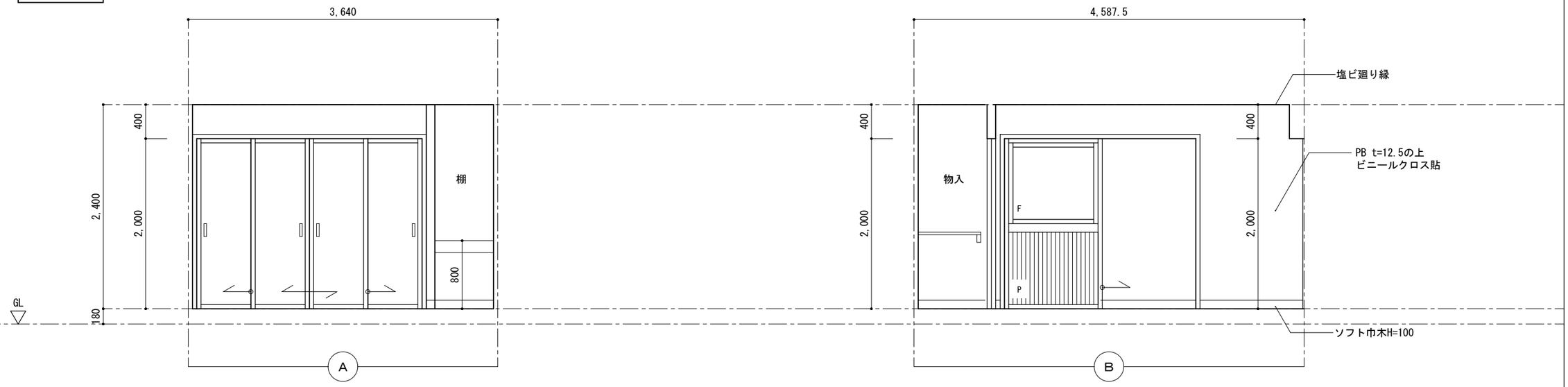
特記事項	

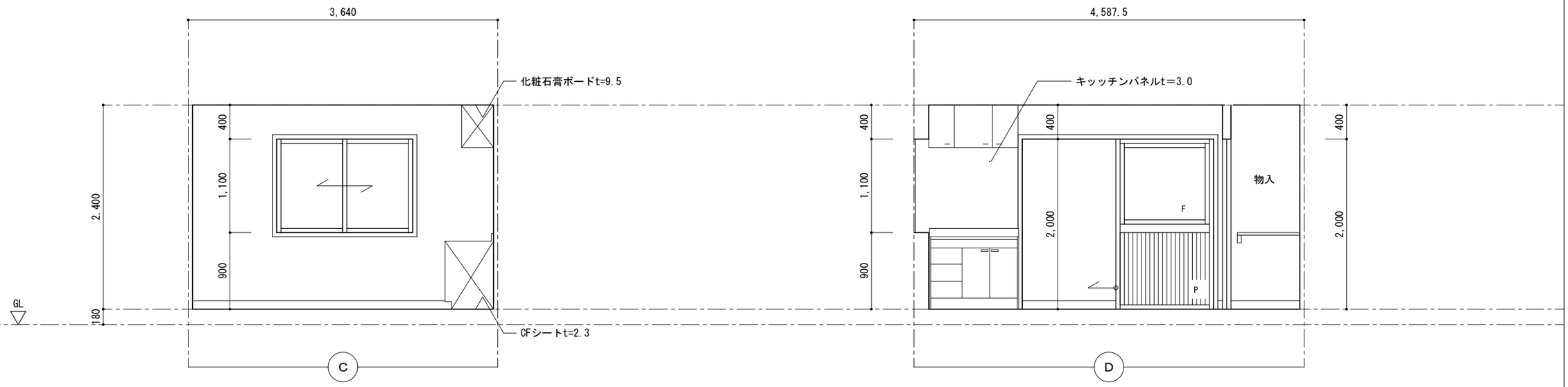
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図６　（多目的室２）	検印		No,	
縮　尺	S=1:50	１級建築士　第292013号 後藤 直樹			A-19

指導員室
医務室





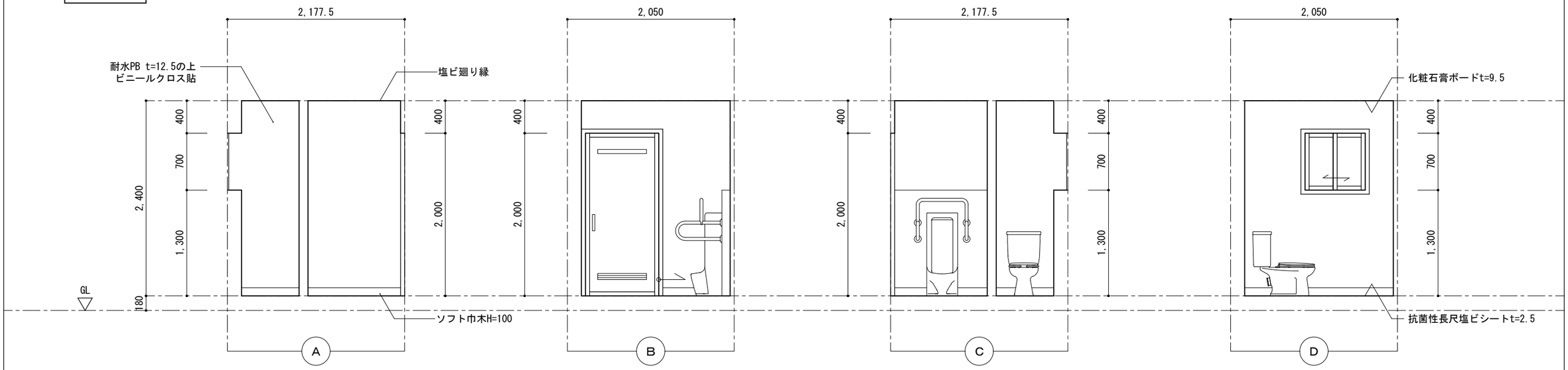
特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

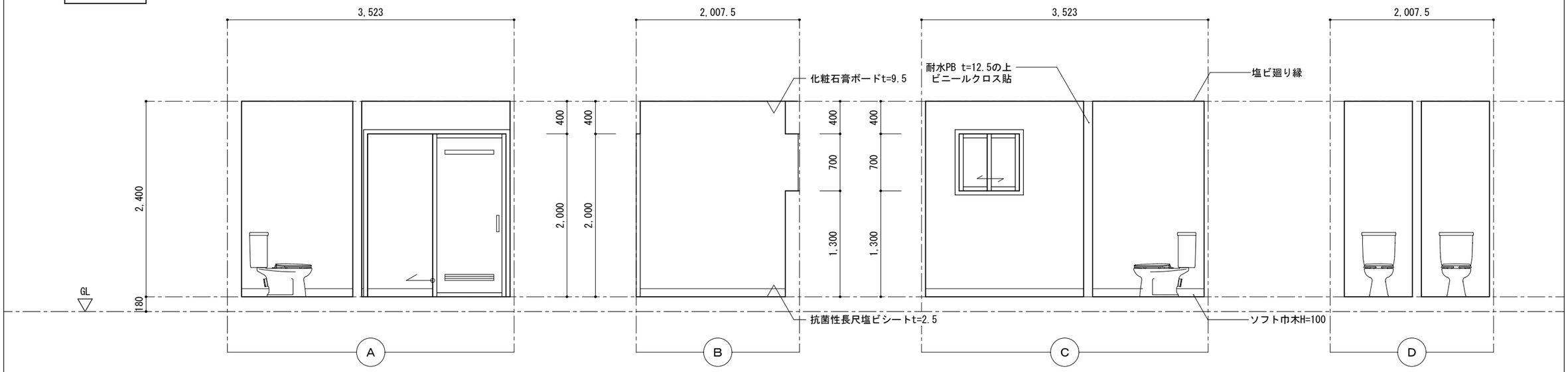
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図 7 （指導員室・医務室）	検印	
縮尺	S=1:50	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	No. A-20

男子便所



女子便所



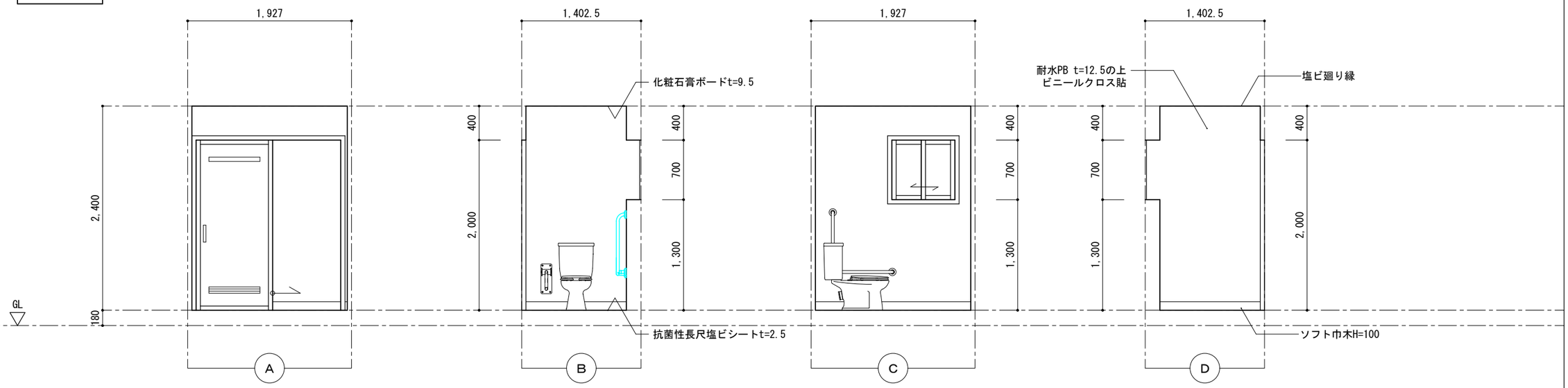
特記事項	

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図８（男子便所・女子便所）	検印		No,	
縮尺	S=1:50	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			A-21

洋式便所

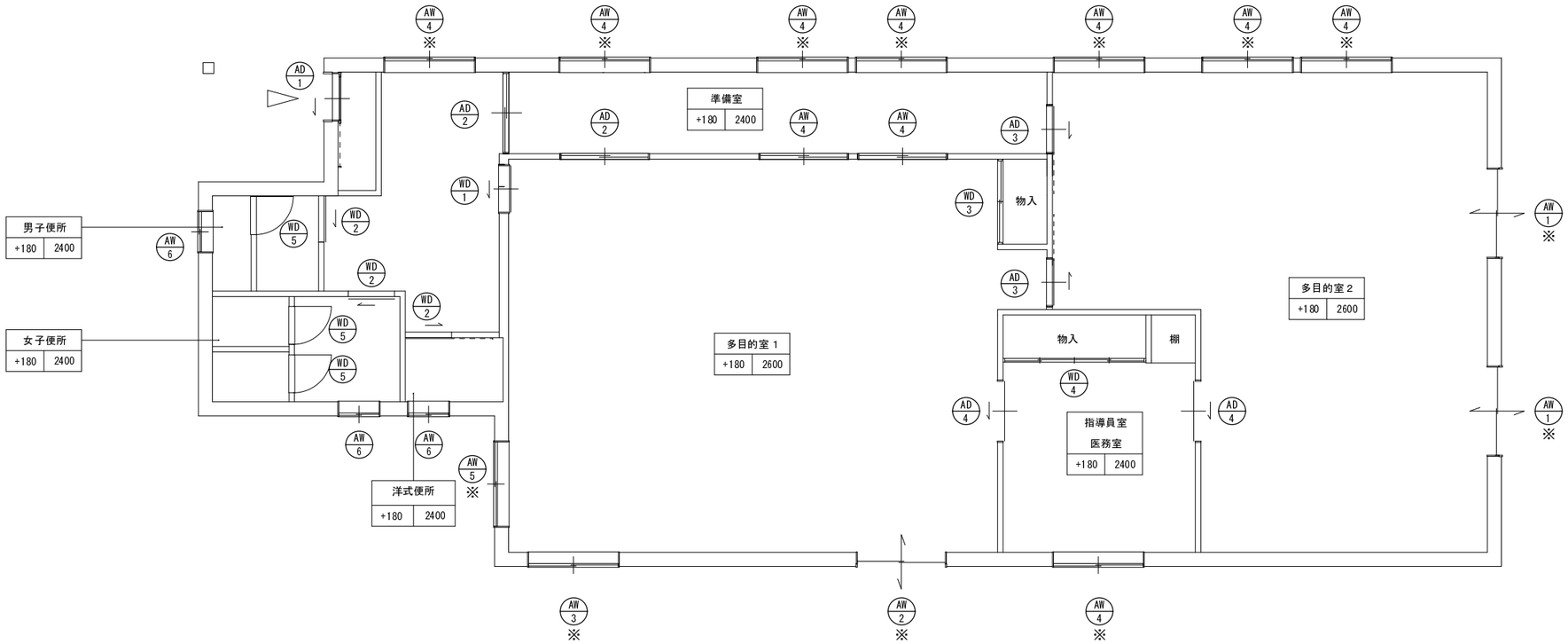


特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	展開図 9　（洋式便所）	検印	
縮　尺	S=1:50	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	
No,	A-22		



は、日除けシングルカーテン(窓幅同等以上・レール共)設置を示す。
※

特記事項	

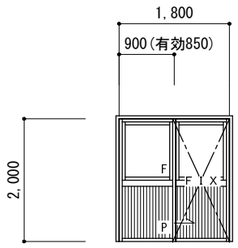
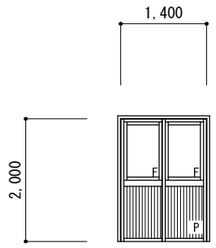
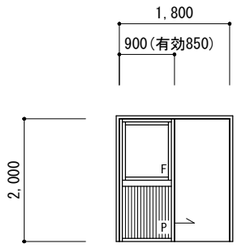
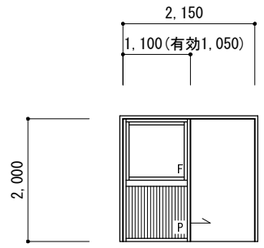
一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

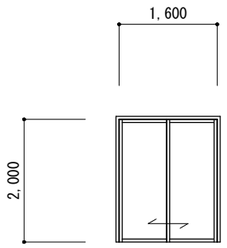
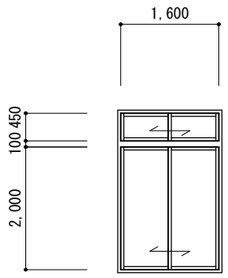
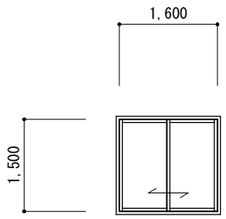
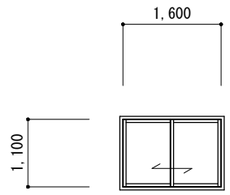
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	KEYPLAN
縮 尺	S=1:100

検印					
1級建築士 第292013号 後藤 直樹					

No. A-23

符　号	AD 1　片引き戸	AD 2　片引き戸	AD 3	AD 4　片引き戸
姿　図				
材　質	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー
数　量	1	2	2	2
ガラス	透明ガラス　t=5	透明ガラス　t=5	透明ガラス　t=5	透明ガラス　t=5
見　込	70	70	70	70
金　物	引手　シリンダー錠　他付属品一式	引手　表示錠　他付属品一式	引手　表示錠　他付属品一式	引手　表示錠　他付属品一式
備　考				

符　号	AW 1　掃出し窓	AW 2　掃出し窓(欄間付)	AW 3　引違い窓	AW 4　引違い窓
姿　図				
材　質	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー
数　量	2	1	1	10
ガラス	透明ガラス　t=5	透明ガラス　t=5	透明ガラス　t=5	透明ガラス　t=5
見　込	70	70	70	70
金　物	ｸﾚｾﾝﾄ AP 水切　樹脂網戸　他付属品一式	ｸﾚｾﾝﾄ AP 水切　樹脂網戸　他付属品一式	ｸﾚｾﾝﾄ AP 水切　樹脂網戸　他付属品一式	ｸﾚｾﾝﾄ AP 水切　樹脂網戸　他付属品一式
備　考	日除けカーテン,カーテンレール（シングル）	日除けカーテン,カーテンレール（シングル）	日除けカーテン,カーテンレール（シングル）	日除けカーテン,カーテンレール（シングル）

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所　兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

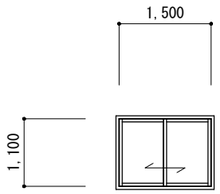
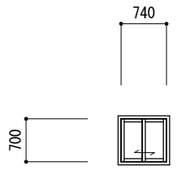
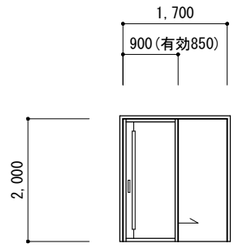
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

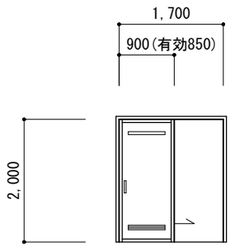
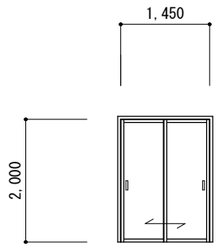
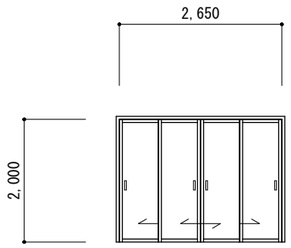
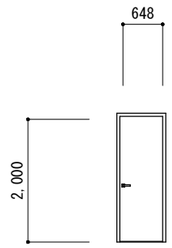
図面名	建具表 1
縮　尺	S=1:100

検印

1級建築士　第292013号
後藤 直樹

No. A-24

符　号	AW 5 引違い窓	AW 6 引違い窓		WD 1 片引き戸
姿　図				
材　質	アルミ カラー	アルミ カラー		フラッシュ
数　量	1	3		1
ガラス	透明ガラス t=5	型板ガラス t=4		透明ガラス t=5
見　込	70	70		115
金　物	ｸﾚｾﾝﾄ AP 水切 樹脂網戸 他付属品一式	ｸﾚｾﾝﾄ AP 水切 樹脂網戸 他付属品一式		引手、表示錠、他付属金物一式
備　考	日除けカーテン,カーテンレール（シングル）			指詰め防止 ウッディラインCF4(リクシル)同等品

符　号	WD 2 片引き戸	WD 3 引違い戸	WD 4 引違い戸	WD 5 引開戸
姿　図				
材　質	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ
数　量	3	1	1	3
ガラス	透明ガラス t=5	透明ガラス t=5		
見　込	35	35	35	35
金　物	引手、表示錠、他付属金物一式	引手、表示錠、他付属金物一式	引手、表示錠、他付属金物一式	引手、表示錠、他付属金物一式
備　考	指詰め防止 ウッディラインCF4(リクシル)同等品	指詰め防止 ウッディラインCFP(リクシル)同等品	ウッディラインCF7(リクシル)同等品	ウッディラインCF7(リクシル)同等品

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

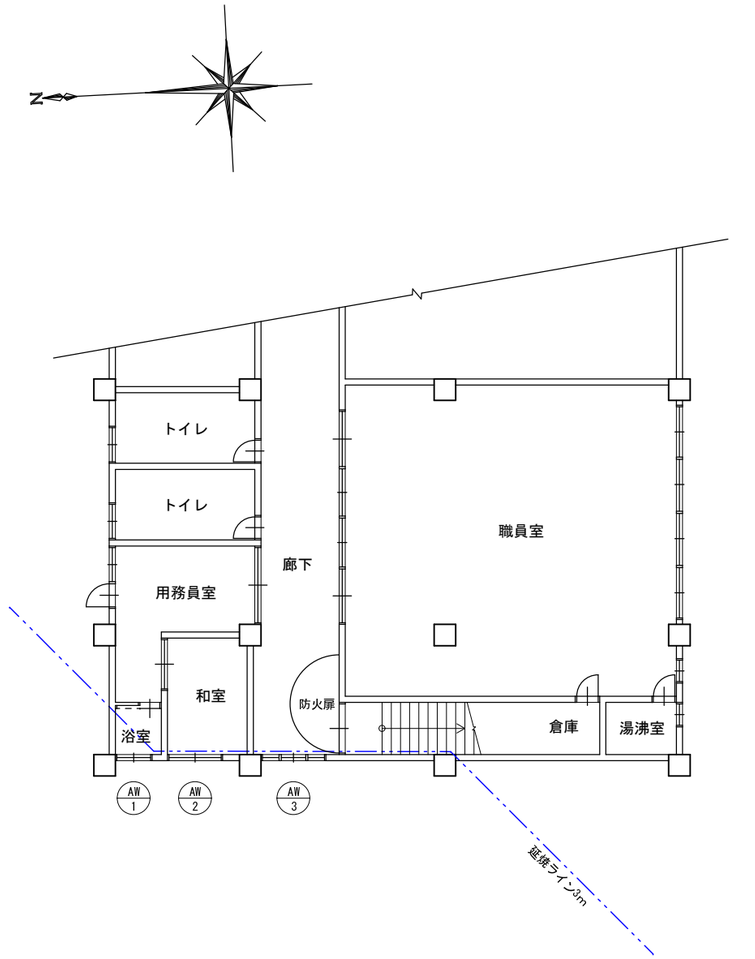
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	建具表 2
縮　尺	S=1:100

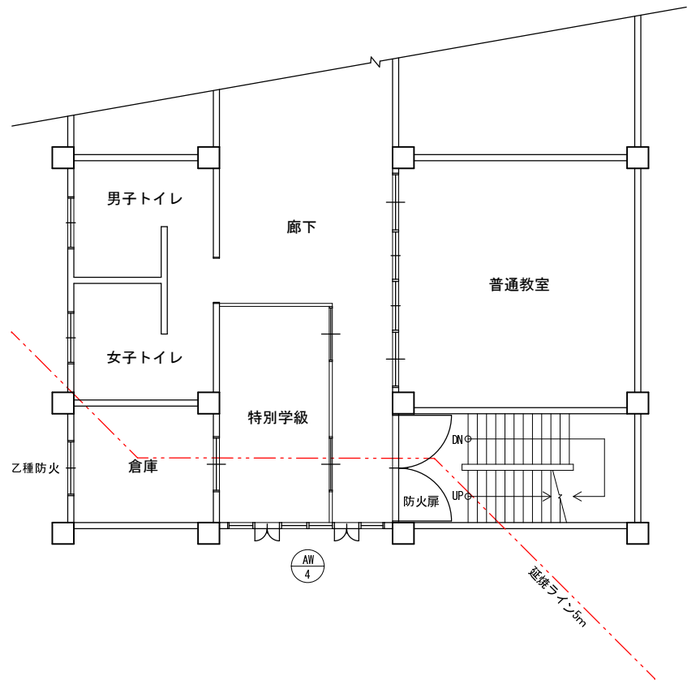
検印

1級建築士 第292013号
後藤 直樹

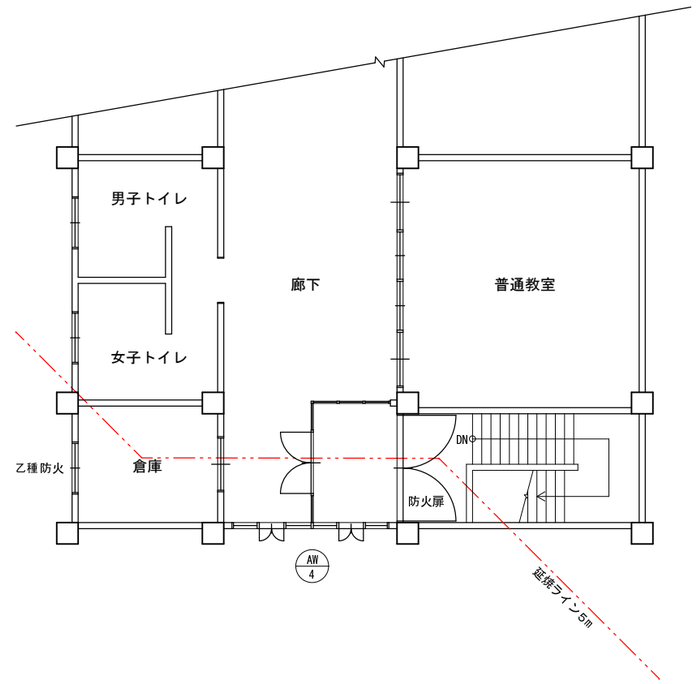
No. A-25



校舎１階



校舎２階



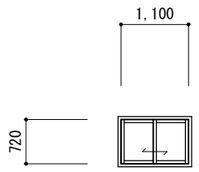
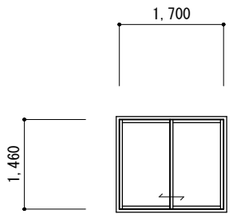
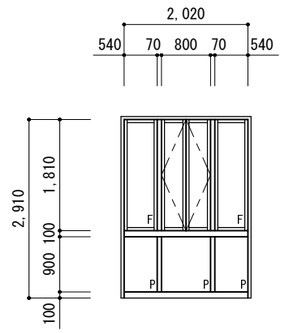
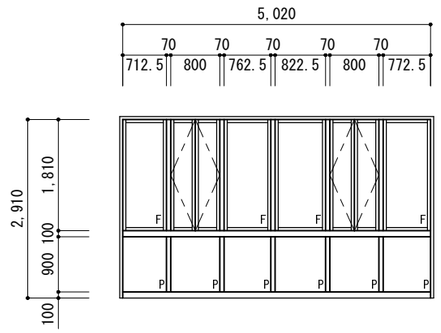
校舎３階

特記事項	

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所　兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	校舎KEYPLAN	検印						No,	
縮　尺	S=1:200	１級建築士　第292013号 後藤 直樹							A-26

符　号		AW 1 引違い窓(カバー工法)		AW 2 引違い窓(カバー工法)		AW 3 両開き窓(両袖FIX窓・腰パネル)(カバー工法)		AW 4 両開き窓(両袖FIX窓・腰パネル)(カバー工法)	
姿　図									
材　質	数　量	アルミ シルバー	1	アルミ シルバー	1	アルミ シルバー	1	アルミ シルバー	2
ガラス	見　込	型板網入ガラス t=6.8	70	型板網入ガラス t=6.8	70	フロート網入ガラス t=6.8	70	フロート網入ガラス t=6.8	70
金　物		クレセント AP 2重水切 他付属品一式		ラッチ AP 2重水切 他付属品一式		ラッチ AP 他付属品一式		ラッチ AP 2重水切 他付属品一式	
備　考		防火設備(外部延焼線内設置)		防火設備(外部延焼線内設置)		防火設備(外部延焼線内設置)		防火設備(外部延焼線内設置)	
符　号									
姿　図									
材　質	数　量								
ガラス	見　込								
金　物									
備　考									

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

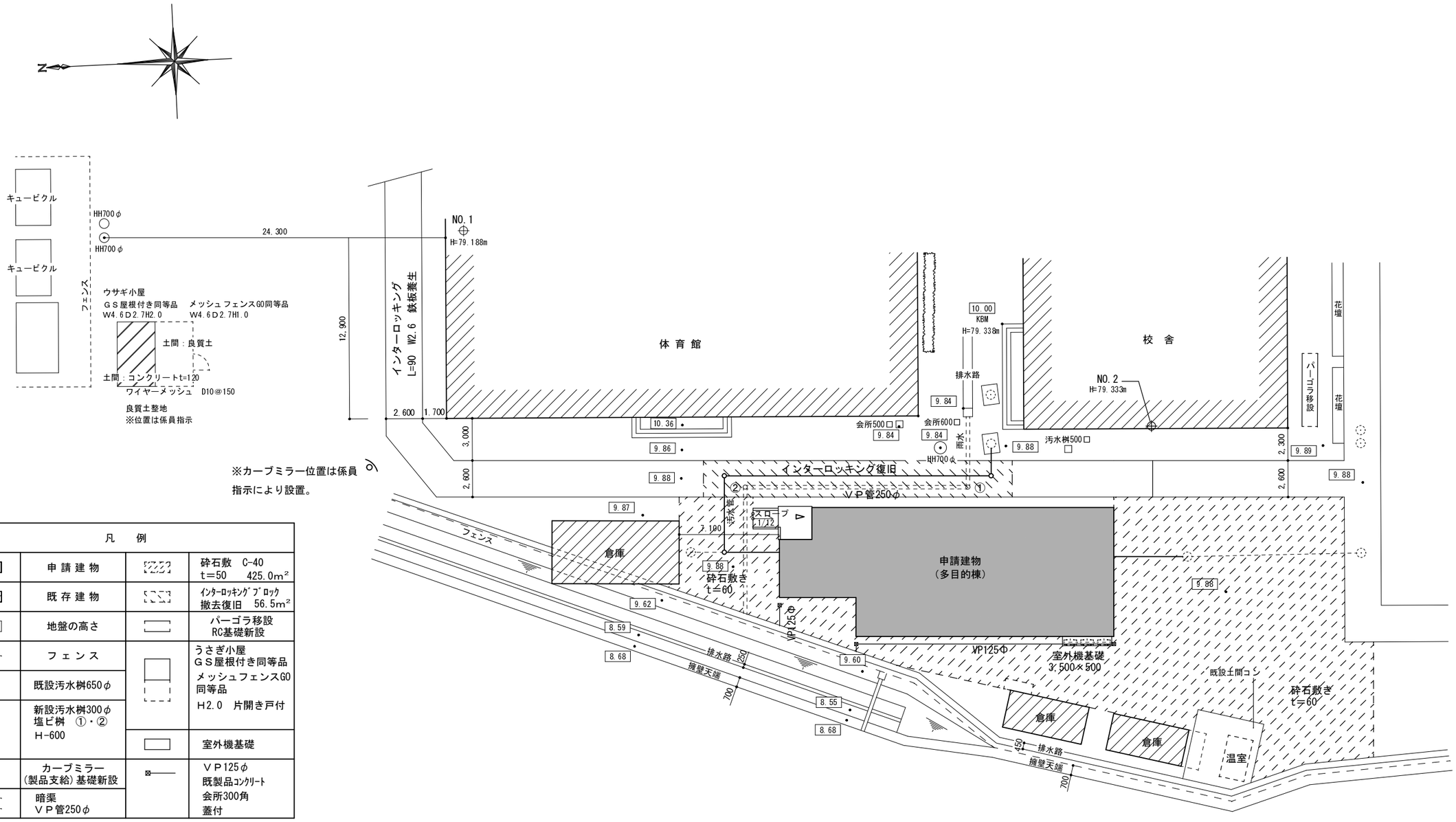
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	校舎建具表
縮　尺	S=1:100

検印

1級建築士 第292013号
後藤 直樹

No. A-27



凡　例			
	申請建物		砕石敷　C-40 t=50　425.0m²
	既存建物		ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ 撤去復旧　56.5m²
0.00	地盤の高さ		パーゴラ移設 RC基礎新設
	フェンス		うさぎ小屋 ＧＳ屋根付き同等品 メッシュフェンスG0 同等品 H2.0　片開き戸付
	既設汚水桝650φ		
	新設汚水桝300φ 塩ビ桝　①・② H-600		
			室外機基礎
	カーブミラー (製品支給)基礎新設		ＶＰ125φ 既製品ｺﾝｸﾘｰﾄ 会所300角 蓋付
	暗渠 ＶＰ管250φ		

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築　工事設計図

図面名	外構図	検印		No.	
縮尺	S=1:300	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			G-01

構　造　特　記　仕　様　書

§１　一般事項

選択項目は ◉ 印を適用し、◉ 印が無い場合は　＊　印を適用する。
○　印が複数有る場合は、共に適用する。

1－1　使用材料は原則としてＪＩＳ規格品、又は大臣認定品とする。

1－2　設計図書の優先順位は下記による。

1）本特記仕様書

2）設計図

3）標準図
- ● 鉄筋コンクリート構造配筋標準図　● 鉄骨工作標準図
- ● 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図　● 高強度せん断補強筋施工仕様書
- ● 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4）仕様書（● 公共建築協会　＊日本建築家協会 ）

5）日本建築学会標準仕様書 ，　ＪＡＳＳ５ ，　ＪＡＳＳ６

1－3　各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1－4　構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に（　＊含む　● 含まない ）

1－5　設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1－6　梁貫通位置、径、及び箇所数は（ ● 意匠図　● 構造図　＊設備図 ）による。

1－7　その他

§２　構造計算ルート

2－1

方　向	構造計算ルート
Ｘ	●ルート1-2　●ルート2　●ルート3　●
Ｙ	●ルート1-2　●ルート2　●ルート3　●

2－2　鉄筋の継手及び定着

構造計算ルート別による主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さ
- ＊　建築基準法施行令第７３条（政令第７３条）による仕様規定
- ●　日本建築学会　ＪＡＳＳ５（２００３），鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
- ●　日本建築学会　ＲＣ規準１９９９

ＸＹ両方向共ルート３及び限界耐力計算の場合は、政令第７３条の仕様規定によらずＪＡＳＳ５（２００３），鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びＲＣ規準１９９９とすることができる。

§３　仮設工事，土工事

3－1　山留め、根切り

3－2　埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土　＊　根切り土の中の良土　●　搬入良土
盛土　＊　根切り土の中の良土　●　搬入良土
残土処分　●　場内地均し　＊　場外搬出処分（＊　自由　●　指定場所 ）

§４　地業工事

4－1　基礎及びスラブ下地業　（単位mm）

場　所		捨てコンクリート厚さ ※（1）	A：砕石 B：割栗石	厚　さ
基　礎	独立，布	＊50　●60　●90	＊A　●B	＊60　●100　◉150　●
	ベ　タ	＊50　●60　●90	＊A　●B	＊60　●100　●150　●
地中梁		＊50　●60　●100	＊A　●B	＊60　●100　●150　●
構造スラブ		＊50　●60　●100	＊A　●B	＊60　●100　●150　●
土間スラブ	屋内	＊50　●60　●100	＊A　●B	＊60　●100　◉150　●
	屋外	●50　●60　●100	＊A　●B	●60　＊100　◉150　●

注（1）　アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は１００以上とする。
（2）　端部ａは１００以上とする。　a

4－2　設計地耐力　　長期　50　ｋＮ／m2　　短期　100　ｋＮ／m2
（試掘による）

地耐力載荷試験　●　行う　（　箇所，長期設計耐力の３倍を確認する）　＊　行わない

4－3　地盤改良
- ●　無筋コンクリート地業　●　締固め工法　●　ソイルセメント杭
- ●　セメント系固化材攪拌　●
- ［ ●　載荷試験　●　一軸圧縮試験 ］　●　行う　４週強度　＊　行わない
- ［ ●　六価クロム溶出試験　］　●　行う　＊　行わない

4－4　既製コンクリート杭

1）　杭種
- ●　ＰＨＣ杭　●　Ａ種　●　Ｂ種　●　Ｃ種　●
- ●　ＳＴ杭　●　Ａ種　●　Ｂ種　●　Ｃ種　●
- ●　ＳＣ杭　ｔmm　●　●　●　●
- ●　ＰＲＣ杭　●　Ⅰ種　●　Ⅱ種　●　Ⅲ種　●　Ⅳ種

2）　工法
- ●　打撃工法　●　油圧ハンマー　●　ディーゼルハンマー
- ●　埋込み工法　●　プレボーリングセメントミルク注入工法
  - ●　プレボーリング拡大根固め工法（認定工法）
    杭周固定液　＊　あり　●　なし
  - ●　中掘拡大根固め工法（認定工法）
  - ●　回転埋設根固め工法（認定工法）

3）　杭径，設計耐力，本数表

杭　径（拡底部）mm	長期ｋＮ	短期ｋＮ	終局ｋＮ	本数	備　考
（　）					
（　）					
（　）					
（　）					

4）　杭の構成は設計図による。

5）　杭頭補強
- ●　かご筋　●　スタッド溶接　●　杭外周溶接

4－5　場所打鉄筋コンクリート杭，場所打鋼管コンクリート杭

1）　工法
- ●　アースドリル工法　●　拡底アースドリル工法
- ●　リバース工法　●　オールケーシング工法（ ● ベノト工法　●　 ）
- ●　ＢＨ工法　●

2）　杭径，設計耐力，本数表（拡底部は施工径を示す）

杭　径（拡底部）mm	管厚 mm	長期　ｋＮ	短期　ｋＮ	終局　ｋＮ	本数	備　考
（　）						
（　）						
（　）						
（　）						
（　）						

3）　杭先端深さ　　ＧＬ－　　m

4）　孔壁測定（２方向）
＊　行う　（ ● 全数　●　　％ ）　●　行わない

5）　使用材料　コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合ＪＡＳＳ５水中コンクリートによる。

コンクリート　Ｆｃ　（ ● 普通ポルトランドセメント　● 高炉セメント Ｂ種 ）
鉄筋　●Ｄ　以下　ＳＤ２９５Ａ　●Ｄ　以上　ＳＤ３４５
●Ｄ　以上　ＳＤ３９０
鋼管（リブ付）　●　ＳＫＫ４００　●　ＳＫＫ４９０

4－6　鋼管杭，その他特殊杭

1）　杭種
材種

2）　工法
- ●　打撃工法　（ ● 油圧ハンマー　●　ディーゼルハンマー ）　●　埋込み工法

3）　杭径，設計耐力，本数表

杭　径（拡底部）mm	鋼管 mm	長期ｋＮ	短期ｋＮ	終局ｋＮ	本数	備　考
（　）						
（　）						
（　）						
（　）						

4－7　杭打地業共通事項

1）　［ ●　杭長決定用先行杭　●　試験杭 ］　●　行う　（　本）　●　行わない

2）　載荷試験　●　行う　（　箇所，長期設計耐力の３倍を確認する）　＊　行わない

3）　ＳＬ塗布　●　行う　＊　行わない

§５　鉄筋工事

5－1　材種

種　類	径		継　手
◉ＳＤ２９５Ａ	Ｄ１６　以下		＊重ね継手　●スパイラル　● 工場溶接
●ＳＤ３４５	Ｄ１９　以上		●重ね継手　＊溶接継手　● 機械継手（　級）
●ＳＤ３９０	Ｄ　以上		＊溶接継手　●機械継手（　級）
●ＳＤ４９０	Ｄ　以上		＊溶接継手　●機械継手（　級）
● 溶接金網			●重ね継手
● 高強度せん断補強筋	●１２７５級	Ｐ	●重ね継手　●スパイラル　● 工場溶接
	●７８５級	Ｋ	
	●６８５級	ＵＤ　ＵＲ	

溶接継手　＊　ガス圧接　●　突き合せ溶接（Ｄ１６以下は重ねアーク溶接でも可）

5－2　溶接部の検査（第三者機関による）
- ●　抜取り検査
  - ●　引張り試験　（ＪＩＳＺ３１２０）
    1検査ロットにつき　＊　３本　●
  - ●　超高音波探傷試験　（ＪＩＳＺ３０６２）　●　熱間押抜き試験
    1検査ロットにつき　●　３０箇所　●
  - ○　不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
    1検査ロットは１組の作業班が１日に施工した溶接箇所の数量で２００箇所以内

5－3　梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品（評定品）を使用する。

5－4　その他
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを２回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§６　コンクリート工事

6－1　設計基準強度　（N／mm²）

1）　セメント　＊　普通ポルトランドセメントＪＩＳＲ５２１０　●　高炉セメントＢ種
●　低熱ポルトランドセメントＪＩＳＲ５２１０　●

2）　粗骨材　●　砂利　＊　砕石　●　高炉スラグ骨材　●　人工軽量骨材　●　再生骨材
最大径（mm）＊　２０　●２５　●４０

3）　躯体　（使用区分は設計図の軸組図に示す）
- ●　普通コンクリート
  - ●Ｆｃ１８　◉Ｆｃ２１　●Ｆｃ２４　●Ｆｃ２７　●Ｆｃ３０　●Ｆｃ　●Ｆｃ
- ●　軽量コンクリート　（ ＊１種　●２種　気乾単位容積質量　＊１．５　●　 ）
  - ●ＬＦｃ１８　●ＬＦｃ２１　●ＬＦｃ２４　●ＬＦｃ２７　●ＬＦｃ３０　●ＬＦｃ

4）　土間コンクリート　◉Ｆｃ２１　（ただし柱，壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする）

5）　均しコンクリート　◉Ｆｃ１８

6）　防水押さえコンクリート　●Ｆｃ　●ＬＦｃ　（気乾単位容積質量　＊１．５　●　 ）

7）　かさ上げコンクリート　●Ｆｃ　●ＬＦｃ　（気乾単位容積質量　＊１．５　●　 ）

6－2　混和材　＊ＡＥ減水剤　●高性能ＡＥ減水剤　●躯体防水材　●膨張材

6－3

箇　所	基礎，地中梁	一　般			備　考
スランプ　cm	１５	１５			
水セメント比　％	６０以下	６０以下			６０以下
単位水量　kg／m³	１８５以下	１８５以下			１８５以下
単位セメント量 kg／m³	２７０以上	２７０以上			２７０以上

6－4　試験　（躯体コンクリートの２８日圧縮試験は公的機関において行う）

1）　骨材　［ ●塩分含有量　●　アルカリシリカ反応性 ］　＊　行う　●　行わない

2）　フレッシュコンクリート　［ ●　スランプ　●　空気量 ］　＊　行う　●　行わない

3）　躯体のせき板取りれし時期決定圧縮試験　＊　行う　●　行わない

4）　コンクリートコア抜き取り圧縮試験　●　行う　＊　行わない

5）　マスコンクリートのひび割れ照査（温度応力解析）　●　行う　＊　行わない

6－5　調合　（補正値は工事費に含む）
計画供用期間の級（　）は、耐久設計基準強度Fd
- ●　短期（１８）　◉標準（２４）　●　長期（３０）　●　超長期（３６）

調合管理強度　　Fm＝Max（Fc，Fd）＋S　　S＝３～６

材齢２８日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。
Ｆ ≧ Ｆｍ＋1.73σ　　Ｆ ≧ 0.85Ｆｍ＋３σ

6－6　せき板及び支柱の存置期間（普通ポルトランドセメントの場合）

		基礎，梁側、柱，壁	スラブ下	梁　下
コンクリートの材齢による場合	１５℃以上	３日	１７日	２８日
	５℃以上	５日	２５日	
	０℃以上	８日	２８日	
圧縮試験による場合		５Ｎ／mm²	0.85Ｆｃまたは１２Ｎ／mm²	設計強度

6－7　高強度コンクリート及びプレストレストコンクリート工事は別記特記仕様書による。

§７　鉄骨工事

7－1　材種及び使用箇所

規格名称	鋼材名	柱	角パイプ	丸パイプ	角ダイア	丸ダイア	大梁	ブレース	小梁、他
一般構造用圧延鋼材	● SS400　●						◉	◉	◉
溶接構造用圧延鋼材	● SM400A　● SM490A								
建築構造用圧延鋼材	● SN400A　●								
	● SN400B　● SN490B								
	● SN400C　● SN490C								
一般構造用角形鋼管	◉ STKR400　● STKR490	◉							
冷間成形角形鋼管	● BCR295　●								
	● BCP235　● BCP325								
熱間成形角形鋼管	● SHC400B　● SHC400C								
	● SHC490B　● SHC490C								
一般構造用炭素鋼管	● STK400　● STK490								
一般構造用軽量形鋼	● SSC400　●								◉

7－2　高力ボルト

高力ボルトの種類		使用箇所
トルシア形高力ボルト	＊ S10T	全般
ＪＩＳ形高力ボルト	● F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	● F8T	母材が亜鉛メッキされている部分

7－3　普通ボルト，アンカーボルト
1）　材質　◉ SS400　● SS490（Ｍ　以上）　● SNR400　● SNR490（Ｍ　以上）
2）　大臣認定柱脚（メーカー仕様による）　●　使用する　◉　使用しない

7－4　頭付きスタッド

径	長　さ　(mm)	使用箇所
１６φ	●　８０　●１００　●１２０　●１５０　●	
１９φ	●　８０　●１００　●１２０　●１５０　●	
２２φ	●１００　●１２０　●１５０　●　●	

7－5　溶接材料
1）　アーク溶接に使用する溶接棒，ワイヤ及びフラックスは母材の種類，寸法，及び溶接条件に相応したものを選定する。
2）　ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7－6　スカラップ形状　＊　スカラップ工法　●　ノンスカラップ工法

7－7　継手

	柱		梁	
フランジ	● 高力ボルト	● 現場溶接	＊ 高力ボルト	● 現場溶接
ウェブ	● 高力ボルト	● 現場溶接	＊ 高力ボルト	● 現場溶接

7－8　溶接手法及び管理
使用する溶接ワイヤー、入熱量及びパス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。

7－9　デッキプレート　（単位　mm）
1）　床用　高さ　●　板厚　●
2）　合成スラブ用　高さ　●　板厚　●
3）　型枠用　高さ　●　板厚　●　形版　タイプ
4）　防錆処理　●　プライマー　●　亜鉛メッキ　●Ｚ１２　●Ｚ２７

7－10　錆止め塗装（工場塗　＊　２回　●１回、現場タッチアップ程度とする）
1）　素地こしらえ　＊　ケレン　●　ブラスト
2）　錆止め塗料

適用 室外	適用 室内	塗　料	種　別		標準膜厚
●	＊	鉛、クロムフリー錆び止め　ＪＩＳＫ５６７４			３５μm
	●	一般用錆止めペイント　ＪＩＳＫ５６２１	●１種	●２種	
●	●	鉛丹錆止めペイント　ＪＩＳＫ５６２２	●１種	●２種	
◉	◉	シアナミド鉛錆止めペイント　ＪＩＳＫ５６２５	●１種	●２種	

3）　溶融亜鉛メッキ　●　行う　●　行わない

7－11　溶接部の検査（受入検査）　＊　行う　●　行わない
1）　受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者（元請）との直接契約による。
2）　第三者検査機関は（社）日本溶接協会によるＣＩＷ検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3）　受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4）　外観検査の合否判定は国土交通省告示１４６４号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「ＪＡＳＳ６　鉄骨工事　２００７　付則６．　鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5）　超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」２００８により、合否判定は７．２．１疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6）　溶接箇所数の数え方は「ＪＡＳＳ６　鉄骨工事　２００７」表５．１溶接箇所数の数え方による。
7）　受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
- a）工場溶接の場合
  - ⅰ．検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所３００箇所以内で構成する。
  - ⅱ．抜取り数は各ロット毎に３０箇所をランダムにサンプリングする。
  - ⅲ．サンプリングの結果、不合格率が５％以内の場合はロットを合格とし、不合格率が５％を超えた場合は更に同一ロットの中から３０箇所をサンプリングし、合計６０箇所の不合格率が５％以内の場合を合格とする。不合格率が５％を超えた場合は残り全数の検査を行う。
- b）現場溶接の場合
  - ⅰ．全数検査とする。

8）　検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9）　ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人　建築研究所監修「突き合せ柱手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

7－12　鉄骨製作工場

国土交通省大臣認定（グレード）					
Ｓ	Ｈ	Ｍ	◉Ｒ	Ｊ	

§８　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板・ＰＣａ板工事

8－1　コンクリートブロック
1）　種類　●Ａ種　●Ｂ種　●Ｃ種
2）　厚さ　mm　●１００　●１２０　●１５０　●１９０

8－2　ＡＬＣパネル
1）　使用箇所　●床　●屋根　●外壁　●内壁
2）　厚さ　mm　●７５（８０）　●１００　●１２０　●１５０　●１７５
3）　外壁取り付け構法

方　向	構　法	使用箇所	備　考
縦	● スライド構法		
	● ロッキング構法		
横	● カバープレート構法		
	● ボルト止め構法		

8－3　押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ mm　●　●

方　向	構　法	使用箇所	備　考
縦	● ロッキング構法		
横	● スライド構法		

8－4　ＰＣａ板
1）　床及び屋根　●　床　●　屋根
- ●　ＰＣａ板単独　厚さ mm　●　●
- ●　合成板

ＰＣａ板厚さ mm	現場打厚さ　mm	合計厚さ　mm	備　考

2）　外壁　厚さ mm　●　●

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所　兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	構造特記仕様書
縮　尺	

検印

１級建築士　第292013号
後藤 直樹

No.　S-01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）２０１２年度版

§１　一般事項

１－１ 基本事項

１．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
２．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書１－２－４に指定した共通仕様書及び日本建築学会「ＪＡＳＳ５（２００９）」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
３．本標準図は異形鉄筋を対象とし、ｄは呼び名に用いた数値とする。

１－２ その他

４．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

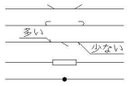
§２　共通事項

２－１ 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	×	∅	●	○	⊙	⊠	◎	⊕	◆	⊗
呼び径ｄ	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径Ｄ	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

◦ フックのない場合
◦ フックのある場合
◦ 本数に差がある場合
◦ 機械式継手表示
◦ 溶接継手表示
　（ガス圧接，突き合せ溶接）



２－２ 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

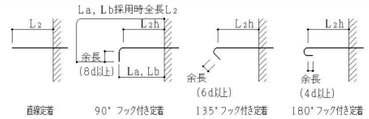
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径（D）
180°	余長 4d以上	柱・梁主筋 基礎主筋 壁筋 あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋 壁筋	SD295	D16以下	3d以上
			SD345	D19～D41	4d以上
135°	余長 6d以上		SD390	D41以下	5d以上
90°	余長 8d以上		SD490	D25以下	5d以上
				D29～D41	6d以上

２－３ 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5（2009）」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)	重ね継手の長さ 上段 直線 L1 / 下段 フック付き Lah	定着の長さ 一般 上段 直線 L2 / 下段 フック付き L2h, La	定着の長さ 小梁・床スラブ 上端筋 フック付き Lb	定着の長さ 小梁・床スラブ 下端筋 L3, L3h
SD295 (SD345) ()はSD345を示す	18	45d(50d) 35d	40d 30d ,20d	15d (20d)	L3=20d L3h=10d 床スラブの場合 L3=10d かつ 150 以上 SD490は適用外
	21	40d(45d) 30d	35d 25d ,15(20)d		
	24～27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d),15(20)d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d ,15d		
	39～45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d),15d		
	48～60	30d 20d	25d 15d ,15d		
SD390 (SD490) (-)は適用外	21	50d(－) 35d(－)	40d(－) 30d(－),20d(－)	20d (－)	
	24～27	45d(55d) 35d(45d)	40d(45d) 30d(35d),20(25)d		
	30～36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d),20(25)d	15d (－)	
	39～45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d),15(20)d		
	48～60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d),15(20)d		

一般定着の直線 L2 またはフック付きの L2h, La, Lb の図

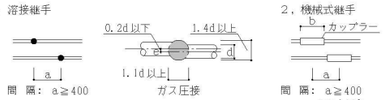


１．重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのＬ2hは仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
２．軽量コンクリートを使用する場合は、２－３の数値に５ｄを加算する。

２－４ 継手一般

３．構造特記仕様書２－２で政令第７３条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは上表L1 L2 かつ４０ｄ（軽量コンクリートを使用する場合は５０ｄ）とする。
４．構造特記仕様書２－２でＪＡＳＳ５（２００９）、RC規準２０１０とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計者の指示による。
　参考値として左下表ＪＡＳＳ５（２００９）にL1 L2 を示す。

１．溶接継手　　２．機械式継手

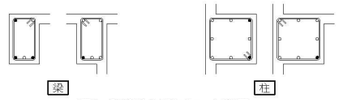


３．重ね継手　（下記のいずれかとする。壁、スラブ筋でＤ１６以下の場合を除く）

４．D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。
　（溶接、機械式継手等による）
５．溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は２サイズ、突き合せ溶接の場合は１サイズまでとする。
６．突合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

２－５ 鉄筋のフック

◦ 下記の１．～７．に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
１．あばら筋及び帯筋　　２．煙突の鉄筋
３．柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部分の鉄筋（下図参照）



上図の • 印の鉄筋の末端にはフックが必要。

４．片持ちスラブの上端筋の先端
５．最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
６．杭基礎の基礎筋（偏心基礎及び杭２本打以上の場合）
７．鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

２－６ 鉄筋のあき

◦ 鉄筋のあきａは原則として下記による。
　呼び名の数値ｄの 1.5 倍以上
　粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
　　} かつ25以上

※Dは最外径を示す

◦ 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
◦ 二段筋のあきは1.5ｄとする。

２－７ かぶり厚さ

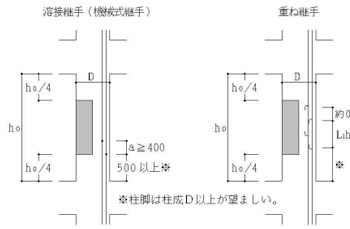
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30(20)	30(20)
		屋外	30(20)	40(30)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40(30)	40(30)
		屋外	40(30)	50(40)
	擁壁		※1 ※3 50 (40)	※1 ※3 50 (40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り		※2 ※3 50 (40)	
	基礎・擁壁		※2 ※3 70 (60)	

１．( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
２．仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
３．※１　品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で１０減の値とすることができる。
４．※２　軽量コンクリートの場合は、これに１０加算する。
５．柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

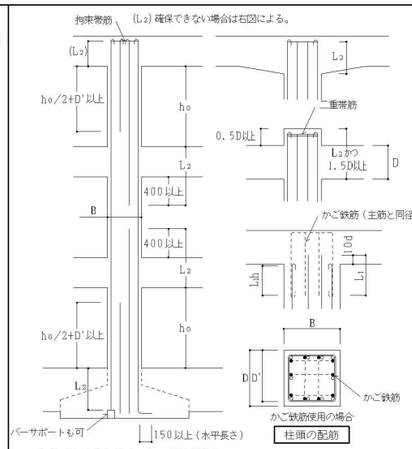
§３　柱

３－１ 主筋の継手

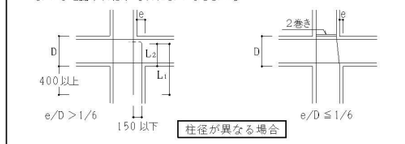


◦ ▭ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。

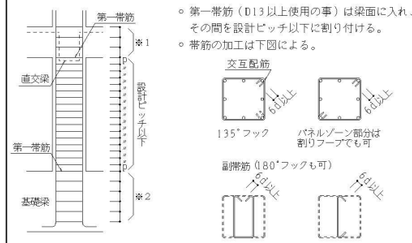
３－２ 主筋の定着



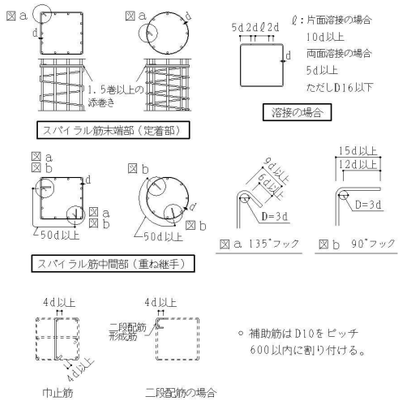
※ 余長 D' は柱有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。



３－３ 帯筋 副帯筋



◦ 第一帯筋（D13以上使用の事）は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
◦ 帯筋の加工は下図による。
◦ パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし、帯筋量（pw）は0.2%以上とする。
　※1．設計ピッチの1.5倍以下とする。⊟ 形以上の場合は同径同材質で □ 形@100以下とする。
　※2．基礎梁部分は、同径で □ 形@150以下とする。
◦ スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
　1．末端は1.5巻以上の添巻きをし、図aのフックをつける。
　2．重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックをつける。

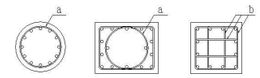


◦ 補助筋は D10をピッチ 600以内に割り付ける。

３－４ 補助筋

３－５ 柱のコンファインド補強

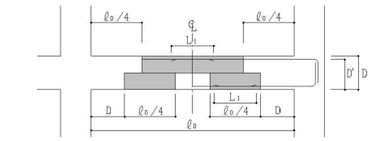
補強する柱は設計図による。（柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。）



a スパイラル帯筋 φ60～75（有効間隔50程度）
b 溶接閉鎖型帯筋 φ60～75（有効間隔50程度）

§４　梁

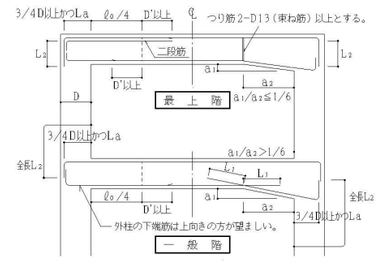
４－１ 主筋の継手



◦ ▭ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は、柱面より500以上はなすこと。
◦ 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

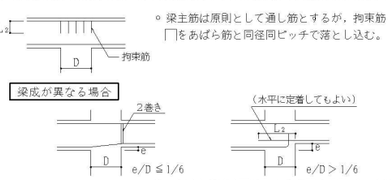
４－２ 主筋の定着及び余長

外柱



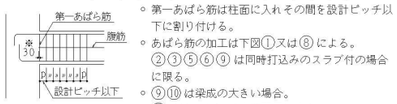
※ 余長D'は梁有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

中柱



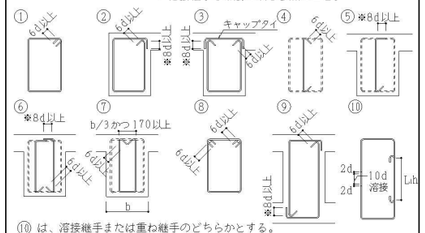
◦ 梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋 ⊓ をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

４－３ あばら筋 副あばら筋



◦ 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
◦ あばら筋の加工は下図①又は⑧による。
　②③⑤⑥⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
◦ ⑨⑩は梁成の大きい場合。
◦ ⑧はピッチ2pで交互配置とする。
◦ 135°フックは180°フックでも可とする。
◦ 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL2とする。



⑩は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※ 柱面より梁成の範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

特記事項

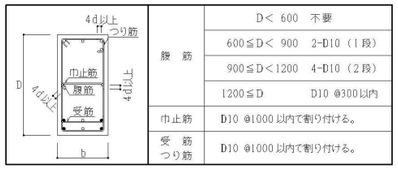
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図１	検印		No,
縮尺		１級建築士 第292013号 後藤 直樹		S-02

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）２０１２年度版

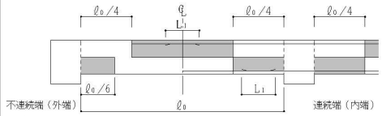
4－4 補助筋



腹筋	D＜ 600	不要
	600≦D＜ 900	2-D10（1段）
	900≦D＜1200	4-D10（2段）
	1200≦D	D10 @300以内
巾止筋	D10 @1000以内で割り付ける。	
受筋 つり筋	D10 @1000以内で割り付ける。	

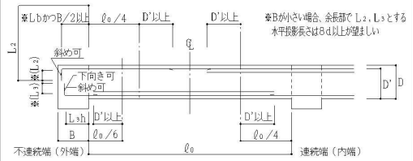
4－5 小梁及び片持梁

a)小梁継手



◦ ▭ 印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上はなすこと。

定着



◦ 下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。

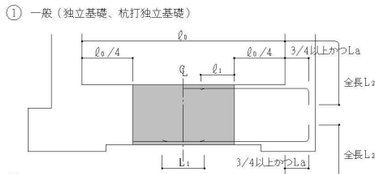
b)片持梁 定着 継手

4－6 基礎梁及び基礎小梁

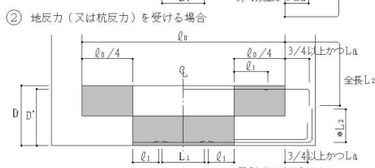
※ 地反力を受ける梁は構造特記仕様書５－４項および設計図に示す。
余長はℓ_1（ℓ_1 ≧min（D',L_2））とする。
余長ℓ_1は構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

a)基礎梁の継手及び定着

① 一般（独立基礎、杭打独立基礎）



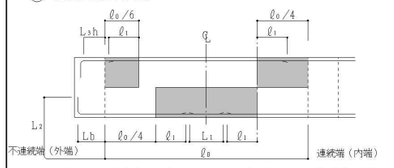
② 地反力（又は杭反力）を受ける場合



※ 設計者の判断による。

b)基礎小梁の継手及び定着

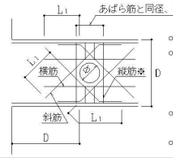
① 地反力を受けない場合は(4-5)による。
② 地反力を受ける場合



◦ ▭ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面（基礎小梁の場合は梁面）より500以上はなすこと。Lbとれない場合４－５ａ定着によってよい。

4－7 梁の貫通補強

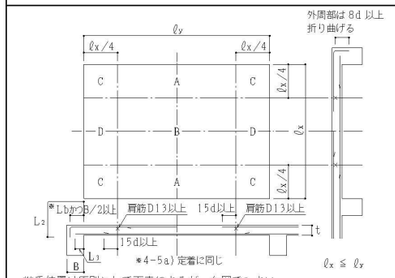
1．補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。
2．認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。



◦ 梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。
◦ 孔が複数の場合は中心間隔を径(φ)の 3倍以上とする。
また位置は原則として柱面から梁成 D以上はなし、梁成の中央 D/2の範囲内とする。
◦ φが100かつD/10 以下のとき、補強を必要としないが、あばら筋を切断してはならない。
◦ ※縦筋はあばら筋加工とする。

§5 スラブ

5－1 鉄筋の折り曲げ及び定着

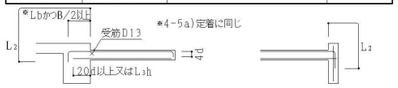


5－2 継手

継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。

		標準継手位置	
上端筋	短辺方向	B	D
	長辺方向	A	B
下端筋	短辺・長辺方向	A	C　D

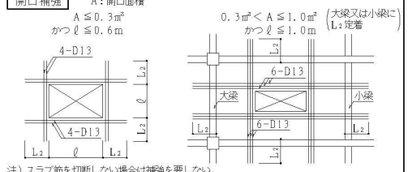
5－3 片持ちスラブ



片持ちスラブ隅角部補強は設計図による。　先端に荷重がある場合

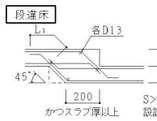
5－4 補強筋

開口補強　A：開口面積



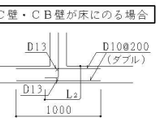
注）スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。

段違床

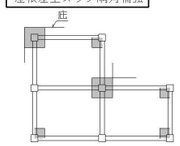


S>tの場合は設計図による。

RC壁・CB壁が床にのる場合

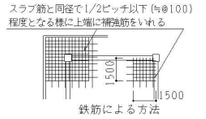


セットバックを含む屋根屋上スラブ隅角補強

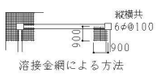


補強範囲

スラブ筋と同径で1/2ピッチ以下（≒@100）程度となる様に上端に補強筋をいれる



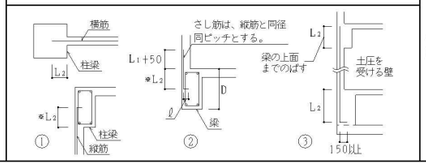
鉄筋による方法



溶接金網による方法

§6 壁

6－1 定着及び継手

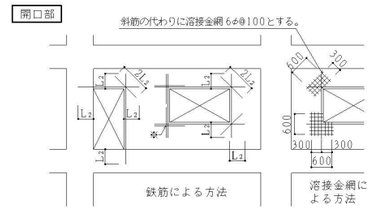


6－2 壁配筋

◦ 定着長さはL_2、及び継手長さはL_1とする。
※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ=150 程度 45°～90°折り曲げ、定着長さはL_2かつD/2以上とする。（通し配筋の場合は不要）
◦ 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
◦ 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
壁の配筋は設計図書による。
◦ ダブル配筋では巾止筋を縦横共D10@1000以内を標準とする。

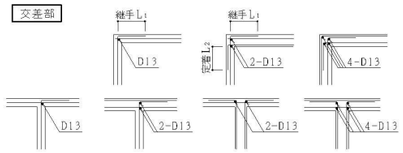
6－3 補強筋

開口部



◦ ※ 斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計者の指示による。
◦ 斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

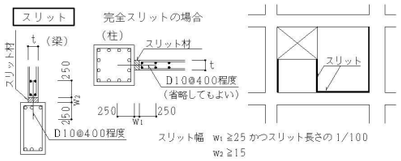
交差部



端部

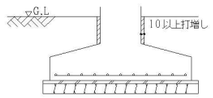
◦ 開口補強筋はリストによる

スリット



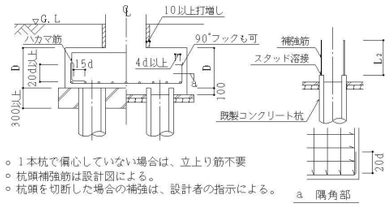
§7 基礎

7－1 独立基礎



ただしかぶり厚さ 50（軽量コンクリートの場合 60）の場合は不要

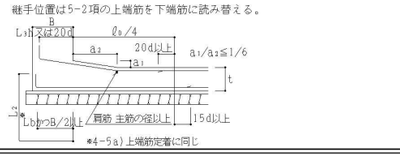
7－2 杭基礎



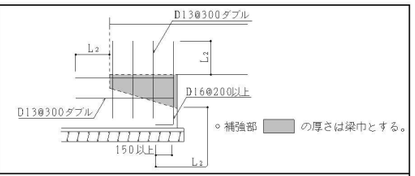
◦ 1本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
◦ 杭頭補強筋は設計図による。
◦ 杭頭を切断した場合の補強は、設計者の指示による。

7－3 べた基礎継手及び定着

継手位置は5-2項の上端筋を下端筋に読み替える。



7－4 基礎と基礎梁

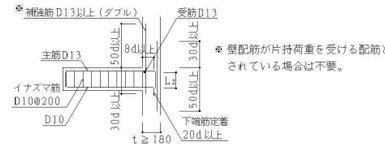


◦ 補強部 ▭ の厚さは梁巾とする。

§8 その他

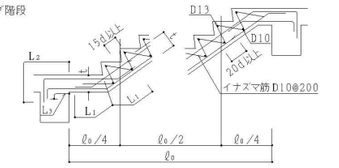
8－1 階段

片持階段

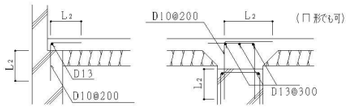


※ 壁配筋が片持荷重を受ける配筋とされている場合は不要。

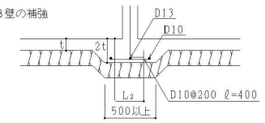
スラブ階段



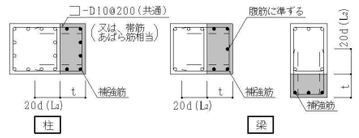
8－2 土間コンクリート



RC壁・CB壁の補強

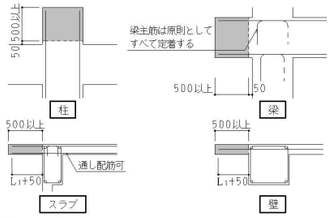


8－3 打増し補強



8－4 増築予定

◦ ▭ は打増し部分を示す。- - -と配筋してもよい。
◦ 補強筋　定着は20d(La)（ ）は、主要な耐力壁等が取付く場合で設計者の判断による。
t≦ 50 補強なし　　50＜t≦100 D13@300
100＜t≦200 D16@300　　200＜t≦300 D16@200
t＞300 設計図による



◦ ▭ は、はつり部分を示す。
◦ 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手する。
（増築側の鉄筋は水平定着でもよい。）

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図２	検印		No.	
縮尺		1級建築士 第292013号 後藤 直樹			S-03

鉄 骨 工 作 標 準 図 （1） 2012年度版

§1 一般事項

1－1 基本事項

1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書１－２－４，５に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
3) 製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。
4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

1－2 その他

§2 共通事項

2－1 略号

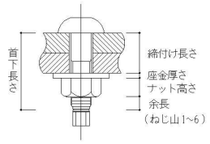
- ＡＢ ―― アンカーボルト
- ＢＰ ―― ベースプレート
- ＤＦＰ ―― ダイアフラム
- ＦＰ ―― フランジプレート
- ＨＴＢ ―― 高力ボルト
- ＳＰ ―― スプライスプレート
- ＷＰ ―― ウェブプレート
- ＢＨ ―― 組立てＨ形鋼
- ＣＨＰ ―― チェッカープレート
- ＦＢ ―― フラットバー
- ＧＰ ―― ガセットプレート
- ＲＰ ―― リブプレート
- ＴＢ ―― ターンバックル
- $W_{1\text{-}9}$ ―― 溶接記号（§4 参照）

§3 ボルト接合

3－1 高力ボルト

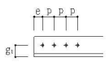
ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	P8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



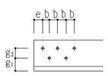
1. 特記以外はすべてS10T（トルシア形高力ボルト、上図）又はF10Tとする。
2. 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4. 亜鉛メッキボルトの場合は、すべてＦＢＴとする。

3－2 高力ボルトのピッチ



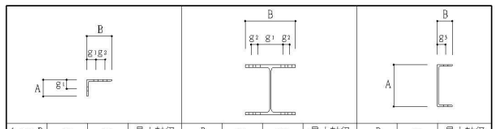
呼び径			M 16	M 20	M 22	M 24
孔径			18	22	24	26
ピッチ	標準	P	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40	40(50)	40(55)	45(60)
最小縁端距離	せん断縁、手動ガス切断縁		28	34	38	44
	圧延縁、自動ガス切断縁等		22	26	28	32

（）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。



ゲージ g_3	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3－3 形鋼のゲージ

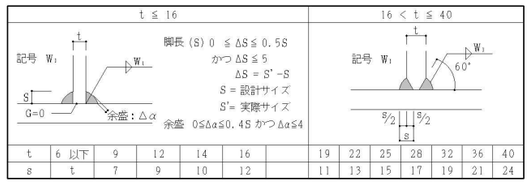


A or B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊Ｂ＝300は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄のｇ及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

§4 溶接接合

4－1 隅肉溶接



t	6 以下	9	12	14	16		19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12		11	13	15	17	19	21	24

断続隅肉溶接の長さL

L≧10Sかつ40以上

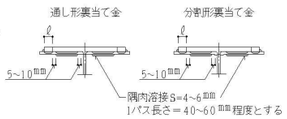
4－2 完全溶込み溶接（突合せ溶接）

1) 板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）

クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

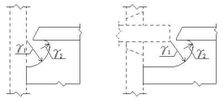
2) エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ ℓ は35以上かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。
エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5~10mmはなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。



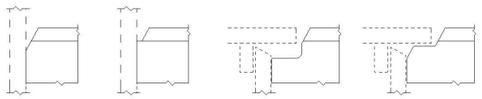
3) 開先加工 （下図は参考とする。）

a）スカラップ工法



- スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ_1は35程度、γ_2は10程度とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
- 完全溶込み溶接部以外のスカラップはγ=25程度とする。

b）ノンスカラップ工法



機械加工タイプ　　機械加工＋ガス切りタイプ

4）開先形状

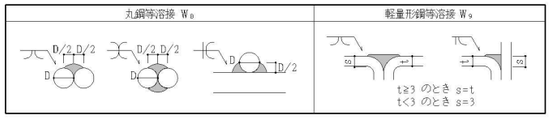
記号	形状	適用板厚		寸法 アーク手溶接	寸法 ガスシールドアーク/セルフシールドアーク溶接
W_2 MC-BL-B1 GC-BL-B1	裏当て	6≦T	G	7^{+2}_{-2}	6^{+2}_{-2}
			R	2^{+1}_{-2}	2^{+1}_{-2}
			α_1	45°−5°	45°−5°
			G	9^{+2}_{-2}	7^{+2}_{-2}
			R	2^{+1}_{-2}	2^{+1}_{-2}
			α_1	35°−5°	35°−5°
W_3 MC-BL-2 GC-BL-2	裏はつり	6≦T≦19	G	0^{+4}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			R	2^{+2}_{-2}	2^{+2}_{-2}
			α_1	45°−5°	45°−5°
W_4 MC-BK-2 GC-BK-2	裏はつり	16＜T	G	0^{+4}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			d_1	$\frac{2}{3}$(T−R)	$\frac{2}{3}$(T−R)
			R	2^{+2}_{-2}	2^{+2}_{-2}
			d_2	$\frac{1}{3}$(T−R)	$\frac{1}{3}$(T−R)
			α_1	45°−5°	45°−5°
			α_2	60°−5°	60°−5°
W_5 MC-BI-B1 GC-BI-B1	裏当て FB-4.5X19	3~6	G	T−2	T−2
		6~9	G		6−2

MC… はアーク手溶接　GC … はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

4－3 部分溶込み溶接

片面溶接 W_6										両面溶接 W_7
12 ≦ t ≦ 40										16 ≦ t ≦ 40
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t−2)/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	
t/4 ≦ S ≦ 10										

4－4 フレア溶接

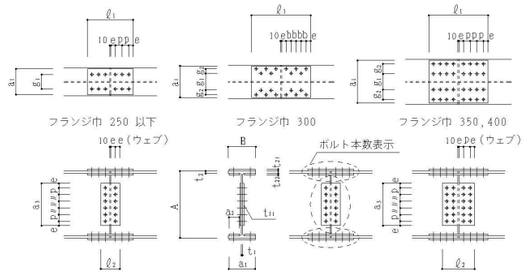


4－5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

§5 継手

5－1 継手リスト

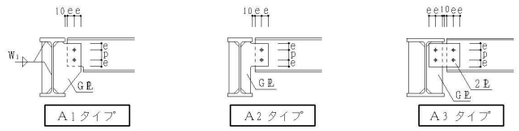


材種	主材	高力ボルト径	フランジ ボルト	フランジ 外側添板	フランジ 内側添板	ウェブ ボルト	ウェブ 添板	ピッチ
	H− A x B x t_1 x t_2 / BH− A x B x t_1 x t_2		縦本数	2PL− t_{21} x a_1 x ℓ_1	4PL− t_{22} x a_2 x ℓ_1	縦本数	2PL− t_{11} x a_3 x ℓ_2	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	
	H− x x x			x x	x x		x x	

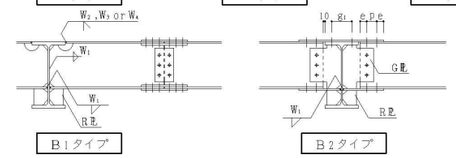
1. フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2. a_3は原則として梁成の 2/3 以上確保すること。

5－2 小梁仕口

ピン接合 Aタイプ



剛接合 Bタイプ



1. GPL，RPLは材種、厚板とも小梁のWPLと同等以上とする。
2. 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	鉄骨工作標準図１	検印		No.
縮尺		１級建築士 第292013号 後藤 直樹		S-04

鉄骨工作標準図（2）　2012年度版

§6　柱梁接合部及び継手

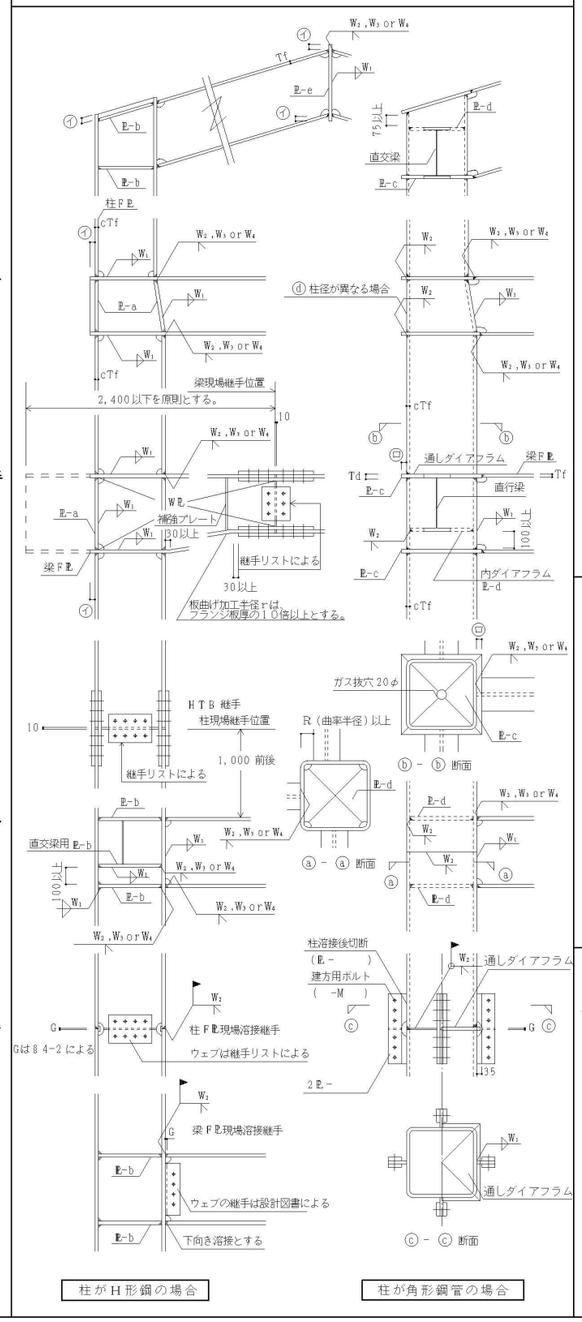
6－1 勾配屋根

6－2 梁通し

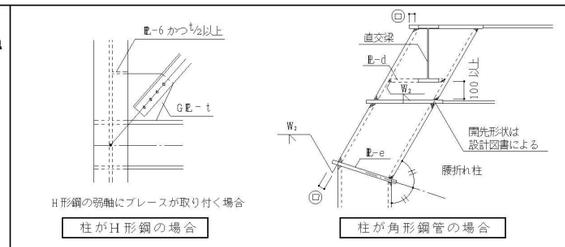
6－3 仕口と継手

6－4 柱通し

6－5 現場溶接継手



6－6 その他



1）パネルゾーンのPLの厚さ

1,	PL－a（鉛直スチフナ）	上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上
2,	PL－b（水平スチフナ）	仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
3,	PL－c（通しダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上
4,	PL－d（内ダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上
5,	PL－e（折れ曲がり部）	梁（柱）のFPLより1サイズUP以上

2）出寸法

ⓐ 25mm かつ cTf 以上

ⓑ cTf≦25 の場合　25

　cTf≧28 の場合　30

3）注記

1, ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。

2, ⓓ（6-2項）上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。

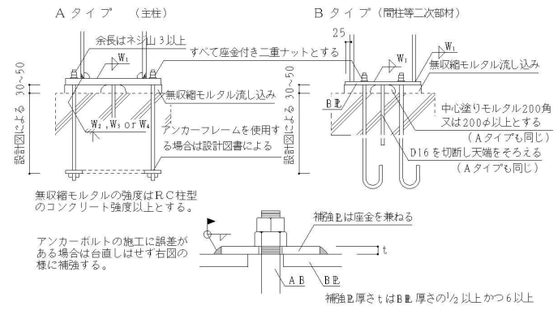
3, ハンチ部でFPLを折曲げる場合は R≧10Tf とし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合（1/6程度）は不要。

4, ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。（告示 1464）

5, 現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

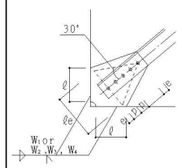
7－1 一般柱脚

§7　柱脚



8－1 ブレースリスト

§8　壁面ブレース



符号	部材	高力ボルト 径	高力ボルト 本数	GPL t	GPL ℓe	溶接 脚長	溶接 Σℓ

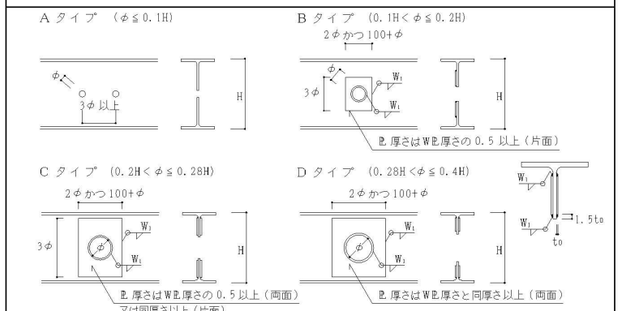
1, GPL の最小幅 ℓe が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。

2, 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共JIS規格品を使用する。

3, 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

9－1 貫通補強

§9　その他

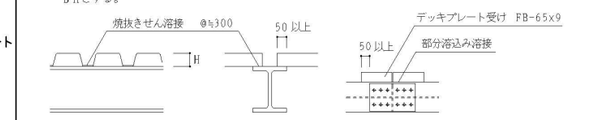


1, 特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は0.5H以下とし、そのピッチは3.0φ以上とする。（これを満足できない場合は設計者の指示による。）

2, 貫通孔を設ける範囲は右図の▭部分を原則とする。

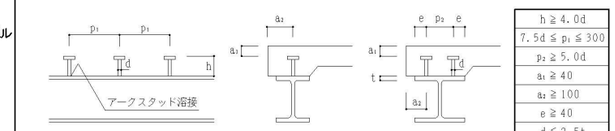
3, 貫通孔が多くある場合は WPL を厚くした（WPL＋補強PL）BHとする。

9－2 デッキプレート



○ 合成スラブの場合はメーカー仕様による。

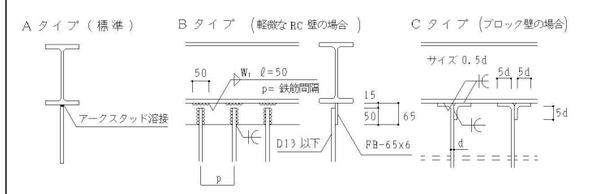
9－3 スタッドジベル



h≧4.0d
7.5d≦p₁≦300
p₂≧5.0d
a₁≧40
a₂≧100
e≧40
d≦2.5t

h, p₁, p₂ 設計図書による。

9－4 壁筋の溶接



特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	鉄骨工作標準図2
縮尺	
検印	
1級建築士 第292013号 後藤 直樹	
No,	S-05

■設計用地耐力

場　所	基礎形式	基礎深さ(m)	設計地耐力（kN/m²） 長　期	短　期	備　考
本体基礎	RC布基礎	GL-0.50	50	100	

■鉄筋工事

材　料

採用	種　別	表　示	使　用　箇　所	備　考
●	SD295A	D10.D13.D16	基礎	D16以下
○				

継手

採用	種　別	使　用　箇　所	備　考
●	重ね継手	基礎	D19以下 （特記なき限り）
○	ガス圧接		D22以上 （特記なき限り）
○			

・圧接工：公益社団法人　日本鉄筋継手協会の資格証明書を提出の事
・圧接部抜取り試験：同作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を越える時は200箇所ごと）を、１検査ロットとする。
　圧接部引張試験＝３本以上/検査ロット
　超音波探傷試験＝３０箇所以上/検査ロット

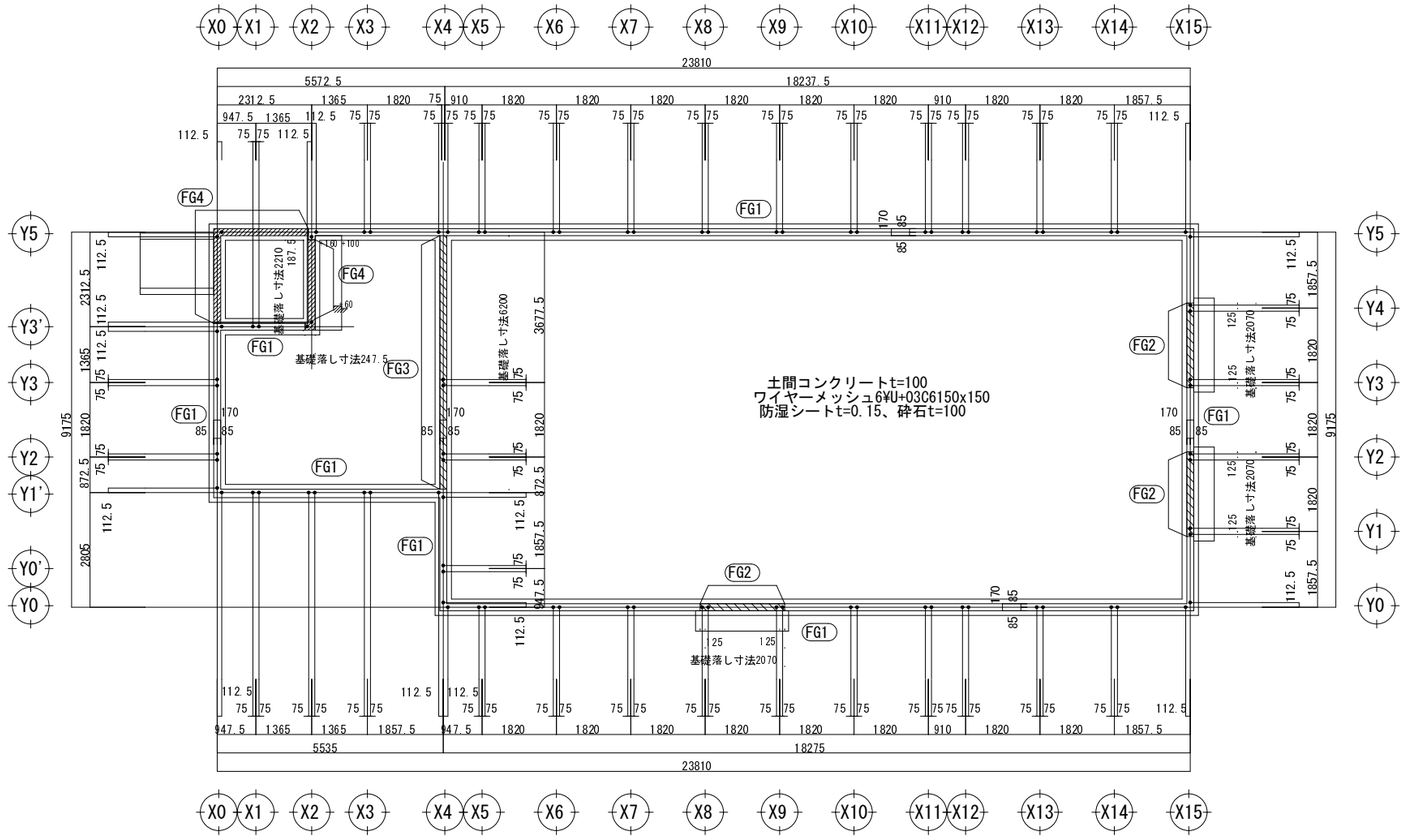
■コンクリート工事

使　用　箇　所	コンクリートの種　類	設計基準強度 Fc (N/mm²)	品質基準強度 Fq (N/mm²)	調合管理強度 Fm (N/mm²)	気乾単位体積重量 (kN/m³)	所　要 スランプ (cm)	所　要 空気量 (%)
a 基礎	普通	21	21	Fq+S	23	15	4.5
b 土間コンクリート	普通	18	―	―	23	15	4.5
c							

S：構造体強度補正値　（コンクリートの打込から材齢28日までの予想平均気温に応じて定める値）
予想平均気温¥U+03B8　0≦¥U+03B8＜8の範囲＊：S=6　8≦¥U+03B8＜25の範囲：S=3　25≦¥U+03B8の範囲：S=6

種類 / 部位	せき板				支柱		
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材齢（日） 15℃以上	2	3	原則として、支柱を外したのちに取り外す。		8	17	28
5℃以上	3	5			12	25	28
0℃以上	5	8			15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N／mm²				設計基準強度の		
					８５％　又は12N／mm²		100%

・計画供用期間の級：● 短期（18）　○ 標準（24）　○ 長期（30）
　（　）内数値は、耐久設計基準強度（N/mm²）を示す。
・セメントの種類（ ● 普通ポルトランドセメント　）
・粗骨材の種類・寸法　（ 砕石　20 ）
・混和材料の特記　（ ● AE減水剤、　○ 高性能AE減水剤、　）
・寒中コンクリートの適用期間　（　）
・せき板の材料　（ ● 合板、　● メッシュ型枠　○ 鋼製型枠）
・練り混ぜ水　（ ● 上水道水　○ 上水道水以外の水　● 回収水 ）
・単位水量　（ ● 185kg/m³ 以下、 ○ 175kg/m³ ）以下を標準とする。
・単位セメント量　270kg/m³ 以上を標準とする。
・水セメント比は、ポルトランドセメントの場合、65パーセント以下を標準とする。
・塩化物イオン量：　0.3kg/m³ 以下
・試験　（ 圧縮強度試験 ）
・供試体の採取（構造体のコンクリート強度の推定試験）
　供試体の採取場所は、工事現場の荷降ろし場所とする。供試体は、コンクリートの種類が異なるごとに、1日1回以上かつコンクリートの150m³ 毎又は、その端数につき1回以上とする。
・供試体の養生方法は、（ ● 標準水中養生　○ 現場水中養生　○現場封かん養生　○ コア）とする。
　現場水中養生とした場合の圧縮強度（28日）は、材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合調合管理強度以上とする。材齢28日までの平均気温が20℃未満の場合は、Ｆｃ+3N/㎡とする。
・コンクリート躯体の養生方法　（ ● 散水養生、○　）
・せき板の存置期間
　コンクリートの材齢により、又はコンクリートの圧縮強度により定められた最小存置期間ののちに取り外しを行う。
　なお、圧縮強度により定める場合は、コンクリートの試験結果及び安全確認するための資料により、監督職員の承諾を受ける。



凡例

●	A.BOLT
▨	基礎落し（不陸調整天端=S.GL+50）
▧	基礎落し（不陸調整天端=S.GL+80）

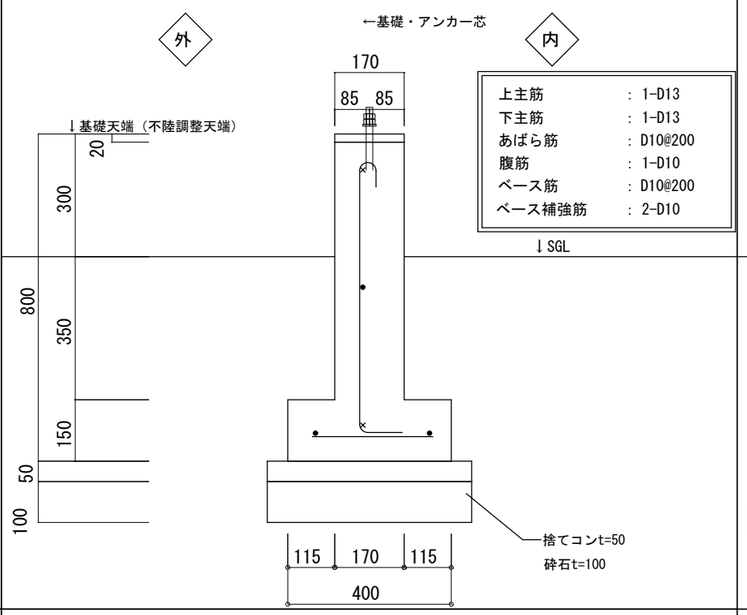
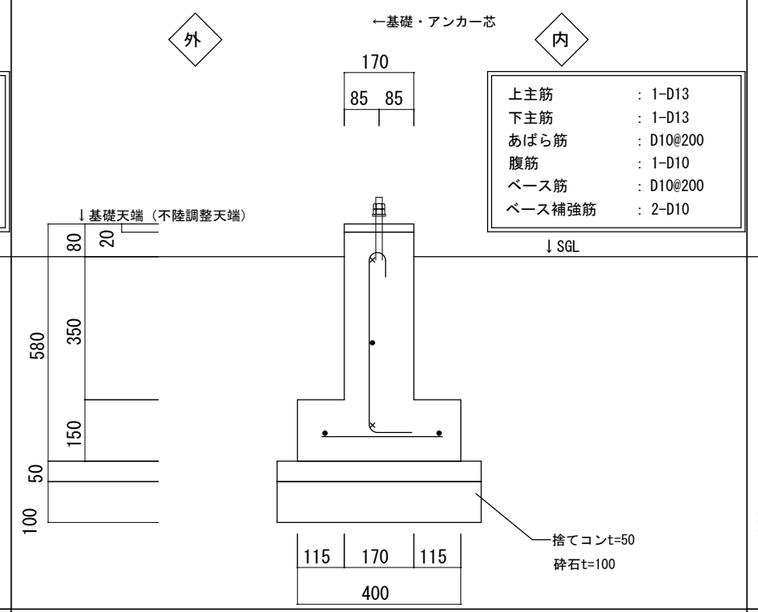
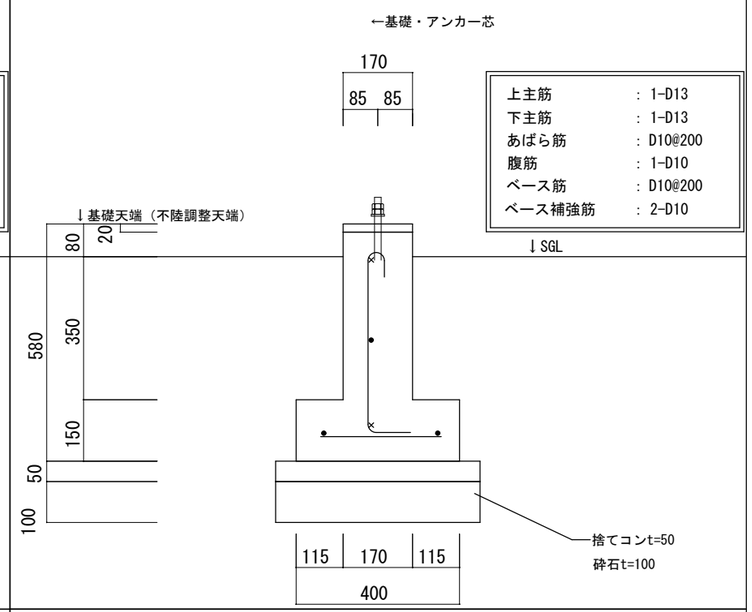
※特記なき基礎についてはFG1とする
※アンカーボルトーについては使用メーカー仕様とする

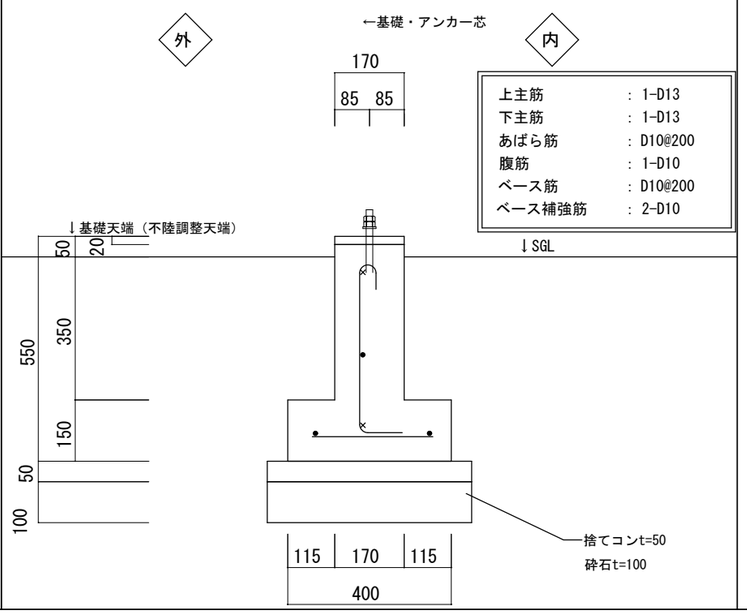
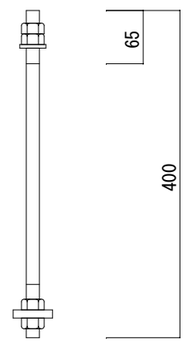
特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	基礎伏図	検印	No.
縮　尺	S=1:150	１級建築士　第292013号 後藤 直樹	S-06

名称	FG1	FG2(基礎落し部)	FG3(基礎落し部)
断面			

名称	FG4(基礎落し部)	A.BOLT（基礎共通）
断面		

A.BOLT 2-M16（SNR490B）転造ねじ
定着板付、ダブルナット
A.BOLTの出：不陸調整天端+65

特記事項	

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	基礎図	検印	No,
縮尺	S=1:20	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	S-07

市立北条小学校分離校建設工事
に伴う土質調査委託業務

地質柱状図

(No. 1)

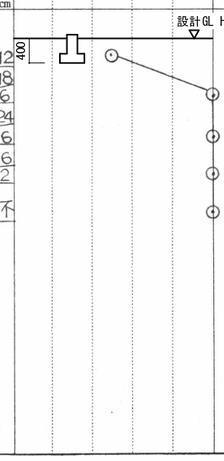
調査地点 加西市北条町西高室地内　　標高 H＝79.721m

調査年月日 平成元年3月24～25日　　孔内水位 なし

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度
		5.31	5.31		赤茶褐色～茶褐色	礫混り砂質土（砂岩風化層）	コアは、変化等の変質部を有する。風化礫も指圧で砕ける程度。GL－1.4m付近まで砂分及び粘土分を多く含むためN値が低下する。強風化のためコア率も低く1.4～20m及び4.0～5.0mで10%程度で他はロータリーによりほとんど落ける	中 極密	

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値 0 10 20 30 40 50	採取方法	採取深度 m
1.15	24/30	5	7	12			
1.45	50/26	15	17	18			
2.15				6			
2.41	50/26	11	15	24			
3.15				6			
3.41	50/22	19	25	2			
4.15							
4.37	50/16	21	29/6	不			
5.15							
5.31							



注 1. 試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
○－1　乱さない試料
◉－2　貫入試験機による試料
●－3　コアー試料

2. 試料採取深度と回収比
3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数10cm～20cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめしたものである。

[illegible]地質開発株式会社

市立北条小学校分離校建設工事
に伴う土質調査委託業務

地質柱状図

(No. 2)

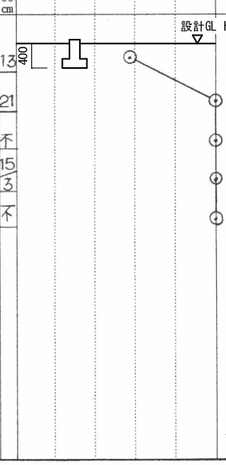
調査地点 加西市北条町西高室地内　　標高 H＝80.068m

調査年月日 平成元年3月21日　　孔内水位 なし

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度
		5.29	5.29		茶褐色	礫混り砂質土（砂岩風化層）	強風化のため粘状に粘土・シルト分を含む。含水少量で貫入抵抗の両者によりたさすく砂質土化するGL－3.0m以深より上50～60%の礫を含む。砂分は細砂分を主体とする。	中 極密	

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値 0 10 20 30 40 50	採取方法	採取深度 m
1.15	29/30	7	9	13			
1.45	52/30	14	17	21			
2.15							
2.45	50/20	17	33	不			
3.15							
3.35	50/23	12	22	15/3			
4.15							
4.38	50/14	25	25/4	不			
5.15							
5.29							



注 1. 試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
○－1　乱さない試料
◉－2　貫入試験機による試料
●－3　コアー試料

2. 試料採取深度と回収比
3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数10cm～20cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめしたものである。

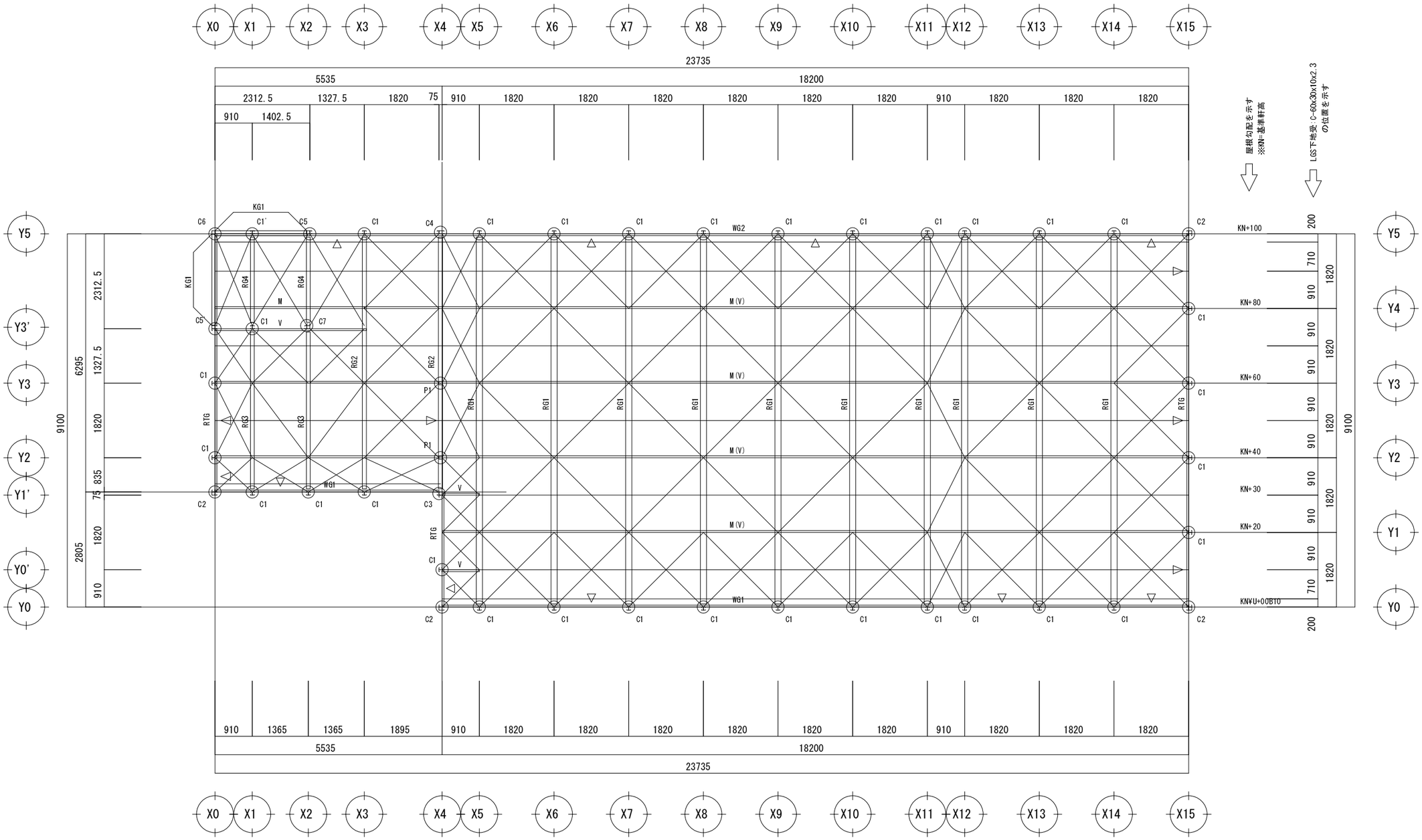
[illegible]地質開発株式会社

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校学童保育園新築 工事設計図

図面名	柱状図	検印		No.	
縮尺		1級建築士 第292013号 後藤 直樹			S-08

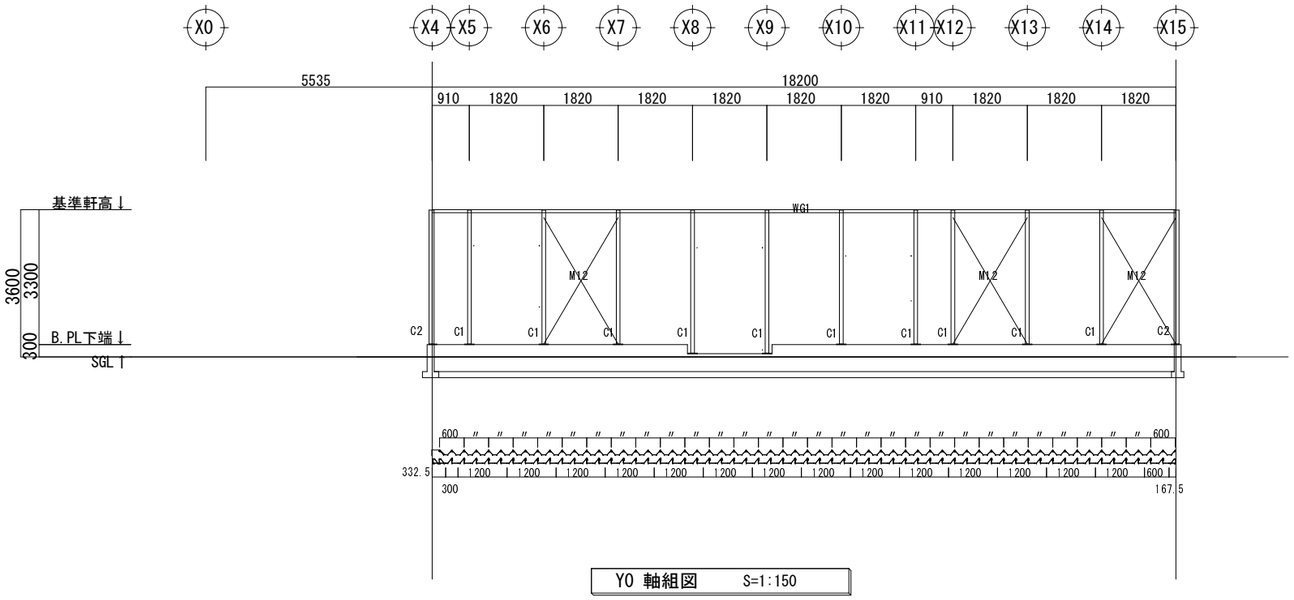


特記事項	

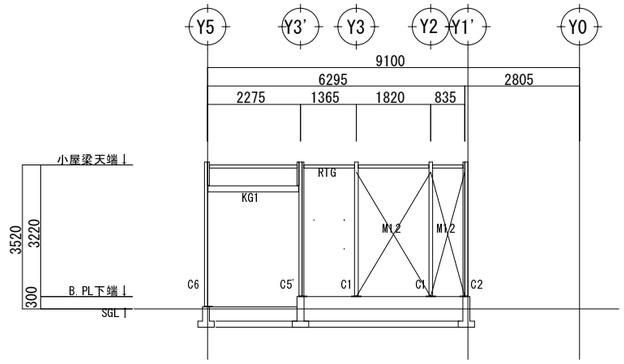
一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

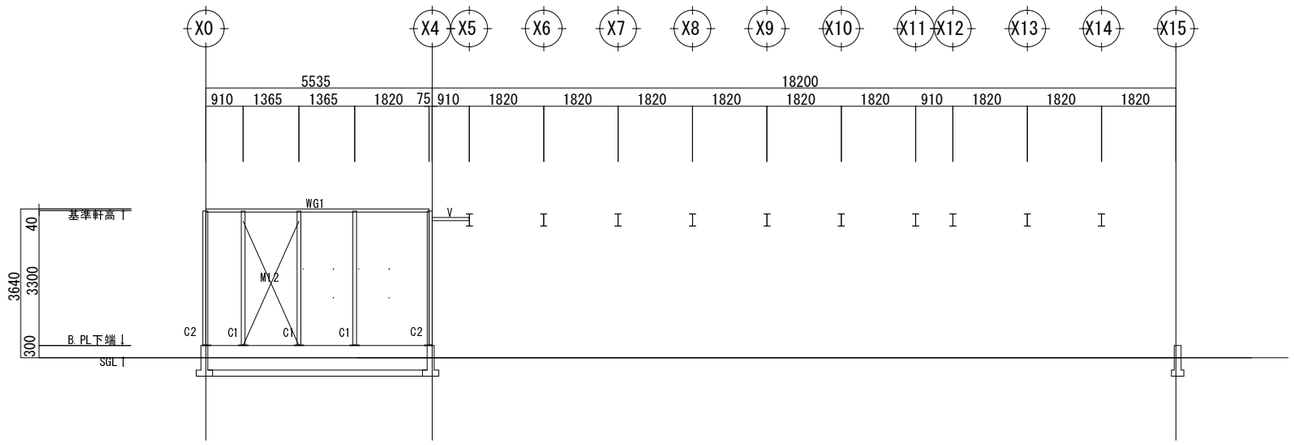
図面名	小屋伏図	検印		No.	
縮尺	S=1:100	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			S-09



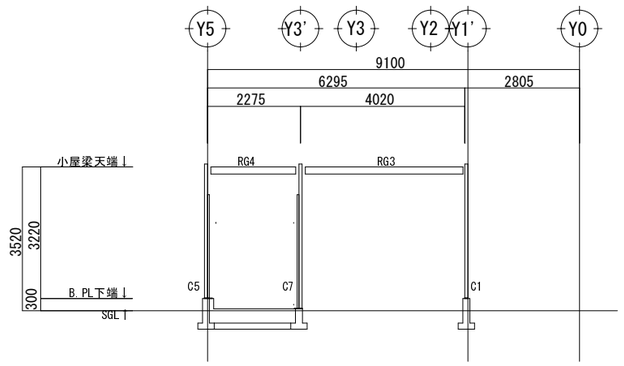
Y0 軸組図　S=1:150



X0 軸組図　S=1:150



Y1' 軸組図　S=1:150



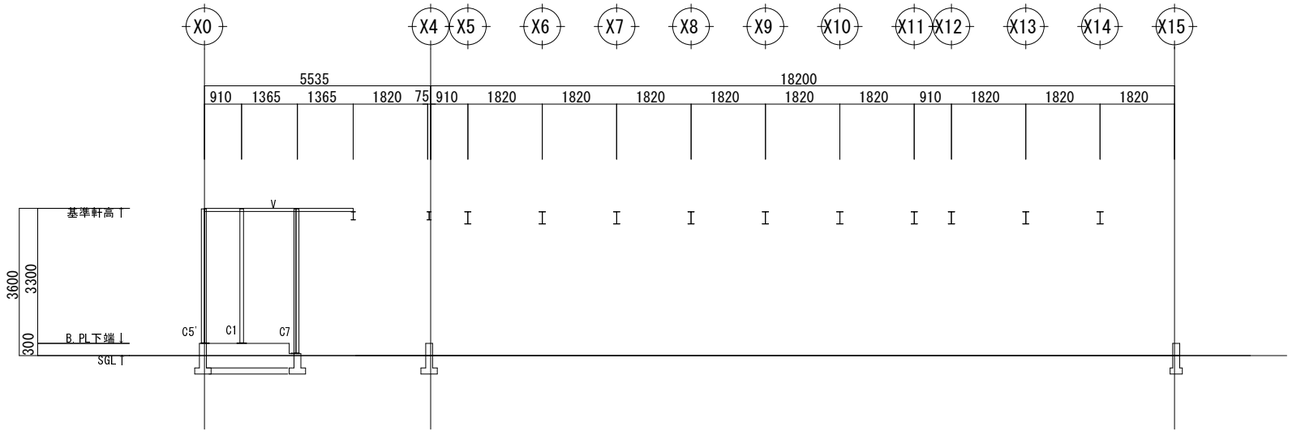
X2 軸組図　S=1:150

特記事項	

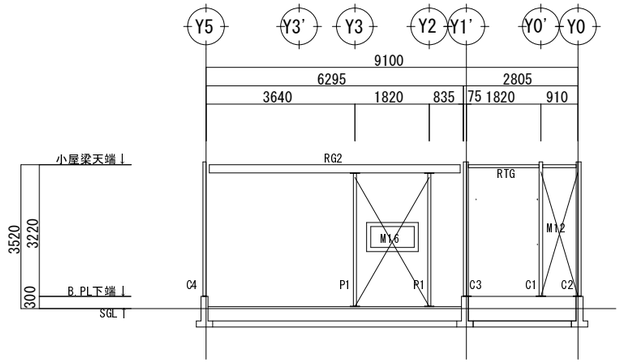
一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

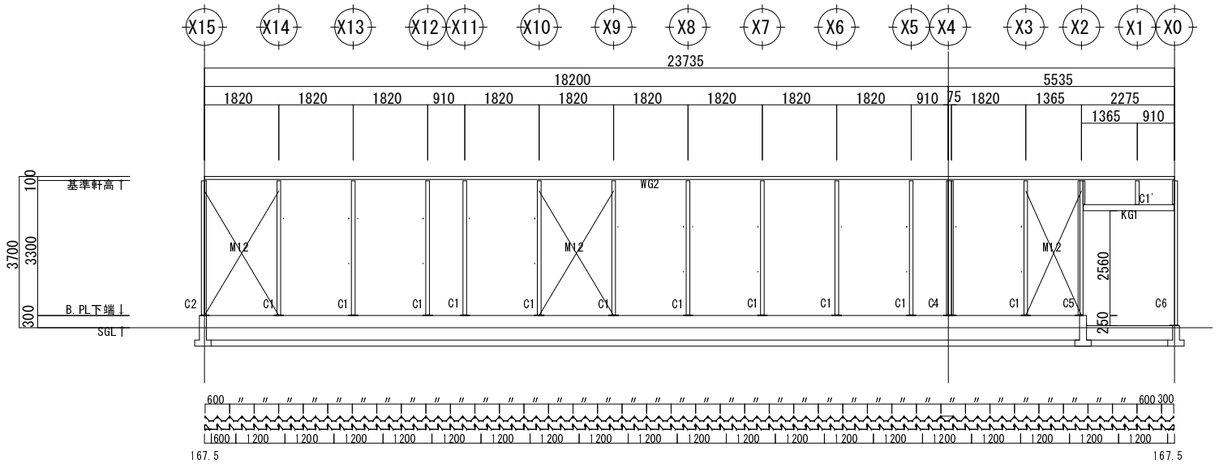
図面名	軸組図 1	検印		No,	
縮　尺	S=1:150	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			S-10



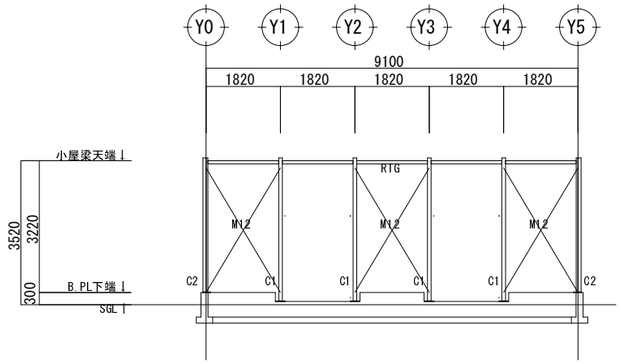
Y3' 軸組図　S=1:150



X4 軸組図　S=1:150



Y5 軸組図　S=1:150



X15 軸組図　S=1:150

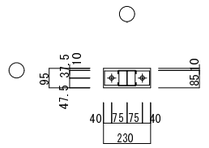
特記事項	

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

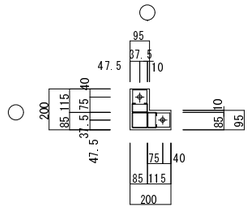
図面名	軸組図２	検印		No,
縮　尺	S=1:150	1級建築士 第292013号 後藤 直樹		S-11

C1



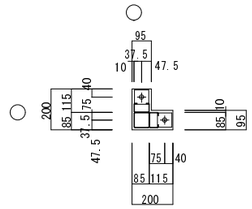
主材	RH-75x90x15x2.3 (SWH400L)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

C2



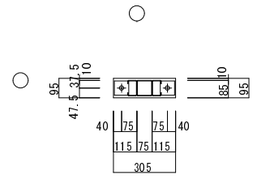
主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
	2C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

C3



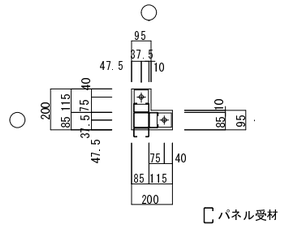
主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
	2C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

C4



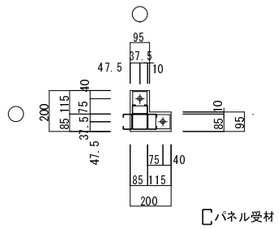
主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
	2C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

C5



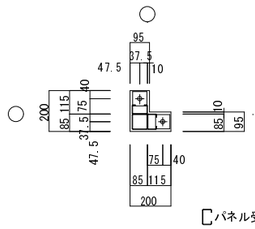
主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
	C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

C5'



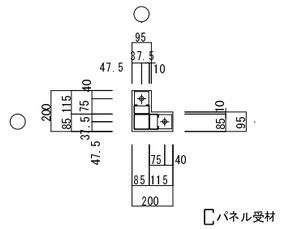
主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
	2C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

C6



主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

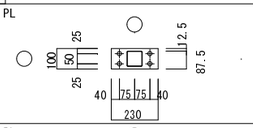
C7



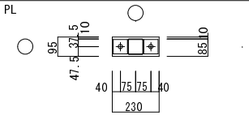
主材	□-75x75x2.3 (STKR400)
	C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	B.PL-19 (SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)

P1

T.PL



B.PL



主材	□-75x75x2.3 (STKR400)	
プレート	B.PL-19 (SS400)	T.PL-12(SS400)
ボルト	A.BOLT M16 (SNR490B)	4-M12

RG1

主材	LH-300x150x3.2x4.5 (SWH400)
プレート	G.PL-4.5
ボルト	3-M12

RG2

主材	LH-200x100x3.2x4.5 (SWH400)
プレート	G.PL-4.5
ボルト	2-M12

RG3

主材	LH-175x90x3.2x4.5 (SWH400)
プレート	G.PL-4.5
ボルト	2-M12

RG4

主材	LH-175x90x3.2x4.5 (SWH400)
プレート	G.PL-4.5
ボルト	2-M12

RTG

主材	C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	
ボルト	1-M12

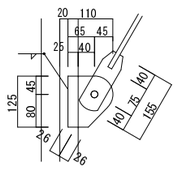
NG1,NG2

主材	C-75x45x15x2.3 (SSC400)
プレート	
ボルト	1-M12

KG1

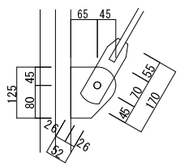
主材	[-150x75x6.5x10 (SS400)
プレート	G.PL-6
ボルト	2-M12

KG1 壁ブレス



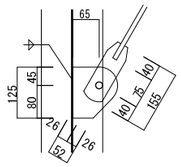
主材	M12
プレート	B.S-6 (SN400B)
ボルト	H.T.B 1-M16

KG1 壁ブレス(耐力部)



主材	M16
プレート	B.S-6 (SN400B)
ボルト	H.T.B 1-M16

KG1 水平ブレス



主材	M12
プレート	B.S-6 (SN400B)
ボルト	H.T.B 1-M16

KG1

主材	
プレート	
ボルト	

使用材料

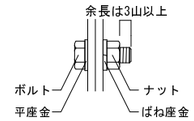
鋼材　SS400
SSC400
STKR400

SWH400L
SN400B
壁ブレース・水平ブレース
JIS A 5540 建築用ターンバックル
SNR490B(アンカーボルト)

ボルト　4.8 中ボルト（一般部）
(ボルト、平座金、ばね座金、ナットをセットとして使用)
H.T.B F10T（壁ブレース端部、水平ブレース端部）

錆止塗装 隠蔽部：JISK-5674 1種1回塗
見掛部：JISK-5674 1種2回塗の上 FE1回塗

・中ボルトはボルト、平座金、ばね座金、ナットを組合せたボルトセットとして使用する。

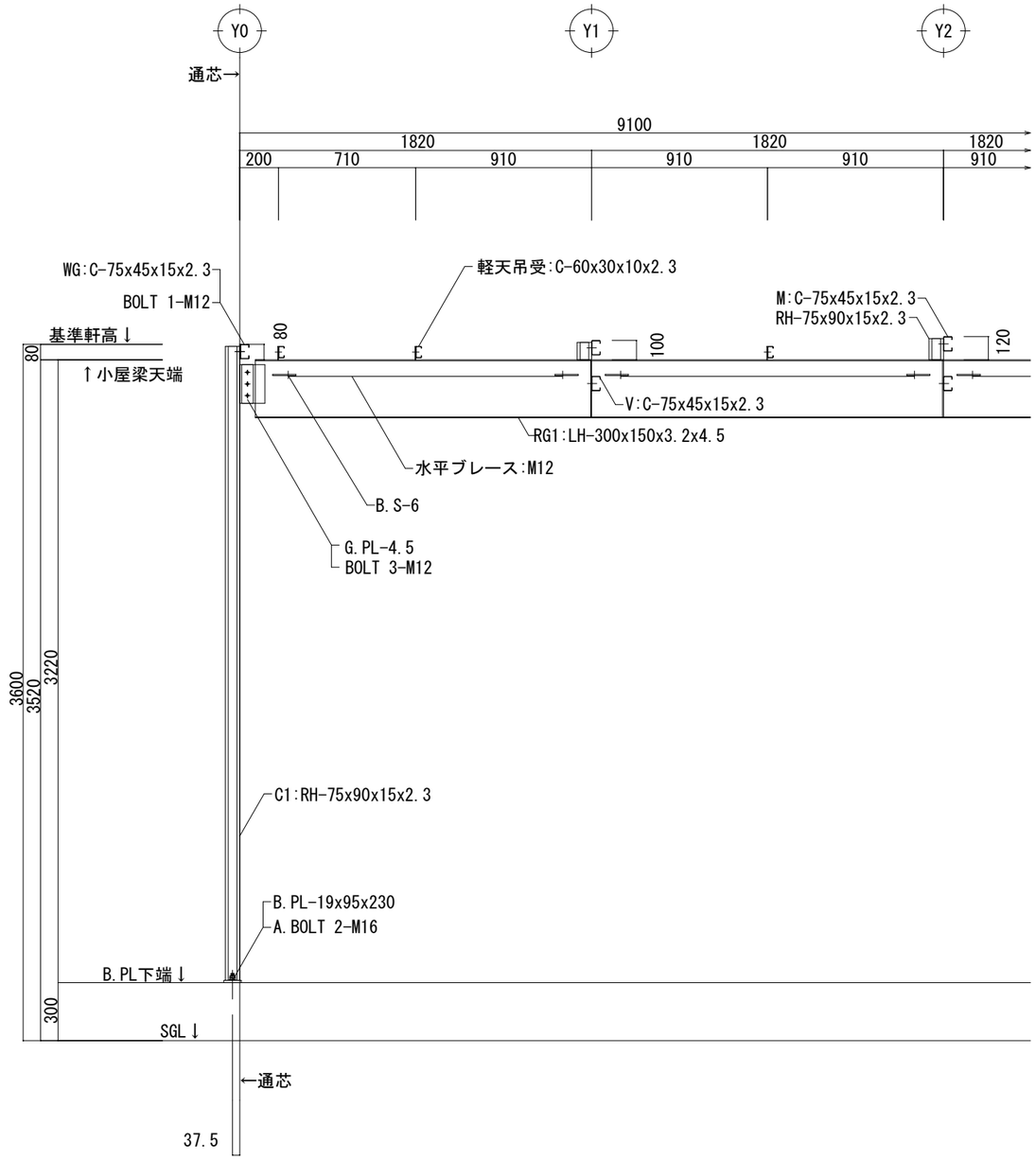


特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	部材リスト	検印	
縮　尺	S=1:15	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	No. S-12



特記事項	

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	鉄骨詳細図	検印						No,	
縮尺	S=1:30	1級建築士 第292013号 後藤 直樹							S-13

工事名称 ： 北条東小学校多目的棟新築工事

工事場所 ： 別紙による

工事種目

1．	幹線動力	設備工事	1式	空調電源含
2．	電灯	設備工事	1式	
3．	コンセント	設備工事	1式	
4．	弱電	設備工事	1式	電話・呼出表示
5．	防災	設備工事	1式	非常照明・非常警報

優先順位 （設計図書の優先順位は下記による。）

（1）現場説明書、質疑回答書　（2）特記仕様書　（3）設計図　（4）標準仕様書

（5）上記いずれも記載なき場合、不明の場合は係員の指示による。

工事仕様

1．電気設備技術基準　2．電力会社内線規程　3．建築基準法・消防法

4．国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（最新版）

5．国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」（最新版）

6．各諸官庁規則

一般事項

1．設計図書（現場説明書・質疑回答含む）に明記ない場合又は質疑が生じた時は係員と協議しその指示に従うこと。

2．工事施工に、必要な官公庁への手続き申請は速やかに行い、それに伴う費用は請負業者の負担とする。

3．施工済みの部分・未使用機器材料で損傷　又は汚染の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行うこと。

4．施工に先立ち関係工事業者と打合の上、工程表を作成し係員の承諾を受けること。

5．施工図・機器製作書・製作仕様書・見本等は速やかに提出し承認後、施工・製作のこと。

6．係員が指示した事項　又は協議した事項については記録し係員に提出する。尚係員が施工が適切な事を証明する

必要があると認め指示した場合は、工事写真・見本・試験成績表等を提出のこと。

7．工事が完成した時は係員立会の上、各種試験・検査を行い関係官庁の検査合格を以て竣工とする。

8．引渡時に竣工図・保守に関する指導案内書・説明書等を作成し提出のこと。

9．防火区画等の貫通

消防法による区画（共住区画）貫通処理については、（財）日本消防設備安全センター評定による事。

建築基準法による区画貫通処理については、 国土交通大臣認定工法による事。

特記事項

機　材	設備機材等は指定品、もしくは同等品以上とする。但し同等品以上とする場合は、係員の承諾を受ける。
電力　水	本工事に必要な工事用電力、水　及び諸手続き、申請などの費用は全て請負業者の負担とする。
色彩の指示	係員の指示に依る。
電　線	特記なきものは、６００Ｖ耐燃性ポリエチレン絶縁電線（EM－IE/F）とする。
電 線 管	特記なきものは、合成樹脂可とう電線管（PF）とする。
配線 器具	大角型、　新金属プレート
呼 び 線	空配管には1．2mm以上の被覆鉄線を挿入し、行先表示札を取付のこと。
塗　装	指定色塗装（2回塗）とする。
支 持 材	屋外での配管支持材、ビス等は、原則としてステンレス製とする。

凡例

	電灯盤	別図参照
	動力盤	別図参照
	照明器具	別図参照
●	埋込スイッチ	1P15A
● L	〃	1P4A（L付）
● 3	〃	3W15A
	埋込コンセント	2P15A×1
2	〃	2P15A×2
ET	〃	2P15A×1（接地端子付）
2ET	〃	2P15A×2（接地端子付）
WP	〃	2P15A×3（接地端子付）防水型
	換気扇	機械工事
	電話用モジュラジャック	6極4心　壁用
PXLXB	非常警報設備複合装置	埋込型

メーカーリスト

電線ケーブル	ＪＩＳ・ＪＣＳ規格品
鋼製電線管、付属品	ＪＩＳ規格品
合成樹脂電線管、付属品（可とう管、波付管含む）	ＪＩＳ規格品
配線器具	ＪＩＳ規格品
配分電盤、端子盤、分配器函	かわでん、河村電器産業、下平電機製作所、ダイシン電機、大日製作所、東芝ライテック、内外電機、日東工業、パナソニック
照明器具	岩崎電気、遠藤照明、オーデリック、コイト工業、大光電機、東芝ライテック、NECライティング、GSユアサ
	日立、パナソニック、三菱電機照明、ヤマギワ、山田照明
誘導支援装置	アイホン、ケアコム、東芝ライテック、パナソニック
自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、防火扉制御機器	沖電気防災、ＬＩＸＩＬニッタン、能美防災、ホーチキ、パナソニック

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	特記仕様書	検印	No， E-01
縮　尺	NON	１級建築士　第292013号 後藤 直樹	150406

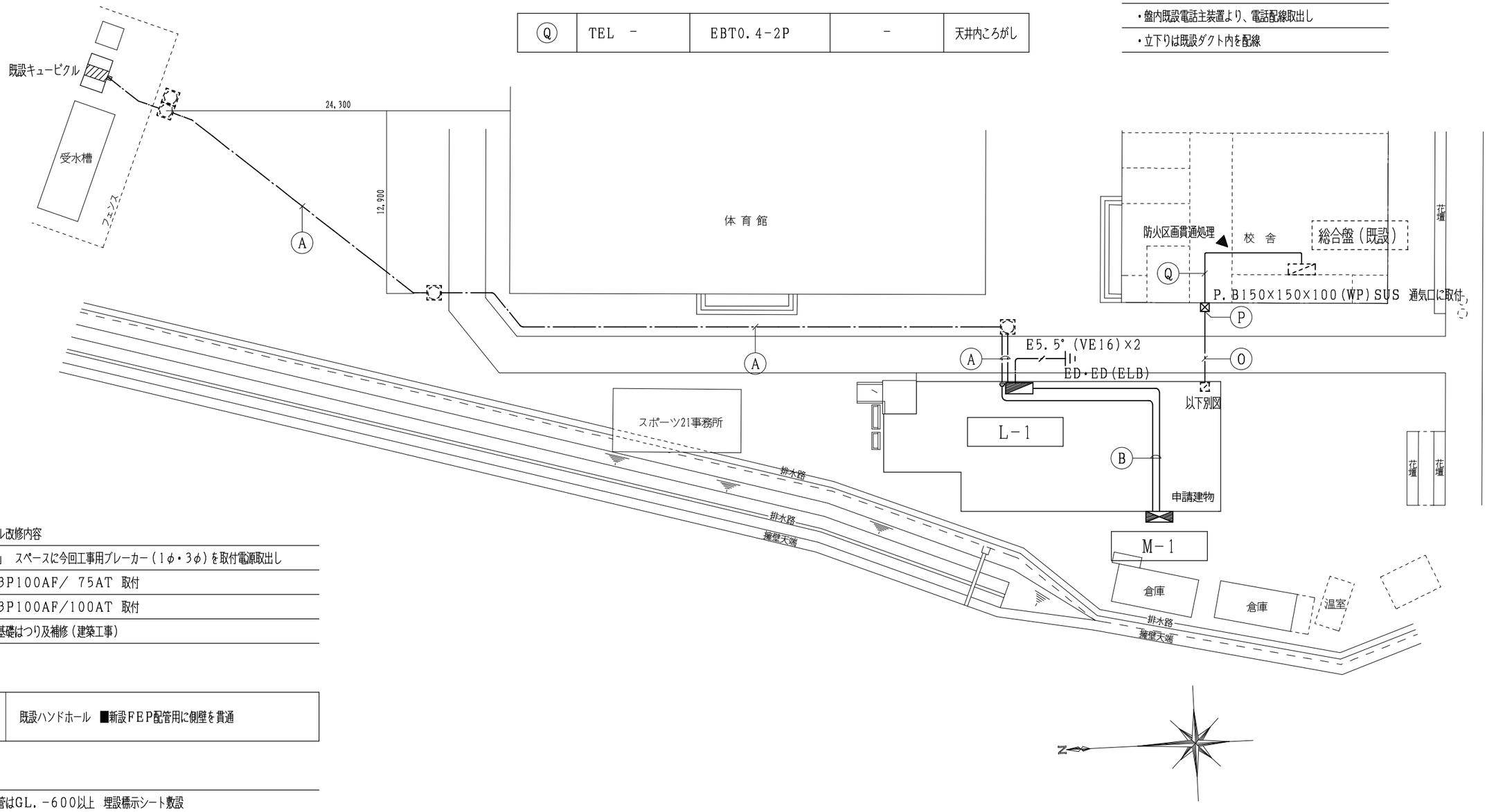
Ⓐ	1φ　L-1	EM-CET22°	(FEP50)	地中埋設
	3φ　M-1	EM-CET22°	(FEP50)	

Ⓑ	接地　M-1	EM-IE5.5°	−	天井内ころがし
	3φ　M-1	EM-CET22°	−	

Ⓞ	TEL　−	EBT0.4-2P	(FEP30)	地中埋設
Ⓟ	TEL　−	EBT0.4-2P	(G16)	外壁立下
Ⓠ	TEL　−	EBT0.4-2P	−	天井内ころがし

既設総合盤

- 盤内既設電話主装置より、電話配線取出し
- 立下りは既設ダクト内を配線



既設キュービクル改修内容

- 「低圧動力盤」 スペースに今回工事用ブレーカー（1φ・3φ）を取付電源取出し
- 1φ MCB3P100AF/ 75AT 取付
- 3φ MCB3P100AF/100AT 取付
- キュービクル基礎はつり及補修（建築工事）

⊡	既設ハンドホール ■新設FEP配管用に側壁を貫通

特記

1. 地中埋設配管はGL.−600以上 埋設標示シート敷設

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	配置図	検印	
縮尺	S=1:300	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	
No,	E-02		
	150406		

屋内露出型

L-1

1φ
CET22*

MCB3P
100AF/75A

盤名称 幹線番号	結線型式	分岐回路 番号	電圧(V)	MCB	ELB	P	AF	AT	負荷名称 名称		容量(KVA)
		901	100	○		2	30	20	非常照明		0.03
		902	〃	○		〃	〃	〃	非常警報		−
		101	100	○		2	30	20	電灯	多目的室1	0.55
		102	〃	○		〃	〃	〃	〃	多目的室2・指導員室	0.64
		103	〃	○		〃	〃	〃	〃	廊下・便所	0.23
			〃	○		〃	〃	〃	予備		
		301	100	○		2	30	20	コンセント	多目的室1	1.00
		302	〃	○		〃	〃	〃	〃	多目的室2	1.00
		303	〃	○		〃	〃	〃	〃	指導員室	0.80
		304	〃	○		〃	〃	〃	〃	〃	0.80
		305	〃	○		〃	〃	〃	〃	廊下	0.40
		306	〃		○	〃	〃	〃	〃	洋式便所	0.40
		307	〃		○	〃	〃	〃	〃	女子便所	0.80
		308	〃		○	〃	〃	〃	〃	男子便所	0.40
			〃	○		〃	〃	〃	予備		
			〃	○		〃	〃	〃	〃		
		401	200		○	2	30	30	コンセント	瞬間湯沸器	5.50
										計(KVA)	12.52

屋外露出型

M-1

3φ3W
CET22*

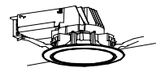
MCB3P
100AF/100AT

盤名称	結線型式	分岐回路 番号	電圧(V)	MCB	ELB	P	AF	AT		負荷名称		容量(KVA)
			200		○	3	100	75		空冷ヒートポンプエアコン	PAC-1	4.552
			〃		○	〃	〃	〃		〃	PAC-1	4.552
			〃		○	3	50	20		〃	PAC-2	0.789
			〃		○	〃	〃	〃		スペース		
											(合計)	9.890

照明器具

A322	LED 52.1W	B	LED 16.5W
A321	LED 23.2W		

LSS9-6800LM LN
LSS9-3200LM LN



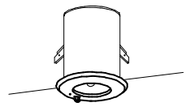
LRS1-1400LM LN

C	LED 6.0W	X13	JE3.6V13W×1

熱線・明るさセンサ付

LGWC85020B 同等品

JIL非常灯評定番号 LALH-02



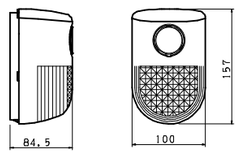
K1-IRS4-JE13

X13	
取付の高さ	2.6m
単体配置	4.4

呼出

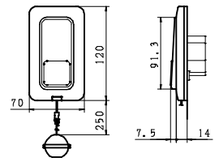
BZ	警報ランプ付ブザー	N	押釦スイッチ 常開形

EA5501 同等品



定格	電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時:5W 待機時:1W
操作電圧	DC5V
使用周囲温度	−10℃〜+50℃
質量	約530g
音圧	警報音:約90dB(前方1mにて)報知音:約65dB(前方1mにて)

WS65771 同等品



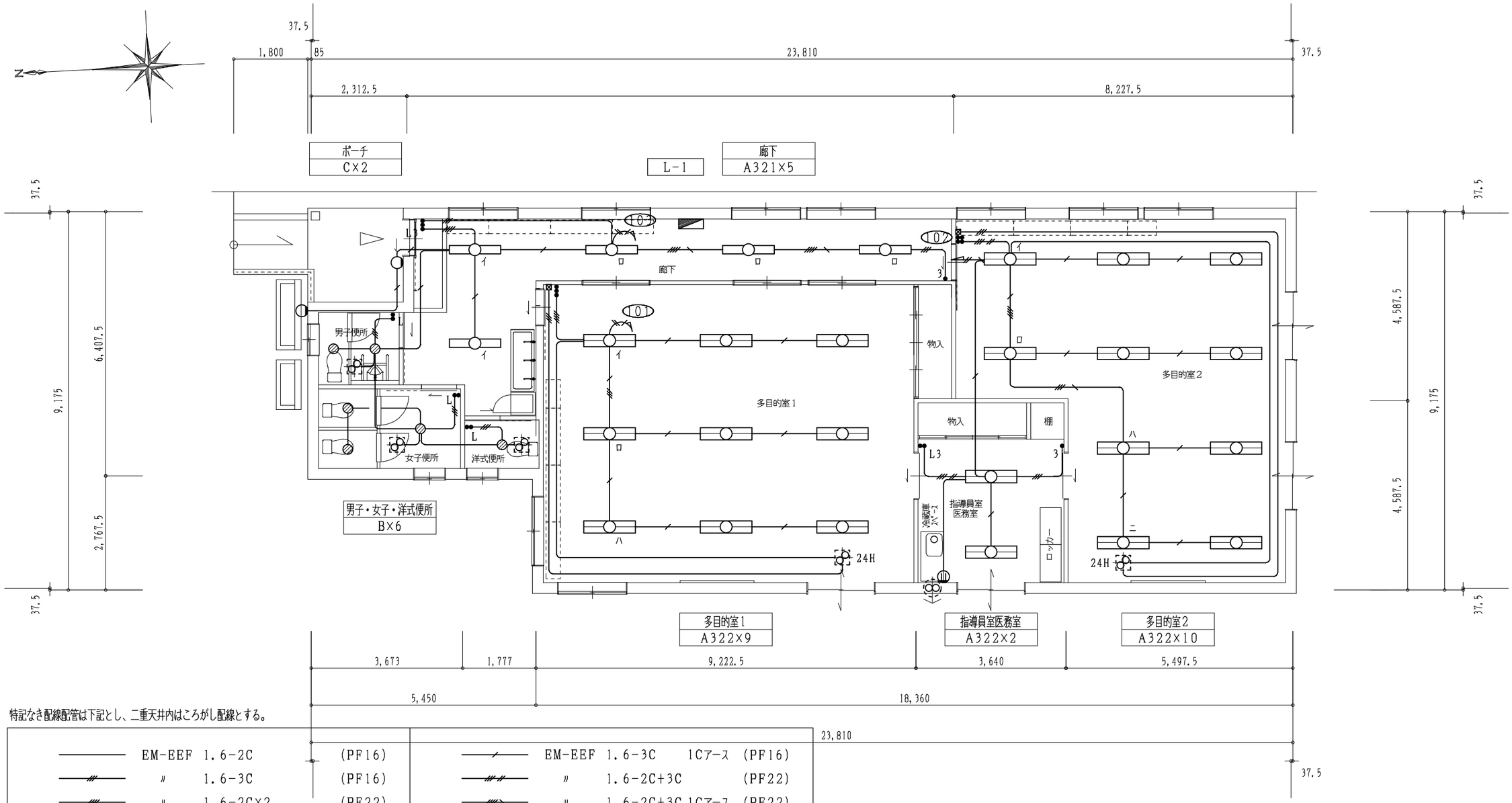
定格	30V 0.1A

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住 所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42−2591
FAX (0790) 43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	分電盤・照明器具・弱電機器	検印	No,	E-03
縮尺	NON	1級建築士 第292013号 後藤 直樹		150406



特記なき配線配管は下記とし、二重天井内はころがし配線とする。

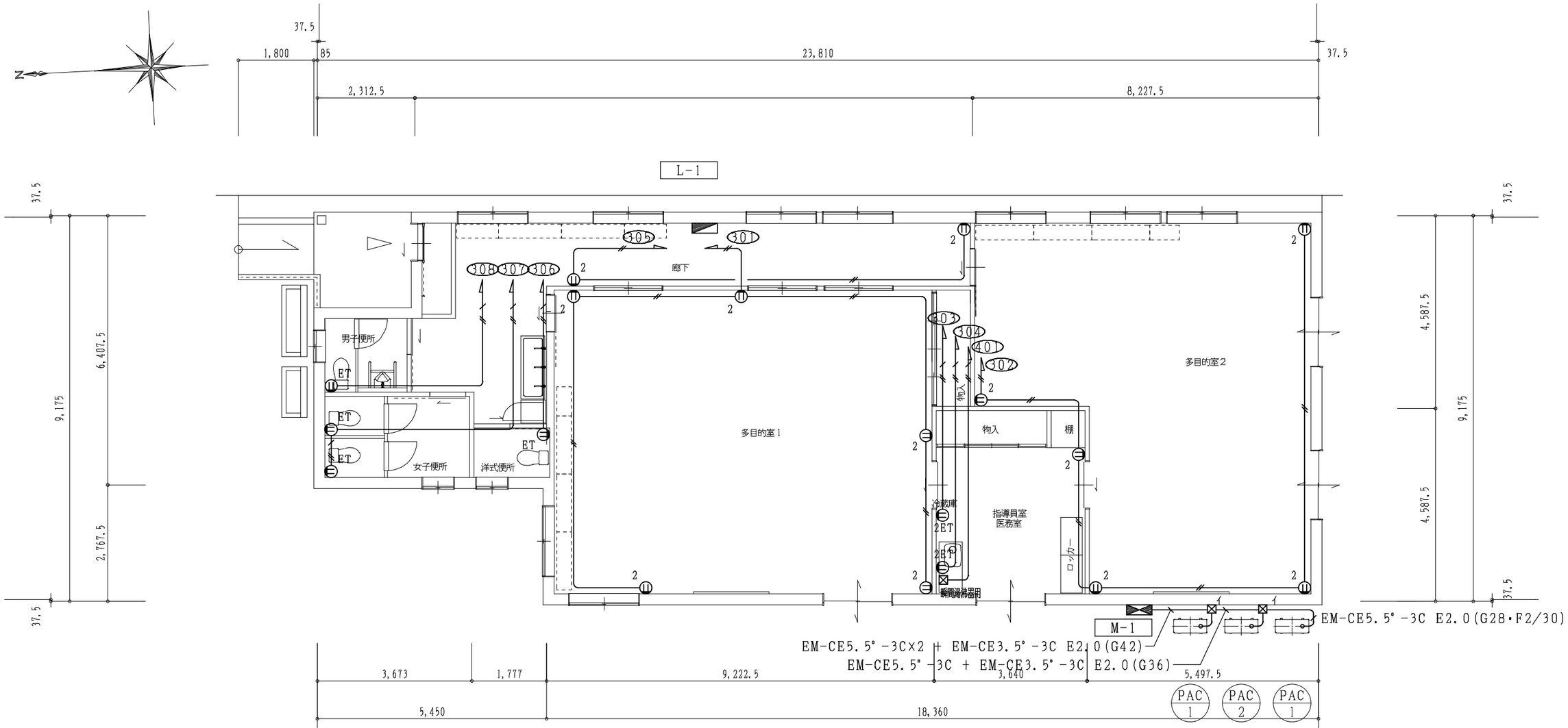
———	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	—/—	EM-EEF 1.6-3C 1Cアース	(PF16)
—//—	〃 1.6-3C	(PF16)	—////	〃 1.6-2C+3C	(PF22)
—////	〃 1.6-2C×2	(PF22)	—////	〃 1.6-2C+3C 1Cアース	(PF22)
—////	〃 1.6-2C×2 1Cアース	(PF22)	—////	〃 2.0-3C 1Cアース	(PF22)

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42-2591
FAX (0790) 43-0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	電灯設備図	検印	
縮尺	S=1:100	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	
No,	E-04		
	150406		



特記なき配線配管は下記とし、二重天井内はころがし配線とする。

――――	EM-EEF 2.0-2C		(PF16)
―//―	〃 2.0-3C	1Cアース	(PF22)
⊠イ	P.B200×200×100(WP)SUS		

空調機

NO	機種	電源	室外機		室内機	配管配線	
			圧縮機	送風機	送風機		
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	3φ200V	3.94KW	106W×2	200+200W	EM-CE5.5°-3C E2.0 (G28・F2/30)	75A
PAC-2	〃	〃	0.59KW	135W	64W	EM-CE3.5°-3C E1.6 (G28・F2/24)	20A

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL (0790) 42-2591
FAX (0790) 43-0531

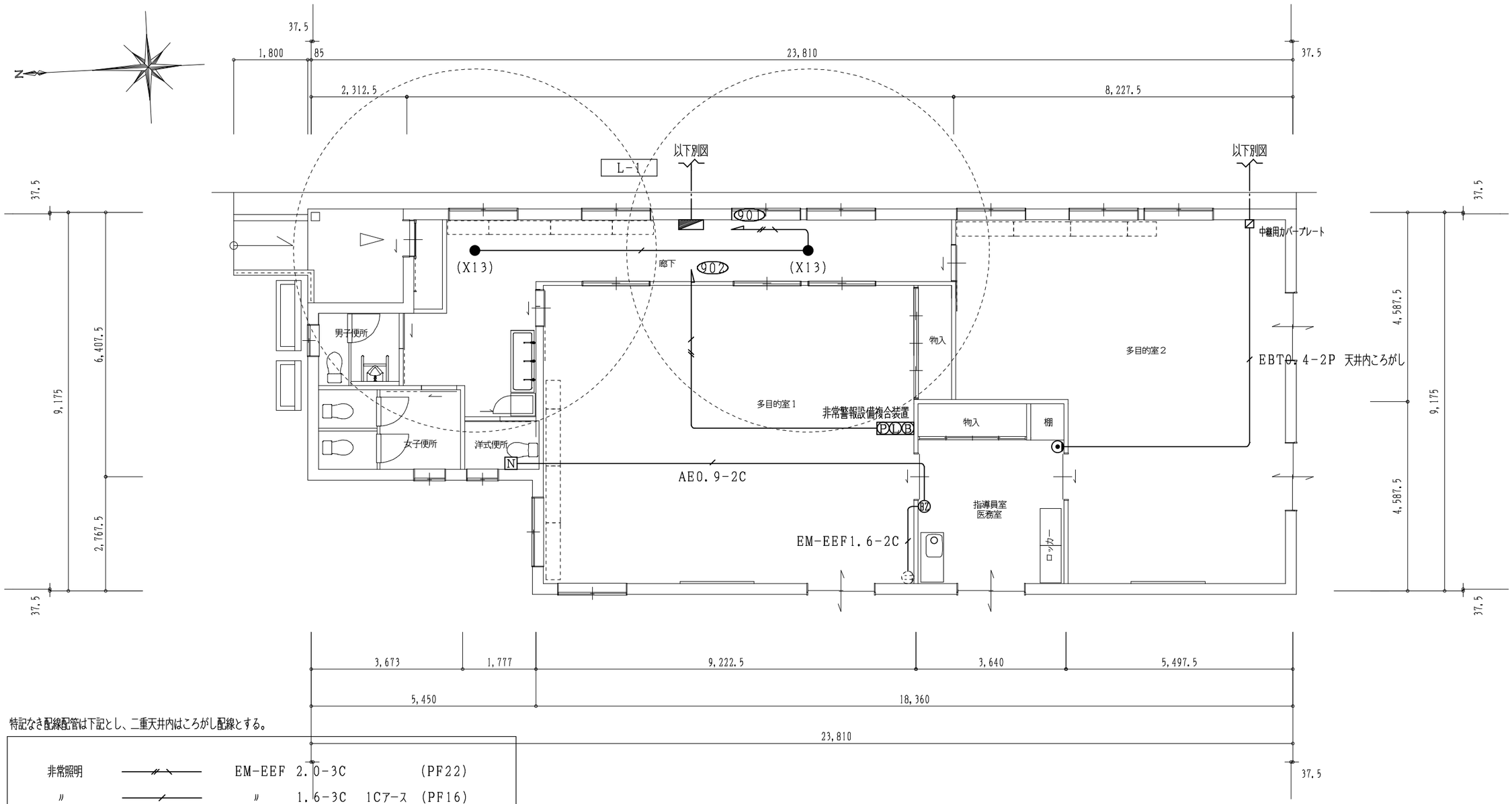
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	コンセント設備図
縮尺	S=1:100

検印

1級建築士 第292013号
後藤 直樹

No, E-05
150406



特記なき配線配管は下記とし、二重天井内はころがし配線とする。

非常照明	EM-EEF	2.0-3C		(PF22)
〃	〃	1.6-3C	1Cアース	(PF16)
非常警報	〃	2.0-3C	1Cアース	(PF16)

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	弱電・防災設備図	検印	
縮　尺	S=1:100	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	

No, E-06
150406

特　記　仕　様　書

工事名称	北条東小学校多目的棟新築工事
工事場所	建築による
建築概要	構造 鉄骨造　　地下　階，地上1 階，塔屋　階　棟

	本工事建物	既設建物	合計	消防法令別表第一
敷地面積	26,359.92m²	3,515.90m²	3,719.27m²	項
延床面積	198.11m²	5,835.59m²	6,033.70m²	

工事種目

● 印を付けたものを適用する。

- ● 給水設備工事
- ○ 井水設備工事
- ○ 中水道設備工事
- ● 排水通気設備工事
- ● 衛生器具設備工事
- ● 給湯設備工事
- ○ プロパンガス設備工事
- ● 消火設備工事
- ○ 浄化槽設備工事
- ○ ゴミ処理設備工事
- ● 冷暖房設備工事
- ● 換気設備工事
- ○ 排煙設備工事
- ○ 暖房設備工事
- ○ 厨房機器設備工事
- ○ 特殊ガス設備工事

一　般　事　項

設計図書の適用

本工事は、下記設計図書に基き施工する。なお設計図書の構成及び表示事項に不一致がある場合の優先順位は次による。

（1）　質疑応答書　（2）　設計書　（3）　特記仕様書　（4）　図面

（5）　● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の機械設備工事標準仕様書（最新年度版）及び機械設備工事標準図（最新年度版）

　　○ 日本建築家協会監修の機械設備工事共通仕様書（最新年度版）

（6）　建築設備耐震設計・施工指針（最新年度版）

施工基準

尚、本設計図に記載なき事項に於いても各諸法規並び現場の状況により当然必要と認められるものは、係員の指示により請負業者の負担に於いて施工すること。本図面に於いて質疑のある場合は契約前に正しておくこと。又、施工にあたっては施工前に　施工図、機器メーカーリスト、機器承諾書等、係員の要求する必要書類を係員に提出の上承認を得ること。

工事写真等

工事写真及び竣工写真は係員の指示する個所を撮影し、整理して、速やかに提出すること。
部数は　　部とする。

完成図様式

建築特記仕様書による

竣工引渡書類

● 機器類取扱説明書　● 各種検査書及申請許可書　● 測定表　● 備品

官公署への手続き

申請関係手続は速やかに行い、その費用は、請負業者負担とする。

発生材の処理

監督員の指示による。廃棄物が発生する場合は、適切に処理する。

共　通　適　用　事　項

1）　配管等において防火区画等を貫通する個所はＢＣＪ認定工法による耐火措置を行う。
　　又、ダクト等においてはＦＤ・ＳＦＤ等を取付る。
2）　外壁に取付のギャラリ・ベンドキャップ・換気扇カバー等は、全て指定色焼付け仕上げとする。
3）　延焼部分は、ＦＤ付とする。但し２階以上外部より点検不可能な場所はダクト挿入型ＦＤとする。
4）　外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバーには、ドレン抜きを設ける。
5）　消音内貼りチャンバー寸法は、外形寸法を示す。
6）　消音内貼りダクト及び消音エルボ寸法は、内形寸法を示す。
7）　屋外露出・浴室、厨房等の多湿箇所・床下ピット・スラブ下埋設配管用の機器アンカーボルト、ナット並びに支持金物は、ステンレス製とする。又アンカーボルトにはＶＰキャップ取付のこと。
8）　配管類が歩行障害となるときは、点検用デッキの設置を行う。
9）　機器類の吊金物で長さある場合は、鋼製金物とする。
１０）予備品として空調機用フィルター・厨房グリスフィルター５０％ をケースに収納のうえ納品のこと。
１１）電線及び電線管等の工事については、電気工事特記仕様書による。
１２）地中埋設管の埋戻しは、原則として掘削土の良質土を使用する。
１３）地中埋設管には、埋設標並びに埋設表示テープを施すこと。
１４）居室の天井・ＰＳ等に施工の配管類は遮音シート巻付とする。
１５）当敷地に対する既設引込給水、排水、ガス管等は 現地調査並びに関係官庁調査の上、
　　不要管の場合は、撤去等一切を本工事にて行う。
１６）改修工事の場合既設排水管のジェット洗浄を行う。又完了後報告書を提出のこと。
１７）塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管に使用する継手並びに弁類は、管端防食継手とする。

● 給水設備工事

給水方式　● 公共水道直結　○ 直結給水ブースター方式
○ 受水槽＋加圧給水ポンプ　○ 受水槽～高架水槽

負担金等　給水負担金　○ 本工事（　　）　● 別途

水槽耐震仕様　受水槽　１．０Ｇ　高架水槽　１．５Ｇ

その他
1）加圧給水ポンプユニット操作盤への一次側電源送り並びに警報盤は電気工事とし、二次側配線配管（電極工事共）は、本工事とする。
2）スラブコロガシ配管の支持バンドは、防振ゴム付きとする。
3）弁ボックスで植栽等荷重のかからない場所は、樹脂製ボックスも可能。

● 排水通気設備工事

排水方式　建物内部は、雑・汚水配管　● 分流　○ 合流
建物外部は、　○ 分流　● 合流

開発負担金　○ 本工事（　　）　○ 別途

その他
1）塩ビ製小口径桝は、ＶＰ・ＶＵ変換ソケット使用のこと。（合流管は段差付とする）
2）使用する継手は、大曲り管とする。
3）ＶＰ配管は、適時 伸縮継手を取付のこと。（立管は各階 １ヶ所・横引は必要ヶ所）
4）集合排水管方式の最下部は、継手メーカー専用ベンド取付のこと。
5）満水試験継手は、適時取付けのこと。

● 衛生器具設備工事

1）防火区画に取付の和風大便器には、耐火カバーを設ける。
2）散水栓ボックスは、キー式・固定金具付とし周囲モルタル巻きとする。
　（３０φ目皿取付の上 最寄雨水桝に放流）
3）衛生機器等は、指定色とする。

● 給湯設備工事

給湯方式　● 個別方式　○ 中央方式

配管材料　コンクリート埋設部の銅管は、被覆銅管としてもよい。
（曲がり・分岐部には、給水率が小さく使用温度に耐えるクッション材巻付けのこと）

○ 消火設備工事

工事内容
● 屋内消火栓設備　○ 泡消火栓設備
○ 屋外消火栓設備　○ 消火器（ＡＢＣ　１０型・格納箱共）　組
○ スプリンクラー設備　○ 連結送水設備

配管保温　○ 屋内外露出部 ― 標準仕様書（国交省）「 給水の項 」とする。

~~○ プロパンガス設備工事~~

~~**ガスの種類**　○ 都市ガス（ガス供給会社の責任施工）~~
~~● ＬＰＧ（集合装置は、自動切替としガスメーター・転倒防止チェーン共）~~
~~● ＬＰＧ施工業者の責任施工とする。~~
~~○ 施工の仕様については　大阪ガスの施工基準とする。~~

~~**その他**　● 露出管は、同色塗装を行う。~~

~~○ 浄化槽設備工事~~

~~**形式**　○ 単独処理　○ 小型合併処理　○ 合併処理~~

~~**その他**　制御盤以降二次側電気工事は全て本工事とする。~~

● 冷暖房設備工事

1）温湿度設計条件。

	屋外		屋内（一般室）	
時期	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
冬季	−0.5℃	56.1%	22℃	―――
夏季	32.9℃	60.6%	26℃	―――

2）屋内外露出冷媒管の外装は、※　樹脂製化粧カバー　● ＳＵＳラッキング施工する。
3）複数の屋外露出冷媒管は、多系統エアコン配管ダクト（溶融亜鉛メッキ・粉体塗装仕上げ）にて施工する。
4）ヒートポンプエアコンの室内機・室外機の二次側制御電気工事一切は本工事とする。
5）室内機とリモコンの配管配線工事は、図示なき場合は電気工事とし結線調整は本工事とする。
6）屋上に設置する室外機の防振架台の選定は、防振メーカーに振動計算を提出させ決定する。
7）ダクトの種別は　※　低速ダクト　○　高速ダクト
8）ダクトの工法は　※　アングル工法　○ コーナーボルト工法
9）各吹出口及び吸込口にはチャンバーを設ける。（吹出口は消音内貼り25tとする）
10）ドレン管の防露は、標準仕様書（国交省）「排水の項」とする。

● 換気設備工事

1）ダクトの種別は　※　低速ダクト　○　高速ダクト
2）ダクトの工法は　※　アングル工法　○ コーナーボルト工法
3）厨房系統の排風機には 点検口及び油抜コックを設ける。
4）排気フード及び幕板はステンレス鋼鈑（ＳＵＳ３０４）とする。
5）全熱交換器室外側ダクト及び室内側給気ダクトは、全て断熱施工。
6）外気取入ダクトは、全て断熱施工。
共同住宅は下記仕様による
1）台所排気ダクトは、全てＲＷ　５０ｔ断熱施工。
2）洗面所等換気用塩ビ管は、外壁内面より１ｍは耐火被覆二層管を使用すること。

~~○ 排煙設備工事~~

~~1）ダクトの種別は　※　高速ダクト　○　高速ダクト~~
~~2）排煙口は　※　スイング形　○ スリット形~~
~~3）排煙口の作動及び復帰は、手動式とする。~~
~~4）ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とする。~~

使用材料	名称	使用区分	種類	備考
	給水管	屋外埋設	ＨＩＶＰ	
	〃	屋内埋設	ＨＩＶＰ	
	〃	ＰＳ内	ＳＧＰ−ＶＡ	
	〃	上記以外	ＨＩＶＰ	
	汚水・雑排水管	屋外・屋内埋設・ピット内	ＶＰ	
	〃	ＰＳ内	耐火二層管	
	〃	上記以外	耐火二層管	
	通気管	屋内埋設・ピット内	ＶＰ	
	〃	ＰＳ内	耐火二層管	
	〃	上記以外	耐火二層管，ＶＰ	
	給湯管		ＣｕＰ（Ｍ），保温付被覆銅管	
	消火管	屋外・屋内埋設	ＳＧＰ−ＶＳ	
	〃	上記以外	ＳＧＰ（白）	
	ガス管	屋外埋設	ＰＥ	
	〃	上記以外	ＳＧＰ（白），ＥＬＰ	
	冷媒管		メーカー標準品	
	ドレン管	屋外・屋内埋設	ＶＰ	屋外露出部は、カラーＶＰ
		上記以外	ＶＰ	
		区画貫通部	耐火二層管，ＳＧＰ（白）	
	換気ダクト		ＳＰＤ	

メーカーリスト

タンク類	ベルテクノ	積水アクアシステムズ	三菱樹脂	エヌ・ワイ・ケイ	森松工業
ポンプ類	荏原製作所	川本製作所	テラル		
衛生器具・水栓類	東陶	ＬＩＸＩＬ			
排水金物・グリストラップ類	ダイドレ	福西鋳物	ホーコス		
電気温水器	三菱電機	東陶	イトミック	ＬＩＸＩＬ	日立アプライアンス
ガス給湯器	ノーリツ	大阪ガス	リンナイ		
ボイラー	巴商会	日本サーモエナー	前田鉄工所	川重冷熱工業	
ろ過装置	熱技研通商	オルガノ			
冷温水発生機	三洋電機	川重冷熱工業	日立空調システム		
冷却塔	空研工業	三菱樹脂			
空冷ヒートポンプエアコン	日立アプライアンス	三菱電機	ダイキン工業		
ガスヒートポンプエアコン	ヤンマー	アイシン	日立アプライアンス		
エアハンドリングユニット	新晃工業	ダイキン工業			
ファンコイルユニット	新晃工業	ダイキン工業			
送風機	松下エコシステムズ	荏原製作所	テラル		
全熱交換器	三菱電機	松下エコシステムズ	テラル		
換気扇類	三菱電機	松下エコシステムズ	日立アプライアンス		
吹出・吸込口・ダンパー類	新晃工業	空研工業	協立エアテック		
浄化槽	佐藤浄化	ダイキ			
フィルター・グリスフィルター	クラコ	進和テック			
消火設備機器	ヤマトプロテック	立売堀製作所	横井製作所	ホーチキ	

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２−２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３−０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	特記仕様書
縮尺	S=NO SCALE

検印

１級建築士　第292013号
後藤 直樹

No, M-01

器具一覧表

品名	品番	付属品・仕様	数量 男子便所	女子便所	身障者便所	指導員医務室	玄関ホール	手洗場	足洗場	合計	備考
洋風腰掛便器	CS230B	SH230BA TCF116V6 YH500	1	2						3	暖房便座
洋風腰掛便器	CS230B	SH230BA TCF116V6 YH500			1					1	暖房便座(蓋無)
壁掛小便器	UFH500	TG600PN T9R	1							1	
小便器用手すり	T112CU2	※建築工事	1							1	
ホーム水栓	T200SNR13							3	3	6	
横水栓	T23BNR13						3			3	
混合水栓	TKGG33EC					1				1	
電気式瞬間式湯沸器	EIC-05A0	2.9号 1φ200V 定格消費電力5.0Kw 付属品共				1				1	

空調機器一覧表

記号	名称	仕様 冷房能力（kw）	暖房能力（kw）	電源	COMP（kw）	FAN（kw） 室内機	室外機	消費電力（kw） 冷房	暖房	数量	付属品	設置場所	備考 参考型番
PAC－1	空冷ヒートポンプエアコン ツイン同時マルチ　天井カセット4方向	20.0kw (7.5~22.4)	22.4kw (8.5~28.0)	3-200V	3.94	106×2	200+200	5.85	5.55	2組	ワイヤードリモコン、防振吊金具、転倒防止金物、予備ﾌｨﾙﾀｰ	多目的室1. 多目的室2	室外機用コンクリート基礎は、建築工事（1100×500×200H） SZZJC224CDM
PAC－2	空冷ヒートポンプエアコン 天井カセット1方向	3.6kw (1.7~4.0)	4.0kw (1.8~5.3)	3-200V	0.59	135	64	0.90	1.06	1組	ワイヤードリモコン、防振吊金具、転倒防止金物、予備ﾌｨﾙﾀｰ	指導員医務室	室外機用コンクリート基礎は、建築工事（1100×500×200H） SZRK40BT

換気機器一覧表

記号	名称	仕様 型式	風量（CMH）	機外静圧（Pa）	電源	消費電力（w）	付属品	数量	設置場所	備考
EF－1	天井扇	低騒音形　インテリア格子 150φ　24時間換気機能付	490	110	1-100	82	24時間換気スイッチ、防振吊り金具 パイプフード共	1台	多目的室2	VD-23ZLXP9-CS
EF－2	天井扇	低騒音形　インテリア格子 150φ　24時間換気機能付	440	80	1-100	90	24時間換気スイッチ、防振吊り金具 パイプフード共	1台	多目的室1	VD-23ZLXP9-CS
EF－3	天井扇	低騒音形　サニタリー用 100φ	120	50	1-100	15.5	防振吊り金具 パイプフード共	2台	男子便所　女子便所	VD-15ZC9
EF－4	天井扇	低騒音形　サニタリー用 100φ	70	20	1-100	9.3	防振吊り金具 パイプフード共	1台	洋式便所	VD-10ZC9
EF－5	換気扇	低騒音形　台所用 200□	558	—	1-100	18	不燃枠　ウェザーカバー共	1台	指導員医務室	EX-20EH6
OA－1	給気グリル	樹脂製　風量調整機構付 150φ					パイプフード共	5台	多目的室1　多目的室2　玄関ホール　準備室 指導員医務室	P-18GLF

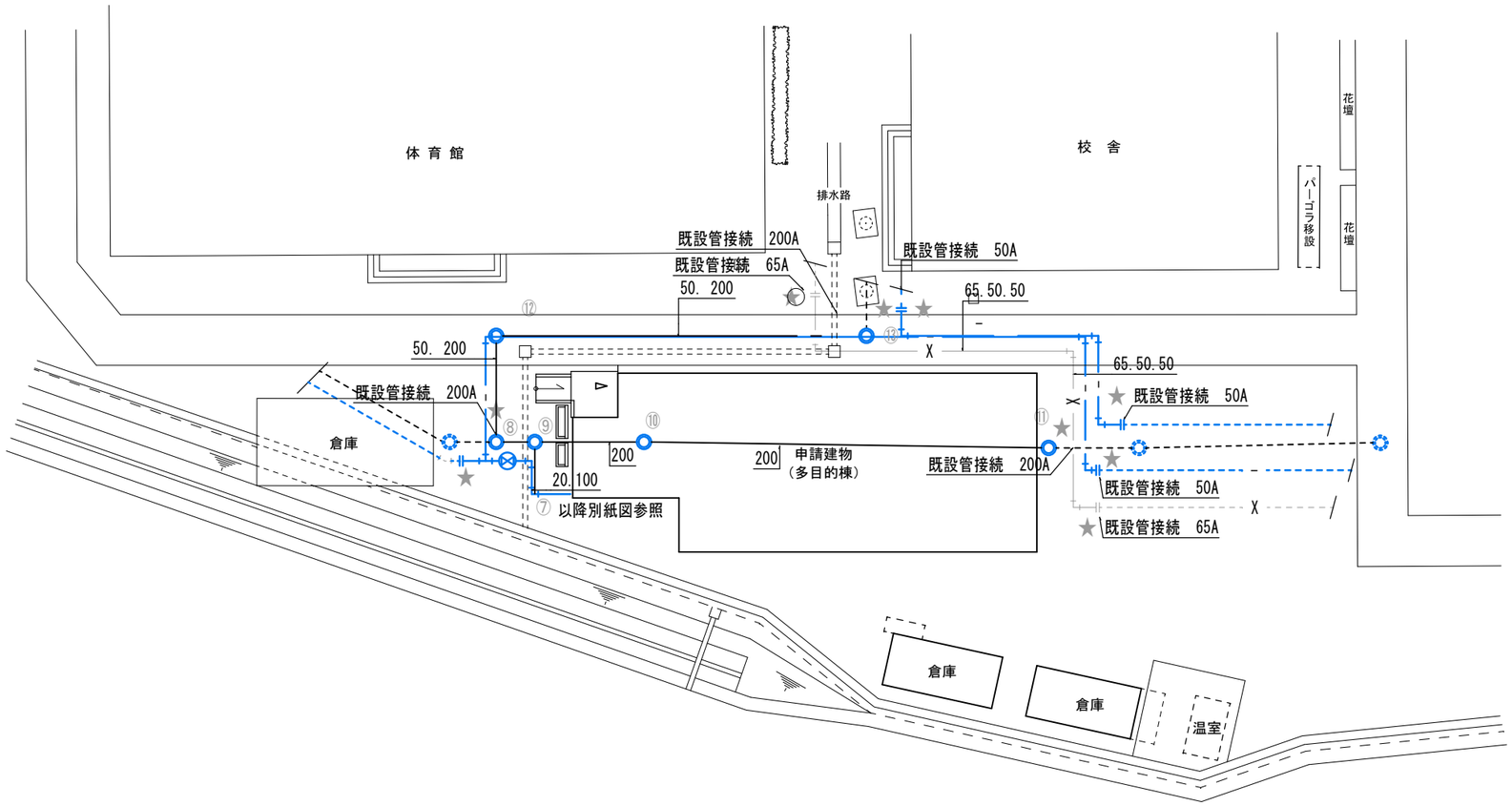
特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	衛生器具　空調換気扇機器表	検印	1級建築士 第292013号 後藤 直樹	No.	M-02
縮尺	S=NO SCALE				

会所リスト					
記号	名称	深さ	蓋		備考
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 90°L）	810	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 90°L）	920	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 90°L）	970	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 90°Y）	1010	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 45°YS）	1050	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 45°YS）	1100	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（100-150 90°L）	1150	塩化製（150 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（200-300 90°Y）	1210	塩化製（200 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（200-300 90°Y）	1190	塩化製（200 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（200-300 ST）	1130	塩化製（200 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（200-300 ST）	930	塩化製（200 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（200-300 90°L）	1150	塩化製（200 ↑）		
◇	塩ビ製小口径桝（200-300 90°L）	960	塩化製（200 ↑）		



凡例

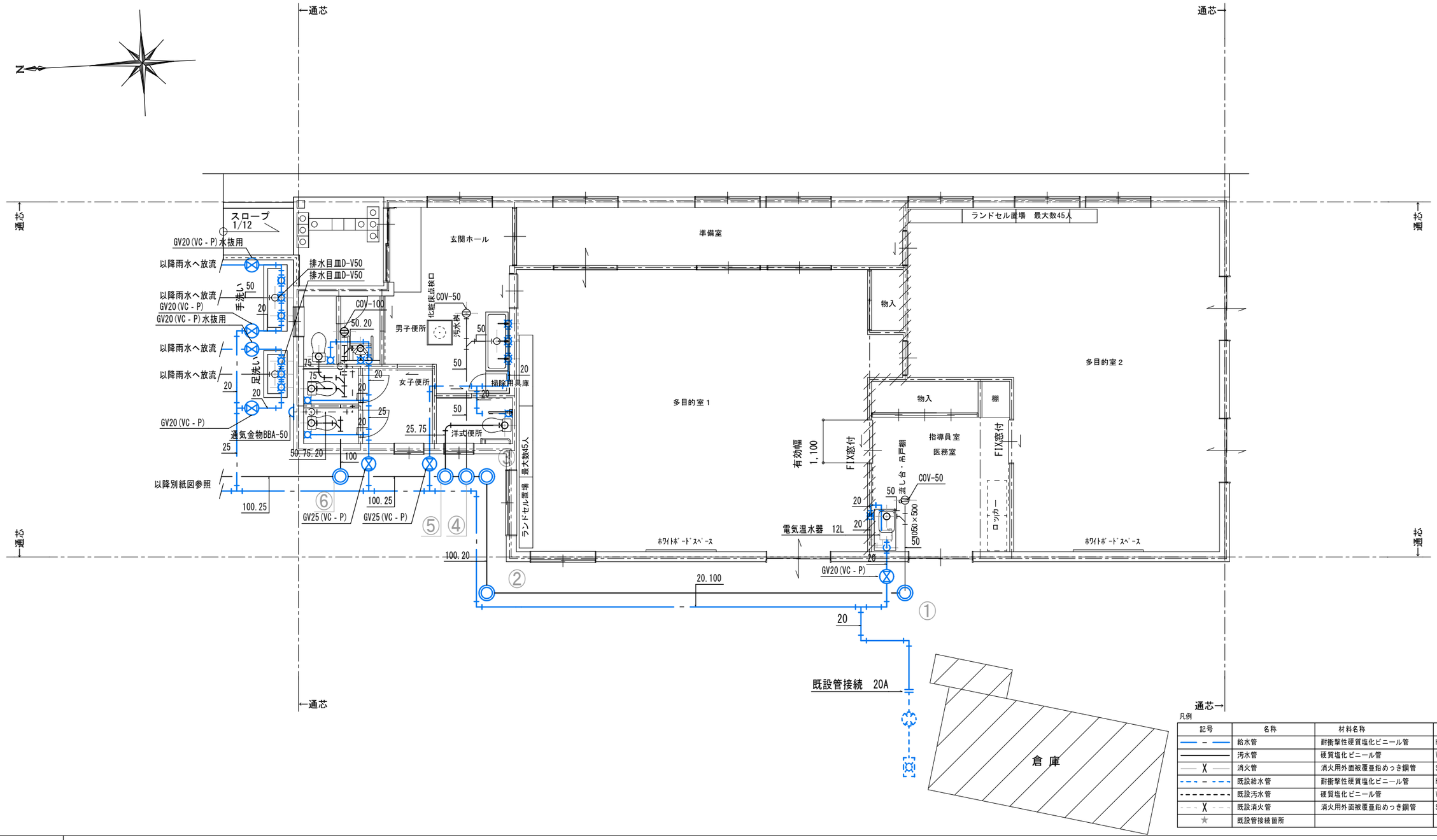
記号	名称	材料名称	備考
	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HI-VP
	汚水管	硬質塩化ビニール管	VP
	消火管	消火用外面被覆亜鉛めっき鋼管	SGP-VS
	既設給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HI-VP
	既設汚水管	硬質塩化ビニール管	VP
	既設消火管	消火用外面被覆亜鉛めっき鋼管	SGP-VS
★	既設管接続箇所		

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 ごとう建築設計事務所
住所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42−2591
FAX（0790）43−0531

北条東小学校多目的棟新築 工事設計図

図面名	給排水消火設備配置図	検印		No.	
縮尺	S=1:300	1級建築士 第292013号 後藤 直樹			M-03



凡例

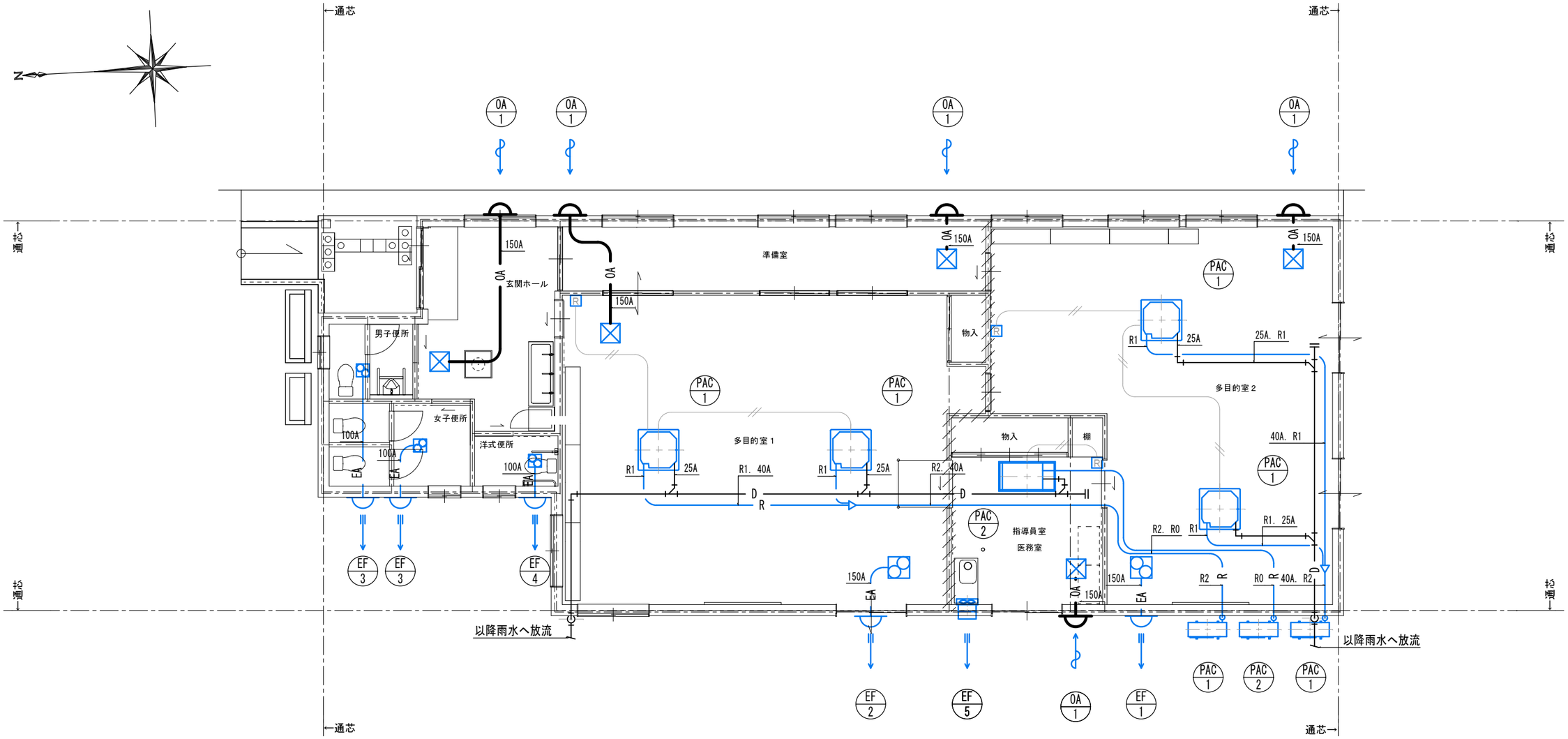
記号	名称	材料名称	備考
	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HI-VP
	汚水管	硬質塩化ビニール管	VP
	消火管	消火用外面被覆亜鉛めっき鋼管	SGP-VS
	既設給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HI-VP
	既設汚水管	硬質塩化ビニール管	VP
	既設消火管	消火用外面被覆亜鉛めっき鋼管	SGP-VS
★	既設管接続箇所		

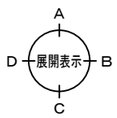
特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所　兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	給排水設備平面図	検印	
縮　尺	S=1:100	１級建築士　第292013号 後藤 直樹	No, M-04





冷媒管サイズ表

番号	液　管	ガス管	保温厚
R0	6.4φ	12.7φ	8mm/20mm
R1	9.5φ	15.9φ	8mm/20mm
R2	9.5φ	25.4φ	8mm/20mm

注)室内外機の渡り配線は冷媒管共巻とし、EM－CVVS2.0-3Cとする。
注)ﾘﾓｺﾝ配線は天井内ｺﾛｶﾞｯとし、EM－CEES1.25-2Cとする。
● 耐火壁貫通部を示す。

配管凡例

記号	名称	材料名称	備考
— R —	冷媒管	冷媒用被覆銅管	CU
— D —	ドレン管	硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管+保温（ALGC＋GW）	VP
— EA —	換気ダクト	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	SPD
— OA —	外気ダクト	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ＋保温（ALGC＋GW）	SPD

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所 兵庫県加西市吸谷町87番地
TEL（0790）42－2591
FAX（0790）43－0531

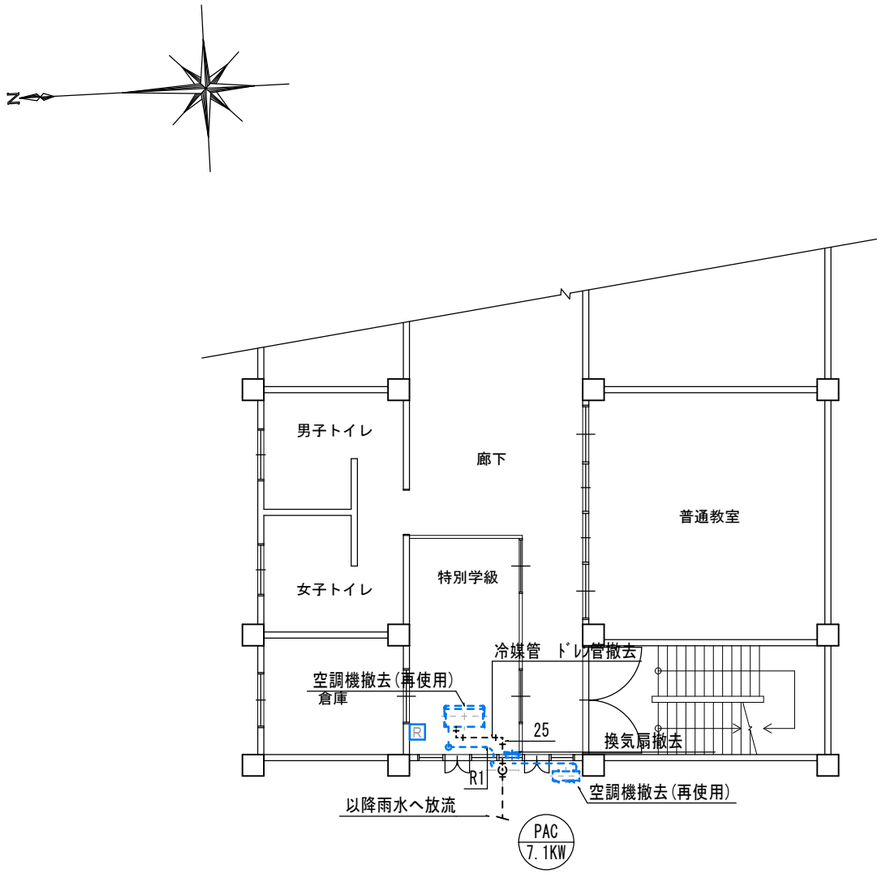
北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	空調換気設備平面図
縮　尺	S=1:100

検印

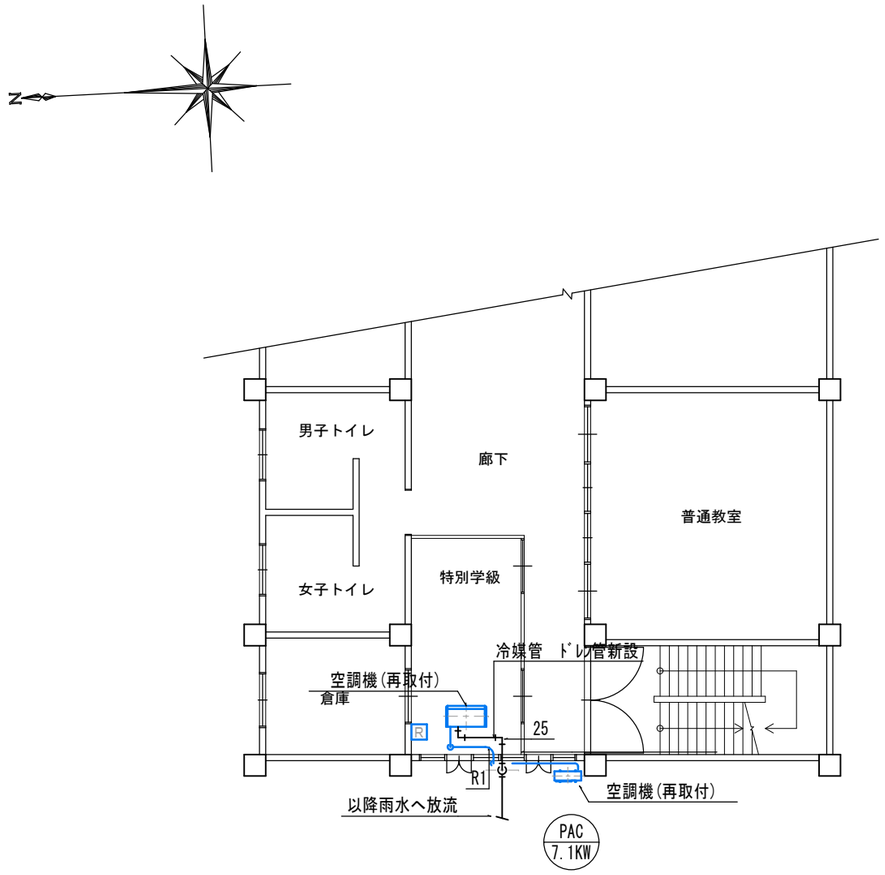
1級建築士　第292013号
後藤 直樹

No. M-05



校舎２階

改修前



校舎２階

改修後

配管凡例

記号	名称	材料名称	備考
— R —	冷媒管	冷媒用被覆銅管	CU
— D —	ドレン管	硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管+保温（ＡＬＧＣ＋ＧＷ）	VP

冷媒管サイズ表

番号	液　管	ガス管	保温厚
R0	6.4φ	12.7φ	8mm/20mm
R1	9.5φ	15.9φ	8mm/20mm
R2	9.5φ	25.4φ	8mm/20mm

注)室内外機の渡り配線は冷媒管共巻とし、ＥＭ－ＣＶＶＳ2.0-3Ｃとする。
注)ﾘﾓｺﾝ配線は天井内ｺﾝｸﾘとし、ＥＭ－ＣＥＥＳ1.25-2Ｃとする。

特記事項

一級建築士事務所
株式会社ごとう建築設計事務所
住　所　兵庫県加西市吸谷町87番地
ＴＥＬ（０７９０）４２－２５９１
ＦＡＸ（０７９０）４３－０５３１

北条東小学校多目的棟新築工事設計図

図面名	校舎棟　空調換気設備	検印						No,	
縮　尺	S=1:200	１級建築士　第292013号 後藤 直樹							M-06